

飯 田 市 美 術 博 物 館

飯 田 市 考 古 博 物 館

年 報 第36号

令和 7 年度

目 次

飯田市美術博物館年報

I. 沿 革	5
1. 年 表	5
2. 展 覧 会	8
II. 令和7年度の運営	12
1. 主要記事	12
2. 組 織	14
3. 美術博物館協議会	14
4. 評議員会	15
5. 美術品等購入専門委員会	16
6. 利用状況	16
－ 1 観覧者数	16
－ 2 プラネタリウム観覧者数	16
－ 3 附属施設観覧者数	17
－ 4 教育普及活動利用者数	17
－ 5 施設の利用	17
7. 決 算	22
III. 令和7年度の事業報告	23
1. 展示事業	23
企画展 高山植物と高山昆虫からたどる南アルプス博物学の120年	24
特別展 山とともに生きる－遠山郷のあゆみとくらし－	27
企画展 写真家60周年記念展 水谷章人の世界	34
菱田春草記念室常設展示	39
複製画で春草の名画を見よう	44
コレクション展示	45
第25回 現代の創造展－南信州のアートを共に創る－	50
自然展示室トピック展示	53
自然展示室	54
追手町小学校化石標本室	54
文化展示室トピック展示	55
柳田國男館・遠山郷土館・まつり伝承館「天伯」	58
その他の展示	58
2. プラネタリウム事業	59
－ 1 年間テーマ	59

－ 2	プラネタリウム投影	59
－ 3	オリジナル番組	60
3.	教育普及事業	61
－ 1	講演会・シンポジウム・講座・見学会・報告会など	61
－ 2	こども向け事業	67
－ 3	藤本四八記念小中高校生写真賞	69
－ 4	ワクワクびはくで夏休み2025	70
－ 5	びはく学芸祭2026	70
－ 6	レファレンスサービス	71
－ 7	電子顕微鏡の利用	72
－ 8	学習・研究団体への支援、館外事業への協力	72
－ 9	研究助成事業	77
－10	博物館実習	78
－11	職場体験・インターンシップの受け入れ	78
－12	発行印刷物・映像記録など	79
－13	ホームページの更新など	80
4.	調査研究活動・資料収集保管活動	81
－ 1	調査研究活動	81
－ 2	職員の調査研究・普及活動	82
－ 3	資料の購入	87
－ 4	資料の寄贈	88
－ 5	資料の移管	89
－ 6	資料の採集および作成・修復	89
－ 7	資料の貸出	90
－ 8	写真の貸出	91
－ 9	収蔵庫管理	93
－10	令和7年度末における資料収蔵件数	94
IV.	施設の一般利用	96
1.	一般利用案内	96
2.	市民ギャラリー	97

飯田市考古博物館年報

I. 沿 革	102
1. 飯田市考古博物館	102
2. 秀水美人画美術館	103
II. 令和7年度の運営	105
1. 主要記事	105
2. 利用状況	105
－ 1 展示観覧者数	105
－ 2 教育普及事業利用者数	105
III. 令和7年度の事業報告	106
1. 企画事業	106
2. 教育普及活動	107
－ 1 ワークショップ	107
－ 2 見学会	107
－ 3 諸事業への協力	108
3. 調査研究・資料収集保管事業	109
－ 1 職員の調査研究・館外普及活動	109
－ 2 資料修復事業	109
4. 令和7年度末における資料収蔵件数	109
IV. 施設の一般利用	110
1. 一般利用案内	110

飯田市美術博物館年報

I. 沿革

1. 年表

- 昭和58年 4月 「飯田市美術博物館準備事務局」を企画財政部に設置
- 昭和60年 4月 飯田市美術博物館準備事務局を企画財政部から教育委員会へ移行
5月～10月 飯田市美術博物館の構想について、各団体、各界・各層と懇談会を開催
10月 「飯田市美術博物館設立基本構想委員会」発足
12月 議会内に「飯田市美術博物館建設研究委員会」設置
- 昭和61年 3月 「飯田市美術博物館・日夏記念館基本構想」まとまる
4月 「飯田市美術博物館展示研究委員会」発足
4月 建設設計を原広司氏（東京大学生産技術研究所教授）に依頼
9月 飯田市美術博物館建設にともなう飯田城跡の発掘調査始まる
9月 柳田為正・富美子夫妻より柳田書屋（喜談書屋）の寄贈を受ける
10月 建設の面積は延4,800㎡、事業費は24億円という案について市議会の了解を得る
11月 博物館展示設計を日精株式会社に委託する
- 昭和62年 1月～2月 飯田市美術博物館の基本設計について市民説明会を行う（2回）
3月 「飯田市美術博物館建設委員会」発足 飯田市美術博物館実施設計終了
4月 学芸員1名（民俗）採用
5月 飯田市美術博物館建設工事の請負業者決定
6月 起工式を挙行
7月 「柳田國男館基本構想」まとまる
8月 プラネタリウムの設置について、ミノルタカメラ株式会社と契約
9月 博物館展示工事について、日精株式会社と契約
12月 「飯田市美術博物館条例」設置される
- 昭和63年 3月 柳田書屋を解体し、飯田へ移築する
4月 「飯田市美術博物館」として正式に発足する
4月 井上正館長就任、学芸員2名（美術・地質）採用
4月 伊那谷自然友の会と共催により、「自然の生い立ち講座（自然講座）」開始
5月 本体工事9月20日まで工期延長
9月 「美術博物館協議会」発足
9月 顧問として後藤総一郎氏（柳田國男館関係）、長谷川善和氏（自然関係）就任
10月 落成式 一部公開始まる
11月 「評議員会」発足
11月 プラネタリウム投影開始
- 平成元年 1月 美博特別講座（現・美術講座）開始
3月 展示工事完了
3月 飯田市美術博物館研究紀要発刊
4月 学芸員3名（美術・仏教美術・生物）採用
4月 市民ギャラリーの利用開始
10月 開館式 常設展示の公開及び開館記念特別展示、開館記念講演会などの事業始まる
- 平成2年 1月 須田剋太氏より所蔵美術品（須田剋太作品）の寄贈を受ける
8月 星を見る会開始（現・星空観望会）
10月 飯田ロータリークラブより岩石園が寄贈される
- 平成3年 10月 プラネタリウムCDコンサート開始（平成8年まで）
- 平成4年 3月 学芸員1名（美術）退職
4月 学芸員1名（美術）採用
9月 子ども科学工作教室開始
- 平成5年 5月 収蔵庫B・Cの空調設備改修、電子顕微鏡導入

- 7月 飯田市と上郷町の合併により、上郷町立上郷考古博物館が「飯田市上郷考古博物館」と改称し、飯田市美術博物館の附属施設となる
- 平成6年3月 菱田春草筆「春秋」を購入
 - 9月 井村英治氏より所蔵美術品（井村コレクション、日本画等）の寄贈を受ける
- 平成7年3月 学芸員1名（生物）退職
 - 5月 学芸員1名（古生物）採用
- 平成8年3月 藤本四八氏より所蔵資料（写真フィルム）の寄贈を受ける
 - 10月 鹿間みゆき氏より所蔵資料（関利夫コレクション、世界のチョウ類）の寄贈を受ける
 - 11月 小学校天文教室（現・星空観望会）開始
- 平成9年3月 菱田春草筆「鹿」購入
 - 3月 伊那谷自然史発表会開始
 - 3月 学芸員1名（仏教美術）退職
 - 4月 顧問として藤本四八氏（写真家）就任
 - 4月 学芸員1名（仏教美術）採用
 - 4月 高田由紀氏より所蔵美術品（岩崎新太郎コレクション、日本画）の寄贈を受ける
- 平成10年4月 学芸員1名（生物）採用
- 平成11年3月 綿半野原総業株式会社より所蔵美術品（綿半野原コレクション、日本画・陶磁器・印籠）の寄贈を受ける
 - 5月 熊谷みづほ氏より所蔵美術品（熊谷好博子染色作品）の寄贈を受ける
- 平成12年1月 伊那谷自然史論集発刊
 - 7月 美博歴史文化講座（現・美博文化講座）開始
 - 8月 学習室にてレファレンスサービス開始
- 平成14年4月 子ども美術学校開始
 - 4月 公式ホームページ開設
 - 9月 文化庁の認める「公開承認施設」となる（～令和4年9月）
 - 10月 菱田春草筆「菊慈童」を購入
（「『菊慈童』購入を願う市民会議」による寄付（募金総額 51,278,445円））
- 平成15年4月 ミュージアムコンサート開始
 - 6月 研究活動報告会開始（現・びはく学芸祭）
 - 10月 追手町小学校化石標本室、プレ公開を開始
- 平成16年3月 正宗太郎氏より所蔵美術品（正宗得三郎作品）の寄贈を受ける
 - 4月 顧問として野本寛一氏（柳田國男記念伊那民俗学研究所）、松島信幸氏（伊那谷自然友の会）就任
 - 4月 追手町小学校化石標本室オープン
 - 11月 広瀬忠一氏より所蔵美術品（広瀬忠一染織作品）の寄贈を受ける
 - 12月 仲村良一氏より所蔵美術品（仲村進日本画作品）の寄贈を受ける
- 平成17年2月 学習室に中二階を増設しリニューアルオープン
 - 7月 江戸のモノづくりシンポジウム in 飯田開催
 - 10月 上村と南信濃村との合併により、上村山村文化資源保存伝習施設「天伯」と附属施設山村ふるさと保存館「ねぎや」及び南信濃村民芸等関係施設（遠山郷土館）を包含する
- 平成18年3月 井上正館長退任、引き続き顧問となる
 - 4月 滝沢具幸館長就任
 - 4月 サクラ開花期の開館時間延長開始（～平成28年まで）
 - 8月 第1回 美博まつり開催（以後令和元年まで毎年開催）
- 平成19年3月 本館空調設備更新
 - 4月 本年度から飯田市藤本四八写真文化賞事業を担当
- 平成20年4月 新ロゴマーク決定
 - 4月 上村山村文化資源保存伝習施設「天伯」、附属施設山村ふるさと保存館「ねぎや」を上町活性化委員会の指定管理とする
 - 6月 開館20周年式典

- 6月 田中芳男胸像除幕（「田中芳男の胸像制作等を願う市民会議」による寄贈（募金総額5,294,000円））
- 7月 年間パスポートの開設
- 8月 外壁・屋上・シーリング改修工事（西側階段廻り、南側外壁、東側階段廻り、屋上トップライト廻り）
- 11月 開館20周年記念 第1回びはく学芸祭開催（研究活動報告会から発展、以後現在まで毎年開催）
- 平成21年1月 第1回 美術鑑賞の会開催（以降現在まで継続）
- 3月 ロビー空間の無料化はじまる
- 平成22年4月 一般社団法人飯田市南信濃振興公社を南信濃民芸等関係施設（遠山郷土館）の指定管理者とする
- 平成23年3月 プラネタリウムリニューアルオープン
- 11月21日～2月20日 施設改修のため長期休館
- 平成24年5月 顧問として福田アジオ氏（柳田國男記念伊那民俗学研究所）就任
- 平成25年3月 遠山郷土館の大規模展示更新
- 4月 株式会社上村振興公社を上村山村文化資源保存伝習施設「天伯」、附属施設山村ふるさと保存会「ねぎや」の指定管理者とする
- 4月 飯島國昭氏より所蔵資料（長野県陸産貝類標本）の寄贈を受ける
- 平成26年3月 遠山郷土館の展示更新（遠山霜月祭 宇佐八幡三社の面等の展示）
- 6月 恐竜3体の愛称を募集により決定
- 平成28年2月 市民ギャラリー横トイレ改修工事
- 3月 防火貯水槽設置工事
- 5月 第10回 藤本四八写真文化賞・受賞記念講演会開催。第10回をもって写真文化賞を終了する
- 11月 柳田國男館が国登録有形文化財に登録される
- 平成29年3月 笹本千草氏より所蔵美術品（菱田春草未完成作品など）の寄贈を受ける
- 4月 飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン策定
- 9月 菱田春草記念室の常設展示を開始
- 平成30年3月 菱田春草「鎌倉時代闘牛の図」を購入
- 6月 顧問として小川直之氏（柳田國男記念伊那民俗学研究所）就任
- 12月 自然・人文常設展示室改修工事（令和元年7月まで）
- 12月 株式会社大空企画を上村山村文化資源保存伝習施設「天伯」、附属施設山村ふるさと保存館「ねぎや」の指定管理者とする
- 平成31年3月 学芸員2名（民俗、地質）退職
- 4月 職員1名（プラネタリウム）採用
- 令和元年7月 自然・文化展示室リニューアルオープニングセレモニー
- 7月 自然・文化のトピック展示がスタートする
- 7月 リニューアル記念VR体験会（21日、8月4、11、18、25日）開催
- 7月 記念講演会「地域文化の創造・継承と博物館」開催
- 9月 記念講演会「地域社会の再生と文化」開催
- 令和2年4月 南信濃民芸等関係施設（遠山郷土館）が飯田市の直営施設となる
- 4月 新型コロナウイルス感染拡大全国緊急事態宣言による休館（4月10日～5月20日）
- 8月 新型コロナウイルス感染拡大により、「美博まつり」を「ワクワクびはくで夏休み」に変更して開催
- 10月 学芸員1名（民俗）採用
- 令和3年1月 新型コロナウイルス感染警戒レベル5による休館（1月19日～2月5日）
- 4月 文化財保護活用課が上郷考古博物館内に移転し、上郷考古博物館および附属施設の秀水美術館の運営担当課となる
- 4月 学芸員1名（美術）採用
- 7月 ドームイベント「オリンピック2020東京大会コミュニティライブサイト」開催
- 8月 新型コロナウイルス感染警戒レベルが5となり休館（9月12日まで）
- 令和4年1月 新型コロナウイルス感染警戒レベルが5となり休館（2月10日まで）
- 3月 学芸員1名（古生物）退職
- 4月 条例の改正により、飯田市上郷考古博物館の名称を飯田市考古博物館に改める

- 4月 学芸員1名(古生物)採用
- 8月 新型コロナウイルス感染警戒レベル5により「ワクワクびはくで夏休み2022」中止
- 令和5年3月 学芸員1名(美術)退職
- 令和6年3月 ロビー特定天井改修工事
- 3月 滝沢具幸館長退任、引き続き顧問となる
- 4月 蜂谷充志新館長就任
- 4月 学芸員1名(美術)採用

2. 展 覧 会

- 昭和63年度 特別陳列「郷土の近代彫刻・工芸」(10月)・企画展「児童生徒期の絵心」(10月)・企画展「写真で見る飯田城から美博まで」(10月)・企画展「雑木林」(11月)
- 平成元年度 第42回長野県美術展(9月)・開館記念特別展「菱田春草ー空間表現の追求ー」(10月)・企画展「風越山の自然と文化」(10月)・特別陳列「所蔵品展」(10月)・特別展「サラ・ムーン」(12月)・企画展「子どもたちの世界」(1月)・企画展「日夏耿之介展ー生誕100年特別陳列ー」(2月)・第4回中央出品作展(2月)
- 平成2年度 企画展「知られざる須田剋太の世界」(4月)・二科長野支部展(4月)・特別陳列「デスモスチルス大臼歯発見!」(5月)・特別陳列「信州伊那郡之絵図・伊那郡菌部・本草図彙」(6月)・企画展「伊那谷の昆虫」(7月)・韓国のイメージ日本展・中国のイメージ展(8月)・第43回長野県美術展(9月)・特別展「佐竹蓬平展」(10月)・企画展「紙の文化」(1月)・企画展「日夏耿之介展ーその書画と遺愛の品々」(2月)
- 平成3年度 現代フランス版画展(4月)・企画展「色彩にひそむ生命感 須田剋太の抽象」(5月)・企画展「伊那谷の災害ー水と土砂の猛威ー」(6月)・特別展「伊那谷の人形芝居」(7月)・長野県工芸展(9月)・特別展 春草没後80周年記念「天心傘下の巨匠たち」(10月)・第44回長野県美術展(11月)・企画展「洋画の百年展」(11月)・第5回中央出品作展(1月)・企画展「日夏耿之介回顧展」(2月)
- 平成4年度 特別展「ほとばしる生命・画業50年 須田剋太展」(5月)・企画展「氷河期の生き残りーニホンカモシカー」(6月)・特別展「帰国記念展 原田泰治アメリカに行く」(8月)・企画展「柳田國男と信州」(8月)・第45回長野県美術展(8月)・企画展「国際宇宙記念 移動宇宙展」(9月)・信州春陽展(9月)・企画展「バード・イン・アート」(10月)・企画展「伊那谷の仏教文化Ⅰー瑠璃寺の秘宝ー」(10月)・光風会工芸部長野会展(11月)・企画展「国立民族学博物館所蔵オーストラリアの先住民」(3月)・企画展「笠岡市立竹喬美術館交換展 小野竹喬展」(3月)
- 平成5年度 企画展「宇宙開発展」(5月)・企画展「ベルギー・日本交流版画展」(5月)・企画展「化石が語る富草の海」(7月)・特別展「北斎漫画の世界」(7月)・企画展「日夏耿之介回顧展Ⅳ」(9月)・第46回長野県美術展(10月)・企画展「浜松市美術館所蔵品展」(10月)・第6回中央出品作展(2月)・特別展「白隠」(3月)
- 平成6年度 企画展「生誕120周年記念 菱田春草展ー郷土に残された作品を中心にー」(4月)・企画展「伊那谷の身近な生き物たち」(6月)・企画展「おかいこさま」(7月)・特別展「イタリア・謎と神話」(8月)・第47回長野県美術展(9月)・特別展「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」(10月)・第5回光風会工芸部明日へのかたち展長野展(11月)・長野県博物館協議会巡回展「宮坂勝とその周辺」(1月)・特別陳列「江戸期の郷土絵画ー原蓬山を中心に」(3月)
- 平成7年度 特別展「ベン・シャーン」(4月)・企画展「活断層と伊那谷の生い立ち」(7月)・日中友好版画交流展(9月)・第48回長野県美術展(9月)・特別展「飯田商家の風雅 井村コレクションの精粹」(10月)・第7回中央出品作展(2月)・企画展「伊那谷の仏教文化Ⅱ」(11月)・企画展「豊橋市美術博物館所蔵品展」(3月)
- 平成8年度 第6回南信一水会出品作品展(6月)・企画展「鉱物の世界ー中平豊氏コレクションを中心にー」(7月)・寄贈記念展「藤本四八展ー日本の美を求めてー」(7月)・第16回長野県工芸展(9月)・第49回長野県美術展(9月)・特別展「原弘」(9月)・特別展「神々の訪れー天竜川流域の芸能の面ー」(11月)・特別陳列「関コレクションー世界の蝶ー」(1月)

- 平成9年度 企画展「チェコ・リトアニア・日本の現代版画交流展」(4月)・飯田市制60周年記念特別展「生命史20億年」(7月)・第50回長野県美術展(9月)・特別展「伊那谷の馬 科野の馬」(10月)・特別展「藤本四八展ーアトリエの中の画家たち／法隆寺」(11月)・特別展「熊谷守一展」(1月)・第8回中央出品作品展(2月)・特別陳列「富岡鉄斎と安藤耕斎」(2月)・特別陳列「飯田城と飯田城主」(3月)
- 平成10年度 開館10周年記念特別展「天心傘下の巨匠たちⅡ」(4月)・同特別展「長谷川コレクション展Ⅰーゾウ化石の発掘から復元までー」(7月)・同特別展「人形の魔術師 川本喜八郎展」(7月)・同特別展「岩崎新太郎コレクション展」(9月)・同特別展「天竜川展」(10月)
- 平成11年度 特別陳列「長谷川コレクション展Ⅱ」(7月)・特別陳列「伊那谷の人形芝居のかしら①ー伊豆木人形ー」(7月)・特別陳列「富本銭と信濃の皇朝十二銭」(8月)・第52回長野県美術展(8月)・特別展「日本博物館の父 田中芳男展」(9月)・特別展「江戸南画の潮流Ⅰー谷文晁と鈴木芙蓉ー」(10月)・企画展「藤本四八展ー三熊野」(2月)
- 平成12年度 寄贈記念特別展「綿半野原コレクション展」(4月)・特別展「チョウとガの魅力」(7月)・特別陳列「伊那谷の人形芝居のかしら②ー桐林人形ー」(7月)・特別陳列「日夏耿之介の眼Ⅰー故郷への憧憬ー」(8月)・寄贈記念展「熊谷好博子」(10月)・特別陳列「長谷川コレクションⅢー動物の骨・現生の動物の頭骨や骨格標本ー」(10月)・第1回現代の創造展(1月)・企画展「藤本四八ー装飾古墳・鎌倉むさしの仏たち」(2月)
- 平成13年度 特別展「子供と楽しむ動物画展」(5月)・特別陳列「伊那谷の人形芝居のかしら③ー黒田人形ー」(7月)・第54回長野県美術展(9月)・特別展「聖徳太子絵伝が語るもの」(10月)・特別展「南アルプスー形と成り立ちー」(10月)・特別陳列「長谷川コレクション展Ⅳー日本最古のオオカミ類の化石ー」(12月)・第2回現代の創造展(3月)
- 平成14年度 特別展「化石芸術」(7月)・特別展「須山計一」(9月)・特別展「伊那谷の文化財ー飯田下伊那の特質を探るー」(10月)・特別陳列「城田孝一郎ー寄託作品よりー」(11月)・第3回現代の創造展(3月)
- 平成15年度 新収蔵記念 菱田春草展「菊慈童・自然と人間のフュージョン」(4月)・特別展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展とスロヴァキア絵本芸術の巨匠たち」(7月)・特別陳列「自然の不思議ー色から探る鉱物の世界ー」(7月)・特別展「平山郁夫コレクションーブッダの生涯とガンダーラをめぐる人びとー」(8月)・第56回長野県美術展(9月)・第4回現代の創造展(2月)・特別陳列「飯田のお練り祭りーよみがえる豪華絢爛な祭礼絵巻ー」(2月)
- 平成16年度 企画展「ひと・むし・たんぼ」(7月)・企画展「平和の使者『長野絹子と青い目の人形』展」(7月)・寄贈記念特別陳列「正宗得三郎」(8月)・企画展「江戸時代の好奇心ー飯田・市岡家の本草学と多彩な教養ー」(10月)・特別展「京都の日本画」(11月)・第5回現代の創造展(3月)
- 平成17年度 寄贈記念特別陳列「飯田つむぎのころー広瀬忠一の織物ー」(6月)・特別陳列「原人がいた頃のシカ」(6月)・白山社奥社修理記念特別陳列「風越山とその信仰」(6月)・特別陳列「絵図でみる飯田城」(7月)・第58回長野県美術展(8月)・特別陳列「市岡家と万博の父田中芳男」(9月)・白山社奥社修理記念特別陳列「白山社奥社の扉絵」(9月)・特別展「中世信濃の名僧ー知られざる禅僧たちの営みと造形ー」(10月)・特別展「仲村進展」(1月)・第6回現代の創造展(2月)
- 平成18年度 特別陳列「日夏耿之介の眼ー會津八一との出会いー没後50年」(4月)・特別展「富岡鉄斎展」(7月)・新飯田市誕生記念企画展「遠山大地変と埋没林」(7月)・同特別展「遠山霜月祭の世界」(10月)・特別陳列「集める楽しみ、調べる魅力ー美博の自然コレクション展ー」(11月)・第7回現代の創造展(2月)
- 平成19年度 特別陳列「桜ー爛漫と愛惜の花ー」(4月)・特別陳列「飯田大火60年ーまちを変えた大災害をふりかえるー」(4月)・特別陳列「城田孝一郎の木彫」(6月)・飯田市制施行70周年記念特別展「水谷章人写真展」(7月)・企画展「中央アルプスを歩く」(7月)・第60回記念長野県美術展(10月)・飯田市制施行70周年記念特別展「絵画のなかの物語ー菱田春草『王昭君』と日本美術院の歴史画ー」(10月)・特別陳列「飯田町に書画ありー井村萬之助と岩崎新太郎」(11月)・特別陳列「骨は語る」(11月)・特別陳列「広瀬忠一の染めと織物」(1月)・第8回現代の創造展(2月)・特別展「藤本四八ー美を追いかけた写真家の生涯ー」(3月)・特別陳列「花を愛でるーうめ・もも・さくらー」(3月)

- 平成20年度 第6回藤本四八写真文化賞受賞作品展（5月）・開館20周年記念特別陳列「新指定文化財・新館蔵品展」（6月）・同特別陳列「田中芳男館蔵品展」（6月）・同企画展「ハナノキ湿地の自然史ー赤き楓のかなでる交響楽ー」（7月）・同企画展「信州喫茶事始ーお茶をめぐる文化誌ー」（7月）・同特別陳列「伊那谷の仏教絵画ー聖徳太子絵伝と真宗の宝を集めてー」（9月）・同特別展「江戸南画の潮流Ⅱ 文晁・華山の新感覚」（10月）・第9回現代の創造展（2月）特別陳列「桜ー春の歳時記ー」（3月）
- 平成21年度 特別展「版画に見る印象派ー陽の当たる午後、天使の指がそっとー」（4月）・特別陳列「日夏耿之介の眼Ⅲー谷中安規の版画世界ー」（6月）・企画展「こんなの見つけた！ ぼくのわたしの里山コレクション」（7月）・長野県在住日展日本作家飯田展（7月）・特別陳列「天龍峡ー神仙境と文雅の歩みー」（8月）・第62回長野県美術展（10月）・特別陳列「化石は語るー生物の進化と古環境ー」（10月）・第10回現代の創造展（2月）・特別展「信州飯田領主堀侯ー日本を動かした郷土の外様大名ー」（3月）
- 平成22年度 第7回藤本四八写真文化賞受賞作品展（5月）・企画展「伊那谷の蝶蛾誌ー井原道夫コレクションー」（7月）・特別展「ミュージアム・サミット美の競演ー三遠南信交流展ー」（9月）・特別展「獅子舞ーユーラシアから伊那谷へー」（10月）・第11回現代の創造展（2月）・特別展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」（3月）
- 平成23年度 特別陳列「三六災害50年ー伊那谷を襲った大水害をふり返るー」（6月）・企画展「小惑星が衝突した御池山クレーター」（6月）・三遠南信文化交流展「黄金の世紀ーきらめく古墳文化ー」（7月）・特別陳列「菱田春草ー新飯田市文化財指定作品特別公開ー」（8月）・菱田春草没後百年記念特別展「春草晩年の追求ー日本美術院と装飾美ー」（9月）・瑠璃寺開基900年記念特別陳列「瑠璃寺と天台の秘宝」（10月）・第12回現代の創造展（2月）・特別陳列「桜ー印籠と謡本、飯田の古桜」（3月）
- 平成24年度 特別陳列「飯田山本 竹佐中原遺跡の旧石器」（4月）・寄贈記念特別展「滝沢具幸ー地のうたー」（4月）・第8回藤本四八写真文化賞受賞作品展（5月）・特別展「大恐竜展ー謎の巨大恐竜スピノサウルスー」（6月）・柳田國男没後50年記念企画展「民俗の宝庫〈三遠南信〉の発見と発信ー柳田國男・折口信夫ら先学による調査研究のあゆみー」（9月）・企画展「洋画家・正宗得三郎ー疎開の地・伊那谷へのまなざしー」（11月）・企画展「長野二紀展ー新たな価値あるフォルムをめざしてー」（11月）・企画展「伊那谷のやきものー飯田市一帯の窯跡とその製品ー」（12月）・第13回現代の創造展（2月）・特別陳列「愛宕稲荷神社の三十六歌仙絵馬と飯田の文化」（3月）
- 平成25年度 寄贈記念企画展「なんでもかんでもカタツムリ！ー飯島國昭コレクションー」（6月）・特別陳列「遠山森林鉄道」（6月）・特別陳列「りんご並木50年」（7月）・第65回長野県美術展（9月）・特別展「伊那谷の日本画ー春草没後の求道者たちー」（10月）・特別展「カミとホトケの交渉史ー廃仏毀釈の爪跡ー」（11月）・特別展「お金の博物誌ー富本銭から六文銭までー」（11月）・第14回現代の創造展（2月）・企画展「3.11東日本大震災3周年 地震と地盤災害」（3月）・第1回小中学校郡展等優秀作品展（3月）
- 平成26年度 特別陳列「飯田上飯田の文化財ー丘の上の魅力再発見ー」（4月）・第9回藤本四八写真文化賞受賞作品展（5月）・企画展「古代の生きもの大集合」（7月）・企画展「南信州の煙火ー火の芸術に魅せられた男たちー」（7月）・特別企画「親子で楽しむ菱田春草」（7月）・国史跡指定記念企画展「伊那郡衙ー恒川官衙遺跡ー」（10月）・第2回小中学校郡展等優秀作品展（2月）・第15回現代の創造展（2月）・菱田春草生誕140年菱田春草生誕地公園完成記念特別展「創造の源泉ー菱田春草のスケッチ」（3月）
- 平成27年度 企画展「生きものの小べや」（7月）・特別展「信州の祈りと美ー善光寺から白隠、春草まで」（10月）・企画展「飯田下伊那考古学最前線ー調査・研究速報ー」（10月）・特別陳列「かるたで遊ぶお正月」（12月）・第3回小中学校郡展等優秀作品展（1月）・第16回現代の創造展（2月）・特別陳列「飯田城とお練り祭り」（3月）
- 平成28年度 第10回藤本四八写真文化賞受賞作品展（5月）・企画展「飯田市藤本四八写真文化賞の20年」（5月）・企画展「高山のダイナミズム」（7月）・特別陳列「没後200年 鈴木芙蓉のいま」（8月）・寄贈記念特別陳列「城田孝一郎の木彫」（10月）・田中芳男没後100年記念特別展「日本の近代化に挑んだ人びとー田中芳男と南信州の偉人たちー」（10月）・第4回小中学校郡展等優秀作品展（1月）・第17回現代の創造展（2月）・特別展「創画会70周年記念展」（3月）

- 平成29年度 国史跡指定記念企画展「飯田古墳群－いいだは古墳の博物館－」（7月）・企画展「世界最南端のライチョウがすむ南アルプス」（7月）・特別陳列「没後210年 佐竹蓬平のいま－深まりゆく画境－」（10月）・第18回現代の創造展（2月）
- 平成30年度 特別陳列世界人形劇フェスティバル記念「伊那谷の人形芝居と大森運夫」（7月）・特別陳列「没後140年 原蓬山－伊那谷の漂泊画人－」（8月）・特別陳列「開山1300年記念 風越山－白山信仰の聖地－」（9月）・第19回現代の創造展（11月）
- 平成31年・令和元年度 文化トピック展示「飯田城と城下町」（7月）・自然トピック展示「南アルプスと中央アルプスの高山植物」（7月）・特別陳列「60年前の記憶 遙かなる遠山郷－塚原琢哉写真と民俗－」（9月）・巡回展「長野県の考古学－時代を映す“匠”の技－」（10月）・文化トピック展示「光明寺の文化財」（10月）・第20回記念現代の創造展（11月）・自然トピック展示「石ころから探る長野県の大い」（12月）・文化トピック展示「秋葉街道」（2月）
- 令和2年度 文化トピック展示「日夏耿之介と三島由紀夫、岸田國士」（5月）・特別陳列「生誕130年 日夏耿之介とともにめぐる飯田の町」（6月）・自然トピック展示「南アルプス石灰岩地の希少植物」（6月）・特別展「長野県信濃美術館交流名品展－東洋と西洋のうわしき出会い－」（7月）・文化トピック展示「『国学』って何？」（8月）・企画展「竜丘児童自由画100周年展－自由の丘の熱き記憶－」（10月）・第21回現代の創造展（11月）・文化トピック展示「鍋の考古学－昔の人はどのようにコメを食べていたんだろう？」（11月）・自然トピック展示「飯田下伊那の鉾山と鉾石」（12月）・文化トピック展示「満洲は豊かだったか－入門・下伊那の満洲移民－」（3月）
- 令和3年度 自然・文化トピック展示「三六災から60年」（6月）・特別陳列「東山道と伊那谷の古代仏教文化」（7月）・没後110年特別展「菱田春草 故郷につどう珠玉の名画」（10月）・文化トピック展示「伊那谷の富士信仰－不二道信者松下千代と仲間たち－」（10月）・自然トピック展示「生き物を未来に伝える－美博の標本づくり－」（10月）・第22回現代の創造展（11月）・文化トピック展示「飯田下伊那における疫病」（12月）・自然トピック展示「春を彩るスマレ」（2月）・文化トピック展示「元善光寺のご開帳」（3月）
- 令和4年度 自然トピック展示「夏だ！虫だ！クワガタだ！」（6月）・文化トピック展示「飯田城から追手町小学校へ」（6月）・特別陳列「南アルプスジオパーク ジオサイトを巡る」（7月）・文化トピック展示「飯田町の学問と文化」（9月）・特別展「城下町飯田と飯田藩」（9月）・自然トピック展示「トンネルの中から地中をのぞく」（9月）・第23回現代の創造展（11月）・文化トピック展示「伊那谷を襲った近世の2つの地震－遠山地震・安政東海地震－」（12月）・自然トピック展示「南アルプスのアンモナイト化石」（1月）・文化トピック展示「りんご並木と田中芳男『りんごの町飯田』誕生－」（3月）・特別展「美術と風土－アーティストが触れた伊那谷展」（3月）・遠山郷土館トピック展示「国学ってなに」（4月）・「満洲は豊かだったか」（7月）・「児童自由画展」（10月）・「春を彩るスマレ」（1月）
- 令和5年度 文化トピック展示「南信州の風流踊」（6月）・自然トピック展示「伊那谷でちかごろ目立つ外来生物」（6月）・特別陳列「驚異の部屋－長谷川善和コレクション－」（7月）・文化トピック展示「『飯田歌舞伎座』－明治飯田を彩った芝居と相撲の殿堂－」（8月）・第75回長野県美術展（10月）・自然トピック展示「南アルプスの高山蛾調査最前線！」（3月）・「複製画で見る春草の名画」（3月）・「江戸の中の飯田藩」（3月）・遠山郷土館、上村まつり伝承館「天伯」トピック展示「トンネルの中から地中を覗く」（4月）・「『遠山奇談』入門」（7月）・「飯田町の学問と文化」（10月）・「飯田下伊那を襲った2つの地震」（1月）
- 令和6年度 文化トピック展示「伊豆木小笠原家と旧小笠原家書院」（6月）・特別陳列「太田用成生誕180年記念『七科約説』を生んだ飯田の医学・本草学」（8月）・自然トピック展示「そして化石は『標本』になる－近藤恭一がみつけた富草の海－」（8月）・文化トピック展示「菱田春草生誕150年 菱田家の人びと」（9月）・菱田春草生誕150年記念特別展「創造の道筋－画卷『四季山水』への歩み－」（10月）・「第24回 現代の創造展」（11月）・文化トピック展示「生誕150年 仏師井出嘉油の眼と技」（12月）・「複製画で春草の名画を見よう」（12月）・自然トピック展示「ギフチョウと伊那谷の春のチョウ」（2月）・文化トピック展示「新収蔵品紹介 修復を終えた田中芳男関係資料」（3月）

Ⅱ. 令和7年度の運営

1. 主要記事

共 通

- 令和7年5月18日 田中芳男と国際博物館の日（観覧料無料）
5月27日 燻蒸（6月6日まで）
7月26日 令和7年度第1回美術博物館協議会
8月11日 ワクワクびはくで夏休み2025
9月17日 春草ウィーク・シルバーウィーク（観覧料無料）（9月23日まで）
令和8年2月26日 令和7年度第2回美術博物館協議会
3月14日 びはく学芸祭2026ポスター展示（3月29日まで）
3月21日 びはく学芸祭2026ポスターセッション

美術分野

- 令和7年4月19日 菱田春草常設展示第52期「出発－画家を志して－」（5月25日まで）
6月7日 菱田春草常設展示第53期「初夏－うるおいの季節－」（7月13日まで）
コレクション展示「千紫万紅－江戸絵画の創意－」（7月13日まで）
7月19日 菱田春草常設展示第54期「外遊－海に臨んで－」（8月24日まで）
コレクション展示「Hot & Cool－須田剋太とオノサト・トシノブの抽象」（8月31日まで）
8月22日 第42回美術鑑賞の会「春草の外遊／抽象画の鑑賞」
8月30日 菱田春草常設展示第55期「紅葉－静寂の時－」（10月5日まで）
9月14日 春草講座第1講「春草と批評－明治30年代－」
9月19日 令和7年度第1回評議員会（美術）
10月11日 菱田春草常設展示第56期「挑戦－文展への道－」（11月16日まで）
10月26日 春草講座第2講「春草と批評－明治40年代－」
11月23日 第25回現代の創造展－南信州のアートと共に創る－（12月14日まで）
菱田春草常設展示第57期「暮秋－うつろう色彩－」（12月28日まで）
11月29日 現代の創造展・中学生一日学芸員
現代の創造展・ギャラリートーク
12月7日 現代の創造展・高校生一日学芸員
現代の創造展・ギャラリートーク
令和8年1月10日 企画展 写真家60周年記念展「水谷章人の世界」（2月23日まで）
「複製画で春草の名画を見よう」（2月23日まで）
水谷章人展・ギャラリートーク1
1月30日 第43回美術鑑賞の会「写真鑑賞・水谷章人の世界」
2月6日 「こども美術学校・中学生造形教室作品展」（2月23日まで）
2月7日 水谷章人展・ギャラリートーク2
3月7日 菱田春草常設展示第58期「萌春－さくら咲く－」（4月12日まで）
コレクション展示「陶酔境に到る－綿半野原コレクションの陶磁器2026－」（5月24日まで）
コレクション展示「浄瑠璃人形を描く－大森運夫のまなざし－」（4月12日まで）
日本画実技講座（3月8日まで）
3月19日 令和7年度第2回評議員会（美術）
3月28日 美術講演会「私の作品制作とアートの思考」

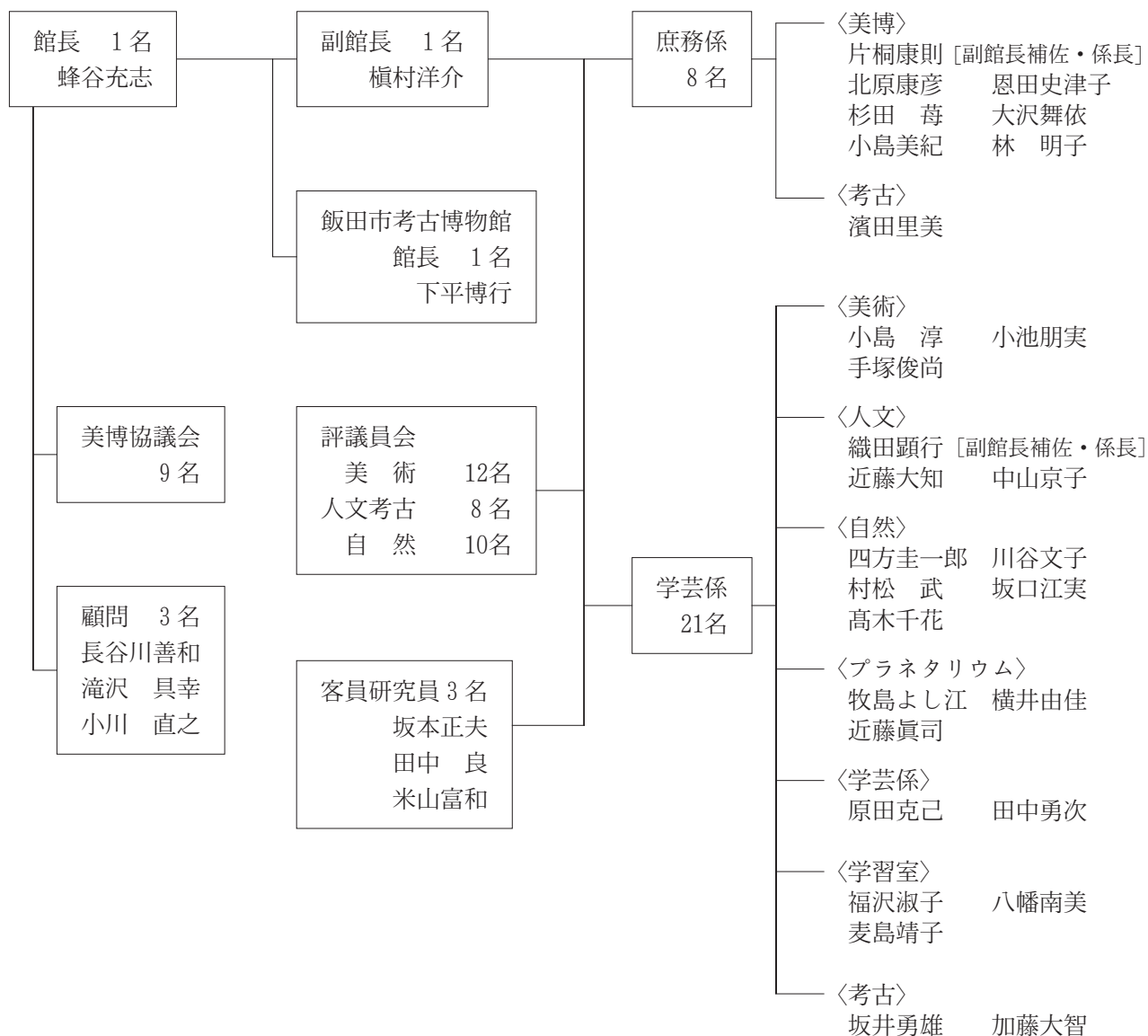
人文分野

- 令和7年5月18日 「田中芳男と国際博物館の日」関連展示（5月25日まで）
5月18日 見学会「“日本の博物館の父” 田中芳男とりんご並木」
5月25日 特別講演会「人知れぬ海のいのち」（柳田国男記念伊那民俗学研究所共催事業）
6月7日 文化トピック展示「新収蔵品紹介 万国博覧会と田中芳男」（8月24日まで）
6月15日 見学会「日夏耿之介ゆかりの碑を訪ねて」
7月27日 文化講座「田中芳男と博覧会」
8月26日 文化トピック展示 柳田国男生誕150年「柳田国男と南信州」（11月16日まで）
9月13日 特別展「山とともに生きるー遠山郷のあゆみとくらしー」（11月9日まで）
9月21日 文化講座「遠山郷の歴史と文化ー大自然が育む神々の谷」
10月1日 令和7年度 第1回人文・考古分野評議員会
10月11日・11月9日 映像上映会「遠くへ行きたい 伊丹十三の天が近い村～伊那谷の冬」
11月2日 見学会『御用水』を訪ねてー橋北地区を中心にー
11月3日 文化講座「王子製紙の入村と遠山谷」
11月23日 文化トピック展示「下伊那歴史研究のあゆみ」（2月23日まで）
12月21日 文化講座『下伊那史』を支えた人々」
令和8年2月7日 藤本四八記念小中高校生写真賞表彰式
3月7日 文化トピック展示 瑠璃寺御開帳記念「大型屋台獅子の誕生とひろがり」（5月24日まで）
3月17日 令和7年度 第2回人文・考古分野評議員会
3月22日 文化講座「大型屋台獅子の誕生とひろがり」

自然分野・プラネタリウム

- 令和7年5月6日 自然講演会「化石タイムカプセルーコンクリーションの謎を解くー」（伊那谷自然友の会共催）
6月7日 自然企画展「高山植物と高山昆虫からたどる南アルプス博物学の120年」（8月31日まで）
6月7日 自然トピック展示「帰ってきた植物化石ー田中芳男と科博天産部標本から探る伊那谷の自然科学黎明期ー」（9月28日まで）
9月7日 令和7年度第1回自然分野評議員会
9月30日 自然トピック展示「化けるムシたち」（令和8年2月1日まで）
令和8年2月3日 自然トピック展示「わたしのコウブツ」（5月24日まで）
3月8日 令和7年度第2回自然分野評議員会
3月14日 「伊那谷自然史発表会」
3月20日 「プラネタリウムまつり」

2. 組 織（令和7年4月1日～令和8年3月31日）



3. 美術博物館協議会

本館の運営に対する助言、指導を得るために、各種団体代表者、学識経験を有する委員で構成している。

協議会委員（敬称略）

伊澤 宏爾（学識経験者）	塩原 智子（幼児教育）
木下 容子（学識経験者）	多田 和也（教頭会）
久保田義秀（市民公募）	長坂菜摘子（学識経験者）
桑原 利彦（学識経験者）	福澤 栄二（学識経験者）
酒井 郁雄（社会教育）	

運営経過

令和7年7月26日 第1回美術博物館協議会
令和8年2月26日 第2回美術博物館協議会

4. 評議員会

本館の学芸活動に対する助言・指導を得るために、各部門（美術、人文・考古、自然）に12名程度の専門的知識を有する委員で構成している。

美術分野

評議員名（敬称略）

勝野 文男（鉄斎愛好会）	本田 守彦（春草会）
上條 雪絵（図工・美術科委員会）	馬島 高志（菱田春草研究委員会）
木下 剛亨（彫刻）	水上 雅彦（工芸）
熊谷ひろみ（書）	宮下 勝吉（春草会）
田中 洋江（コンテンポラリー）	村田 眞宏（美術史）
林 敬子（洋画）	横山 勝彦（美術史）

運営経過

令和7年9月19日 令和7年度第1回美術分野評議員会
令和8年3月19日 令和7年度第2回美術分野評議員会

人文・考古分野

評議員名（敬称略）

市原 日貴〔神社：富士山稲荷祢宜、長姫神社宮司〕
今井 啓〔民俗（柳田国男）：伊那民俗学研究所副事務局長〕
今村 光利〔歴史（近代史・人物）：シニア活動推進コーディネーター〕
川上 香〔民俗：国立民族学博物館外来研究員〕
早苗 寿雄〔歴史（中世史）：保寿寺住職、飯田高等学校教諭〕
塩澤 元広〔歴史（近世史）：高森町歴史民俗資料館館長〕
高見 俊樹〔考古：一般社団法人大昔調査会理事長〕
米山 妙子〔考古：中川村歴史民俗資料館学芸員〕

運営経過

令和7年10月1日 令和7年度第1回人文・考古分野評議員会
令和8年3月17日 令和7年度第2回人文・考古分野評議員会

自然分野

評議員名（敬称略）

大窪久美子（植物：信州大学学術研究院農学系）	酒井 幸雄（変成岩：飯田高校）
大塚 孝一（植物：長野県植物目録編纂委員会）	平沢 広行（天文：飯田御月見天文同好）
岸元 良輔（ほ乳類：信州ツキノワグマ研究会）	安田 守（昆虫：自然写真家）
桐生 和樹（地質：信州大学教育学部附属長野中学校）	山田 桂（地質：信州大学学術研究院理学系）
久保田憲昭（水生昆虫：天竜川総合学習館）	鷺田 俊一（野鳥：阿智第一小学校）

運営経過

令和7年9月7日 令和7年度第1回自然分野評議員会
令和8年3月8日 令和7年度第2回自然分野評議員会

5. 美術品等購入専門委員会

本館の美術品等の購入について意見を得るために、5人の専門知識を有する委員で構成している。

委員名（敬称略）

伊藤 紫織（近世美術）	佐藤 志乃（近代美術）	吉澤 健（近世美術）
北野 敏美（近・現代美術）	滝澤 正幸（近代美術）	

運営経過

開催なし

6. 利用状況

1 観覧者数

年 月	開館 日数	観覧者 数	個人	団体	減 免			未就学	招待	入館のみ
			一般	一般	一般	高校生	小中学生		一般	一般
令和7年4月	25	2,283	806	69	125	5	123	90	23	1,042
5月	22	1,983	669		329	28	296	89	12	560
6月	20	1,752	701		84	13	342	146	15	451
7月	27	2,193	763		166	9	324	214	25	692
8月	27	4,117	1,550		618	43	723	397	32	754
9月	24	2,895	621		932	21	304	202	97	718
10月	27	3,148	919	76	229	15	493	180	145	1,091
11月	21	3,013	1,010	618	124	9	377	103	113	659
12月	24	2,914	829	977	73	25	369	143	30	468
令和8年1月	19	1,371	504		51	9	107	106	63	531
2月	19	1,650	545		44	10	133	162	52	704
3月	21	2,608	861	1	106	17	160	215	36	1,212
計	276	29,927	9,778	1,741	2,881	204	3,751	2,047	643	8,882

- ・障がい者、割引券、ワッペン無料入場者数、ワクワクびはくで夏休み参加者は、減免に含む
- ・年間パスポート会員の入館者数は、一般に含む
- ・前売券戻りは団体一般に含む

2 プラネタリウム観覧者数

年 月	投影回数	観覧者数	一般（平日、土、日祝）		予約（学校団体等）	
			観覧者数	投影回数	観覧者数	投影回数
令和7年4月	32	524	447	27	77	5
5月	33	780	564	29	216	4
6月	27	1,167	1,043	24	124	3
7月	47	1,370	845	27	525	20
8月	64	2,894	2,740	58	154	6
9月	47	1,076	768	36	308	11
10月	41	1,029	381	24	648	17
11月	42	661	363	33	298	9
12月	31	821	656	23	165	8
令和8年1月	28	469	387	24	82	4
2月	40	734	566	30	168	10
3月	47	1,130	874	38	256	9
計	479	12,655	9,634	373	3,021	106

3 付属施設観覧者数

柳田國男館	日夏耿之介 記念館	追手町小学校化石標本室				まつり伝承館		遠山郷土館		
		一般公開		学校等						
観覧者数	観覧者数	開館日数	観覧者数	開館日数	観覧者数	開館日数	観覧者数	開館日数	観覧者数	利用者数
3,740人	1,130人	20日	238人	6日	40人	258日	757人	297日	1,114人	1,975人

4 教育普及活動利用者数

①館主催の教育普及活動利用者数

	美 術	人 文	自 然	総 合	合 計
回 数	40回	52回	80回	2回	169回
受 講 者	793人	1,244人	1,583人	514人	4,134人

②地域・団体への招聘・参加の教育普及活動

	美 術	人 文	自 然	合 計
回 数	49回	16回	60回	125回
受 講 者	1,056人	676人	1,588人	3,320人

5 施設の利用

市民ギャラリー、科学工作室、講堂、会議室、柳田國男館、追手町小学校化石標本室の各施設について、館外の団体・個人による利用は次の通りであった。

市民ギャラリー

展 覧 会 名	展示期間	日数	代 表 者	入場者数
飯田写真クラブ作品展	4月1日～4月6日	6	(飯田写真クラブ) 原田 昇三	738
黒木奈津子 櫻井ふじ子 二人展「輝き」	4月8日～4月13日	6	櫻井ふじ子	376
貌 季節の中で 日本山岳写真協会南信支部 創立30周年記念写真展	4月15日～4月20日	6	(日本山岳写真協会南信支部) 矢澤 正之	300
第20回 南美工芸展	4月22日～4月27日	6	(南信美術会工芸部) 新井 翠	298
熊谷元一写真展	5月13日～5月18日	6	(熊谷元一写真保存活用委員会) 原 二三	346
飯田創造館絵画クラブ	5月20日～5月25日	6	(飯田創造館絵画クラブ) 篠田 隆	234
写心塾「旋風」	6月10日～6月15日	6	(写心塾「旋風」) 筒井 崇博	407
第35回 伊那谷五十人展	6月17日～6月22日	6	(伊那谷五十人展実行委員会) 小笠原悦弘	362
フォト・写彩(シャサイ)写真展	6月24日～6月29日	6	(フォト・写彩(シャサイ)事務局) 木下 智子	354
第22回 大潮会南信支部展	7月8日～7月13日	6	(大潮会南信支部) 林 隆秀	250

第3回 こども絵画作品展	7月15日～7月20日	6	(こどものアトリエぱえい かなえ教室) 片桐みどり	208
2025 第24回「みんなの風越山」写真展	7月21日～7月27日	6	(風越山を撮ろう！実行委員会) 羽生 章	207
いいだ人形劇フェスタ2025	8月7日～8月10日	4	(いいだ人形劇フェスタ実行委員会) 筒井 文彦	309
第24回 写真集団アルプ 山岳写真展	8月26日～8月31日	6	(写真集団 アルプ) 片桐 久和	299
第30回 フォト風越作品展 ～風吹くままに	9月2日～9月7日	6	(フォト風越) 岩崎 俊徳	449
写真展 絶対個性 Part10	9月9日～9月14日	6	(Photo Scramble フォトスクランブル) 鳴海 寿勇	780
第76回 南信書道会会員作品展	9月15日～9月21日	6	(南信書道会) 齋藤 清	401
たけしくんの蝶	9月23日～9月28日	5	(たけしくんの会) 稗田 隆彦	450
水彩画クラブ 創水会	9月30日～10月5日	6	(水彩画クラブ 創水会) 窪田 義則	214
あとリエキャンバス 油絵作品展覧会	10月7日～10月12日	6	(あとリエキャンバス) 齋藤 正史	372
KPC南信写真展「それぞれの四季」	10月13日～10月19日	6	(KPC南信写真クラブ) 平田 悦博	286
第11回 障がい者文化芸術作品展	10月22日～10月26日	5	(社会福祉法人 飯田社会福祉協議会) 原 重一	424
第75回 写真県展 作品展	10月28日～11月2日	6	(長野県写真連盟飯田支部) 細沢 勝義	404
第25回 飯田版画研究会 版画展	11月3日～11月9日	6	(飯田版画研究会) 安藤 睦子	285
第18回 フォトクラブIIDA	11月11日～11月16日	6	(フォトクラブIIDA) 中村 茂男	189
現代の創造展	11月23日～12月14日	19	現代の創造展実行委員会	3143
第20回 飯田医師会写真クラブ 写真展	12月16日～12月21日	6	(飯田医師会 写真クラブ) 須田 成彦	211
伊那谷写真クラブ 写真展	1月12日～1月18日	6	(伊那谷写真クラブ) 羽生 章	414
いい時間	1月20日～1月25日	6	伊藤 智庸	100
夢のつばさ アート展	1月27日～2月1日	6	(阿智村多機能型事業所 夢のつばさ) 勝又ちづる	225
子ども美術学校作品展	2月6日～2月23日	15	(飯田市美術博物館) 手塚 俊尚	719
第20回記念 日本画院出品作家展	3月10日～3月15日	6	(日本画院 飯田会) 櫻井 雅子	288
生きがい書道展	3月17日～3月22日	6	(飯田市長寿支援課) 乾 徳彦	304
ぽっぽあーと展「書ではなそう」	3月24日～3月29日	6	(ユアサポート ぽっぽ) 北澤 優子	492
			観覧者合計	14,838

科学工作室		
期 日	催 事 名	団 体 名
4月8日	伊那谷自然友の会編集会議	伊那谷自然友の会
4月19日	飯田・城下町サポーター例会	飯田・城下町サポーター
4月22日	子ども科学工作教室新キット試作の会	子ども科学工作教室運営協議会
4月25日	子ども科学工作教室新キット試作の会	子ども科学工作教室運営協議会
5月13日	伊那谷自然友の会編集会議	伊那谷自然友の会
5月14日	下伊那農業高校展示解説	下伊那農業高校
5月17日	飯田・城下町サポーター例会	飯田・城下町サポーター
5月20日	電子顕微鏡利用	飯田高校
6月10日	子ども科学工作教室打ち合わせ	子ども科学工作教室運営協議会
6月21日	飯田・城下町サポーター例会	飯田・城下町サポーター
6月26日	伊那谷自然友の会常任委員会会議	伊那谷自然友の会
7月8日	電子顕微鏡観察	飯田高校
7月19日	飯田・城下町サポーター例会	飯田・城下町サポーター
7月29日	伊那谷自然友の会編集会議	伊那谷自然友の会
7月30日	春草研究委員会研修会	春草研究委員会
8月7日	人形劇バスツアーワークショップ	龍江公民館こども会
8月20日	伊那谷自然友の会編集会議	伊那谷自然友の会
9月17日	春草記念室解説	さくら国際高校南信キャンパス
9月20日	飯田・城下町サポーター例会	飯田・城下町サポーター
9月25日	伊那谷自然友の会常任委員会	伊那谷自然友の会
10月5日	現代の創造展事務局会	第25回現代の創造展実行委員会
10月7日	伊那谷自然友の会編集会議	伊那谷自然友の会
11月11日	伊那谷自然友の会編集会議	伊那谷自然友の会
11月15日	飯田・城下町サポーター例会	飯田・城下町サポーター
11月22日	下伊那教育会地質委員会研究発表会	下伊那教育会地質委員会
12月6日	放散虫抽出作業	MTL博宮崎さん
12月10日	上久堅小学校ワークショップ	上久堅小学校
12月13日	竜丘公民館展示見学	竜丘公民館
12月20日	飯田・城下町サポーター例会	飯田・城下町サポーター
12月23日	伊那谷自然友の会編集会議	伊那谷自然友の会
12月25日	伊那谷自然友の会常任委員会	伊那谷自然友の会
1月14日	伊那谷自然友の会編集会議	伊那谷自然友の会
1月15日	展示解説	丸山小学校
1月18日	現代の創造展役員会	第25回現代の創造展実行委員会
1月24日	飯田・城下町サポーター例会	飯田・城下町サポーター
2月17日	伊那谷自然友の会編集会議	伊那谷自然友の会
2月21日	飯田・城下町サポーター例会	飯田・城下町サポーター
3月26日	伊那谷自然友の会常任委員会会議	伊那谷自然友の会

講 堂		
期 日	催 事 名	団 体 名
4 月 4 日	綿半野原総業新入社員研修	綿半野原総業株式会社
4 月 22 日	森町立旭が丘中学校修学旅行SDG s 学習	飯田市エコツーリズム振興室
5 月 6 日	伊那谷自然友の会総会	伊那谷自然友の会
5 月 25 日	柳田國男記念伊那民俗学研究所総会	柳田國男記念伊那民俗学研究所
6 月 7 日	竜峡中学校美術部展示解説	竜峡中学校美術部
6 月 15 日	伊那谷地名研究会総会	伊那谷地名研究会
7 月 6 日	伊那谷研究団体協議会総会	伊那谷研究団体協議会
7 月 13 日	遠山郷エコジョフィールドスタディー事前学習	飯田市大学誘致連携推進室
7 月 20 日	現代の創造展第 2 回役員会・係会	第25回現代の創造展実行委員会
8 月 31 日	伊那谷地名研究会例会	伊那谷地名研究会
9 月 7 日	現代の創造展第 3 回役員会	第25回現代の創造展実行委員会
9 月 15 日	第 8 回伊那民俗研究集会	柳田國男記念伊那民俗学研究所
10 月 12 日	飯田市赤十字奉仕団紙芝居分団紙芝居前日会場準備	飯田市赤十字奉仕団紙芝居分団
10 月 13 日	飯田市赤十字奉仕団紙芝居分団紙芝居	飯田市赤十字奉仕団紙芝居分団
10 月 19 日	現代の創造展第 3 回実行委員会	第25回現代の創造展実行委員会
10 月 24 日	高森中学校地域学習	高森中学校
1 月 25 日	火山教室	火山マイスターネットワーク
2 月 1 日	現代の創造展第 4 回実行委員会	第25回現代の創造展実行委員会
2 月 3 日	令和 7 年度生物多様性保全有識者会議	飯田市環境課
2 月 15 日	伊那谷研究団体連絡協議会第28回シンポジウム	伊那谷研究団体連絡協議会
2 月 21 日	聞取入門講座	飯田市歴史研究所
3 月 4 日	伊那谷の自然と文化社会教育機関 P J メンバー会議	伊那谷の自然と文化社会教育機関 P J
3 月 15 日	現代の創造展第 1 回実行委員会	第26回現代の創造展実行委員会
3 月 17 日	桜守ガイド研修	飯田市ツーリズム振興室

会議室		
期 日	催 事 名	団 体 名
4月11日	打ち合わせ	飯田市大学誘致連携推進室、中部大学
4月15日	伊那谷自然友の会監査	伊那谷自然友の会
4月25日	遠山郷エコジョFS打ち合わせ	飯田市大学誘致連携推進室
5月20日	古文書調査	個人
5月21日	古文書調査	個人
6月20日	遠山郷エコジョFS打ち合わせ	飯田市大学誘致連携推進室
10月18日	飯田・城下町サポーター例会	飯田・城下町サポーター
11月9日	現代の創造展展示会議	第25回現代の創造展実行委員会
12月 6 日	南アルプスジオパーク学術部会会議	南アルプスジオパーク学術部会
12月16日	伊那谷の自然と文化社会教育機関 P J メンバー会議	伊那谷の自然と文化社会教育機関 P J
2 月 3 日	資料調査	個人
2 月 4 日	資料調査	個人
2 月 5 日	たねの会会議	たねの会

柳田國男館		
期 日	催 事 名	団 体 名
4 月12日	柳田国男研究会例会	柳田国男研究会
4 月19日	伊那近代思想史研究会例会	伊那近代思想史研究会
4 月19日	伊那民俗研究所発送作業	伊那民俗学研究所
4 月26日	伊那民俗学研究所例会、民俗調査部会ミーティング	伊那民俗学研究所
5 月10日	柳田国男研究会例会	柳田国男研究会
5 月17日	伊那近代思想史研究会例会	伊那近代思想史研究会
6 月14日	柳田国男研究会例会	柳田国男研究会
6 月21日	伊那近代思想史研究会例会	伊那近代思想史研究会
6 月28日	伊那民俗学研究所例会	伊那民俗学研究所
7 月12日	柳田国男研究会例会	柳田国男研究会
7 月19日	伊那近代思想史研究会例会	伊那近代思想史研究会
7 月26日	伊那民俗学研究所運営委員会、調査部会、特別例会	伊那民俗学研究所
8 月 9 日	柳田国男研究会例会	柳田国男研究会
8 月16日	伊那近代思想史研究会例会	伊那近代思想史研究会
9 月13日	柳田国男研究会例会	柳田国男研究会
10月11日	柳田国男研究会例会	柳田国男研究会
10月18日	伊那近代思想史研究会例会	伊那近代思想史研究会
10月25日	伊那民俗学研究所例会、調査部会	伊那民俗学研究所
11月 8 日	柳田国男研究会例会	柳田国男研究会
11月15日	伊那近代思想史研究会例会	伊那近代思想史研究会
11月15日	伊那民俗学研究所例会	伊那民俗学研究所
12月13日	柳田国男研究会例会	柳田国男研究会
12月20日	伊那近代思想史研究会例会	伊那近代思想史研究会
12月28日	伊那民俗研究所運営委員会	伊那民俗研究所
1 月10日	柳田国男研究会例会	柳田国男研究会
1 月17日	伊那近代思想史研究会例会	伊那近代思想史研究会
1 月24日	伊那民俗学研究所例会	伊那民俗学研究所
2 月14日	柳田国男研究会例会	柳田国男研究会
2 月21日	伊那近代思想史研究会例会	伊那近代思想史研究会
2 月28日	伊那民俗学研究所特別例会、運営委員会	伊那民俗学研究所
3 月14日	柳田国男研究会例会	柳田国男研究会
3 月14日	伊那民俗研究所例会	伊那民俗研究所
3 月21日	伊那近代思想史研究会例会	伊那近代思想史研究会
3 月31日	伊那民俗学研究所発送作業	伊那民俗学研究所

追手町小学校化石標本室			
	日 時	観覧者数	備 考
1	令和7年4月29日	4	一般公開日
2	5月3日	6	一般公開日
3	5月4日	19	一般公開日
4	5月5日	11	一般公開日
5	5月20日	25	依頼公開（追手町小学校）
6	5月28日	3	依頼公開（追手町小学校）

7	6月6日	3	依頼公開（追手町小学校）
8	6月28日	6	一般公開日
9	6月29日	3	一般公開日
10	7月26日	4	一般公開日
11	7月27日	9	一般公開日
12	8月11日	11	一般公開日
13	8月16日	12	一般公開日
14	8月17日	34	一般公開日
15	9月15日	8	一般公開日
16	9月20日	16	一般公開日
17	9月21日	7	一般公開日
18	10月11日	11	一般公開日
19	10月12日	26	一般公開日
20	11月1日	1	一般公開日
21	11月2日	5	一般公開日
22	令和8年2月5日	3	依頼公開（追手町小学校）
23	2月26日	3	依頼公開（追手町小学校）
24	3月2日	3	依頼公開（追手町小学校）
25	3月28日	8	一般公開日
26	3月29日	37	一般公開日

7. 決 算

歳 入

項 目	金額（千円）	備 考
・使用料	5,580	観覧料、施設使用料
・補助金、交付金	0	
・諸収入	1,941	コピー代、図録等売却代ほか
・市債	23,200	脱炭素化推進事業債、 公共施設等適正管理推進事業債
・基金繰入金	13,920	公共施設等整備基金、地域振興基金
・寄附金	5,300	ふるさと寄付金ほか
・繰越明許	799	
・一般財源	133,451	
合 計	184,191	

歳 出

項 目	金額（千円）	備 考
・一般人件費	50,462	館長、会計年度任用職員
・美術博物館管理費	72,399	館管理費
・美術博物館事業費	29,577	展示事業、調査研究ほか
・考古博物館費	11,173	考古博物館管理費、事業費
・上村山村文化資源保存伝習施設費	9,962	まつり伝承館天伯・ねぎや管理費
・南信濃民芸等関係施設費	10,618	遠山郷土館管理費
合 計	184,191	

※歳入・歳出は考古博物館費を含む

Ⅲ. 令和 7 年度の事業報告

1. 展示事業

令和 7 年度の展示事業は、特別展 1 回、企画展 2 回、菱田春草常設展示 8 回、美術コレクション展示 4 回、自然トピック展示 3 回、文化トピック展示 4 回などを開催した。

特別展・企画展

企画展 高山植物と高山昆虫からたどる南アルプス博物学の120年 自然
令和 7 年 6 月 7 日 (土) ～ 8 月 31 日 (日)

特別展 山とともに生きるー遠山郷のあゆみとくらしー 人文
令和 7 年 9 月 13 日 (土) ～ 11 月 9 日 (日)

企画展 写真家60周年記念展 水谷章人の世界 美術
令和 8 年 1 月 10 日 (土) ～ 2 月 23 日 (月・祝)

菱田春草記念室常設展示	美術
-------------	----

コレクション展示	美術
----------	----

第25回 現代の創造展ー南信州のアートを共に創るー	美術
---------------------------	----

自然展示室トピック展示	自然
-------------	----

自然展示室	自然
-------	----

追手町小学校化石標本室	自然
-------------	----

文化展示室トピック展示	人文
-------------	----

文化展示室	人文
-------	----

遠山郷土館、上村まつり伝承館「天伯」・「ねぎや」	人文
--------------------------	----

その他の展示

企画展「高山植物と高山昆虫からたどる 南アルプス博物学の120年」

令和7年6月7日(土)～8月31日(日)

主 催 飯田市美術博物館

会 場 展示室B

観 覧 料 一般 310円(210円) 小中学生無料
()内は団体料金

観覧者数 5,827人

趣 旨 明治後半から大正、昭和初期にかけて、近代登山ブームと博物学の発展により調査研究を目的とした学術登山が行われるようになった。長野県では矢澤米三郎、河野齡蔵などが中心となって信濃博物学会が立ち上がり、北アルプスや八ヶ岳、南アルプスなどの峰々を踏査し、多くの高山植物や高山チョウなどが発見された。今回の展示では、高山植物と高山昆虫の調査史を紐解きながら、南アルプスを舞台に現在も続いている高山生物の調査とその成果について紹介した。また地球温暖化やニホンジカによる植生破壊の現状についても触れた。

展示内容と主な展示資料

1. 博物学の120年

① 近代登山の普及と学術登山

【展示資料】長野県博物学会誌、日本アルプス登山案内(書籍)、高山研究(書籍)、赤石嶽より(書籍)、日本植物志(書籍)、ライチョウ剥製

【パネル】日本の登山史概要、南アルプスの学術登山年表(明治～昭和初期)、南アルプスで学術登山をした人物紹介

② 塩見岳学術登山とタカネマンテマの発見

【展示資料】河野齡蔵採取のタカネマンテマ標本、胴乱、大正6年採集の赤石岳高山植物標本、高山植物図説(書籍)

【パネル】塩見岳探査ルート、野営の写真(前澤淵月撮影)、塩見岳学術登山で記録された動植物

③ 高山昆虫の発見史

【展示資料】昭和初期の高山昆虫標本、日本アルプスの研究(書籍)

【パネル】高山チョウ発見年表、シロウマヤガ、ヤツガダケヤガの発見エピソード、南アルプスの高山蛾調査年表

2. 博物学の現在

① 高山蛾の調査研究

【展示資料】南アルプス産高山蛾標本

【パネル】南アルプスの高山蛾、調査方法、調査日程、9年間の調査成果

② 南アルプスの高山植物

【展示資料】高山植物さく葉標本

【パネル】南アルプスの特徴的な高山植物写真

3. 地球温暖化とシカの食害

【展示資料】シカの頭骨、シカのツノ

【パネル】南アルプスのシカの食害、食害の経年変化、温暖化による積雪の減少



体験コーナー

- ① 調査道具を背負ってみよう
調査道具（30kg）の入ったザックを背負うことができる。
- ② ニホンジカの骨を触ってみよう
オスの頭骨を触ることができる。
- ③ ライチョウのぬいぐるみと記念撮影
南アルプスの山々を背景に、ライチョウのぬいぐるみといっしょに写真を撮れる。

印刷物

チラシ 17,000枚
リーフレット「南アルプス キタダケヨトウ手帖」 4,000部
リーフレット「南アルプス タカネマンテマ手帖」 4,000部

付属事業

- ① 南アルプスクイズラリー&蛾チャ蛾チャ
期 日：令和7年8月10日（日）・11日（月・祝） 午前10時～景品終了時
会 場：展示室Bおよび展示室B前ロビー
参加者：150人
内 容：展示を見ながらクイズを解き、全問正解者はガチャガチャが1回出来るコインがもらえるイベント。ガチャガチャの中には、オリジナル蛾マグネットが入っている。10日は景品を50個用意したが、午後早い時間に全部なくなってしまったため、11日は急遽100個用意して実施した。こどもにも大人にも好評で、このイベントに参加するために県外から来館された方もいた。
- ② 写真展「国立公園アクティブレングャー写真展」
期 間：令和7年8月13日（水）～24日（日）
会 場：美術博物館ロビー
共同開催：環境省関東地方環境事務所（担当：南アルプス自然保護官事務所）
内 容：国立公園のアクティブレングャーが撮影した写真展で、南アルプス国立公園のものを含む。
- ③ ミニ講座+展示解説会
日 時：令和7年8月22日（金） 18時30分～20時
会 場：講堂・展示室B
講 師：四方圭一郎
聴講者：25人
- ④ 講演会+ミニシンポジウム「高山の生き物の魅力と地球温暖化」
日 時：8月23日（土） 13時30分～16時
会 場：講堂
講 師：尾関雅章氏（長野県環境保全研究所主任研究員）・浜田崇（長野県環境保全研究所自然環境部長）
聴講者：51人（対面36人、オンライン15人）

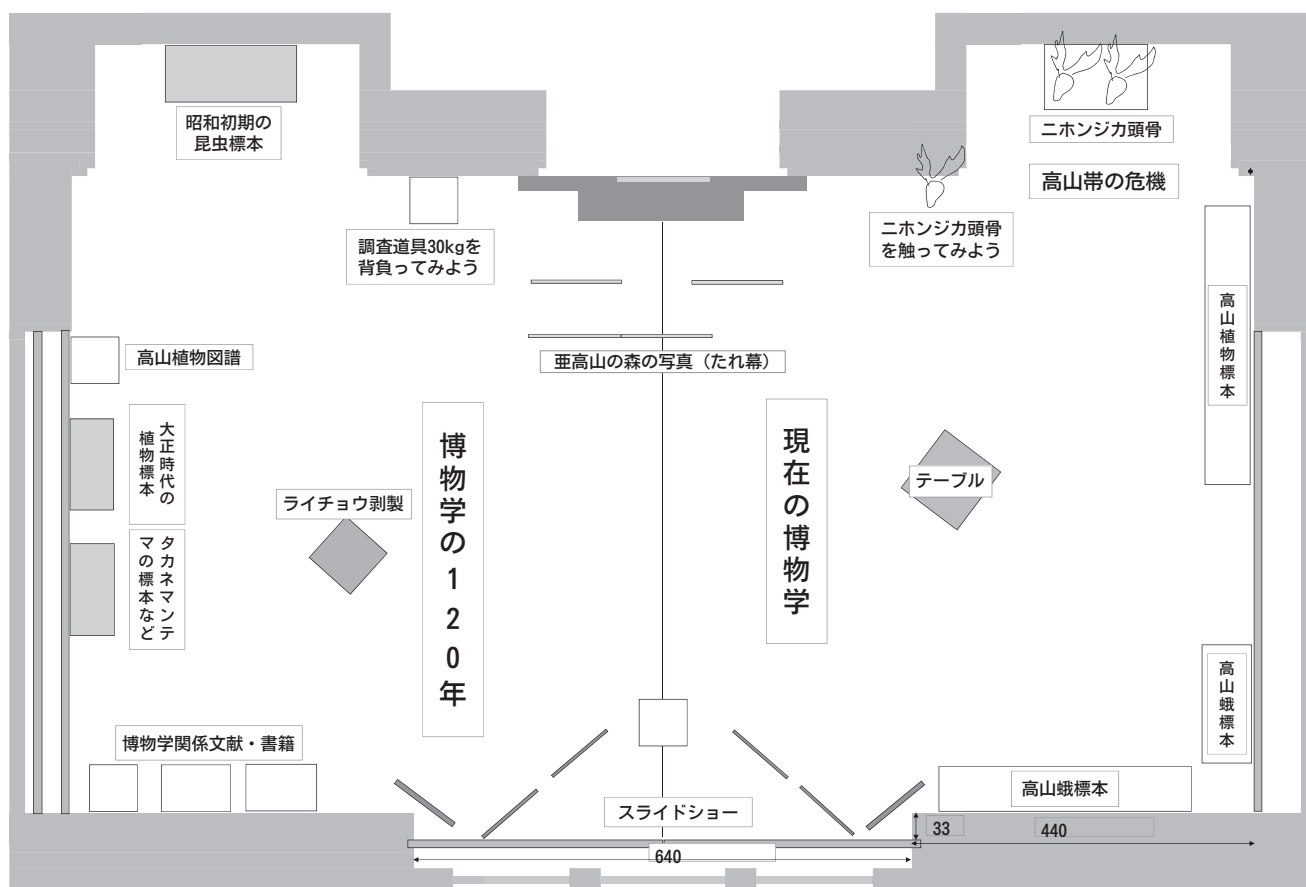
総 括

9年間の南アルプス調査で得られたオリジナルな資料やデータを用いた展示で、地味であったが当館でしかできないものになったと思う。博物学史の部分は今回その一部を紹介できただけであり、担当者の力不足が露呈してしまった。しかし、展示に向けて南アルプスの博物学に関連した書籍、図鑑など（古書）を購入することができ、手薄だった博物学資料の充実を図ることができた。

入口は亜高山の森を抜けて展示室に入るデザインとした。木々の写真、鳥の声、空調の3つがうまく調和して、深山に入っていく雰囲気を作り出すことができた。また、荷物を背負うコーナーや、ライチョウのぬいぐるみと写真を撮るコーナーは、2017年の企画展の焼き直しであるが、体験型の展示はこどもたちに好評であった。

クイズラリーと蛾チャ蛾チャのイベントはちょっとマニアックすぎるのではないかと思っていたが、実際は大人もこどももクイズラリーに参加して、蛾チャ蛾チャを楽しんでくれた。参加し

た児童のひとりが「蛾は好きじゃなかったのだけど、こうしてちゃんと見るときれいだなと思いました」と伝えに来てくれた。一見地味な自然を丁寧に紹介することで、自然に対する感性を刺激できることを実感した。



特別展「山とともに生きる－遠山郷のあゆみとくらし－」

令和7年9月13日(土)～11月9日(日)

主 催 飯田市美術博物館

後 援 上村まちづくり委員会、南信濃まちづくり委員会

会 場 展示室A・展示室B

観 覧 料 一般 500円(400円) 小中学生無料
()内は団体料金

観覧者数 4,245人

趣旨内容 中央構造線に形づくられた遠山谷を利用した交通、近世から近現代にかけておこなわれた山林開発の歴史、自然環境に対峙してきた暮らし、こうした自然環境やそのなかで培われてきた「遠山霜月祭」などの文化を通して、山とともに生きてきた遠山郷の“あゆみ”や“くらし”を紹介し、地域の今後のあゆみを考える機会とする。

展 示 法 以下の4章で構成した。

第1章 自然の古道－遠山谷と中央構造線－

(1) 遠山谷を行き交う中世 (2) 秋葉道

第2章 山林資源の開発

(1) 遠山氏と山林資源 (2) 樽木の供出 (3) 東本願寺の再建と『遠山奇談』
(4) 王子製紙による山林開発 (5) 遠山森林鉄道 (6) 観光資源としての山林

第3章 山里の暮らし

(1) 山里のなりわい (2) 山の幸 (3) 山の祭り (4) 山に抱かれた子どもたち

第4章 山里の記憶

(1) 遠山郷に魅了された人びと (2) 移り変わる山里の記録

印 刷 物 (1) ポスター 300枚(B2判、片面カラー)
(2) チラシ 8,000枚(A4判、両面カラー)
(3) チケット 7,000枚(3種、7cm×17cm、片面カラー)
(4) 展覧会図録 800部(A4判、96頁)

付属事業 (1) 記念講演会「遠山郷の歴史と文化－大自然が育む神々の谷」

期 日 令和7年9月21日(日) 13時30分～15時30分

講 師 櫻井弘人氏(元飯田市美術博物館学芸員、國學院大學兼任講師)

聴講者 52人

(2) 記念講演会「王子製紙による山林開発と遠山谷」

期 日 令和7年11月3日(月・祝)

講 師 太田仙一氏(北星学園大学経済学部専任講師、飯田市歴史研究所調査研究員)

聴講者 42人

(3) 映像上映会「遠くへ行きたい 伊丹十三の天が近い村～伊那谷の冬」

特別協力 読売テレビ、テレビマンユニオン

①期 日 10月11日(土)



会 場 飯田文化会館人形劇場
 聴講者 98人
 共 催 飯田文化会館
 協 力 萩元晴彦ホームタウンコンサート実行委員会
 ②期 日 11月9日(日)
 会 場 上村小学校体育館
 聴講者 130人
 共 催 上村まちづくり委員会、上村公民館

総 括

2025年は旧上村・南信濃村が飯田市と合併して20年の節目であり、10月の道の駅「遠山郷・かぐらの湯」リニューアルオープンと合わせての開催となり、遠山郷への関心を高める機会となった。展示内容は、山林との関わりを切り口に歴史や暮らし、文化を幅広く捉えたが、それぞれのテーマにおいておおむね充実した展示物を陳列することができた。初期真宗教団や18世紀の東本願寺再建に関わる資料は、本地域での公開は初めての機会であり、新しい視点を提示することができた。

付属事業として開催した記念講演会は、民俗学と歴史学の立場から重要なテーマや最新の研究成果を伝える機会を設け、その内容は図録にご寄稿いただいた。昭和48年に撮影された「遠くへ行きたい 伊丹十三の天が近い村～伊那谷の冬」の映像上映会は、制作会社や当時、撮影に協力した地元のまちづくり委員会、公民館をはじめ、テレビマニユニオンの初代社長である故萩元晴彦氏の顕彰事業を継続している萩元晴彦ホームタウンコンサート実行委員会や文化会館等の協力をいただきながら開催し、多くの方に見ていただけた。

遠山郷をテーマにした展覧会は、平成18年度に開催した「遠山霜月祭の世界」以来であるが、その後の研究者や研究団体等による調査研究の成果を活用しながら、地域の特徴を伝えることができた。一方、地域の移り変わりを改めて感じるとともに、地域内で管理されている資料について将来的な保管上の課題を把握する機会となった。(近藤)

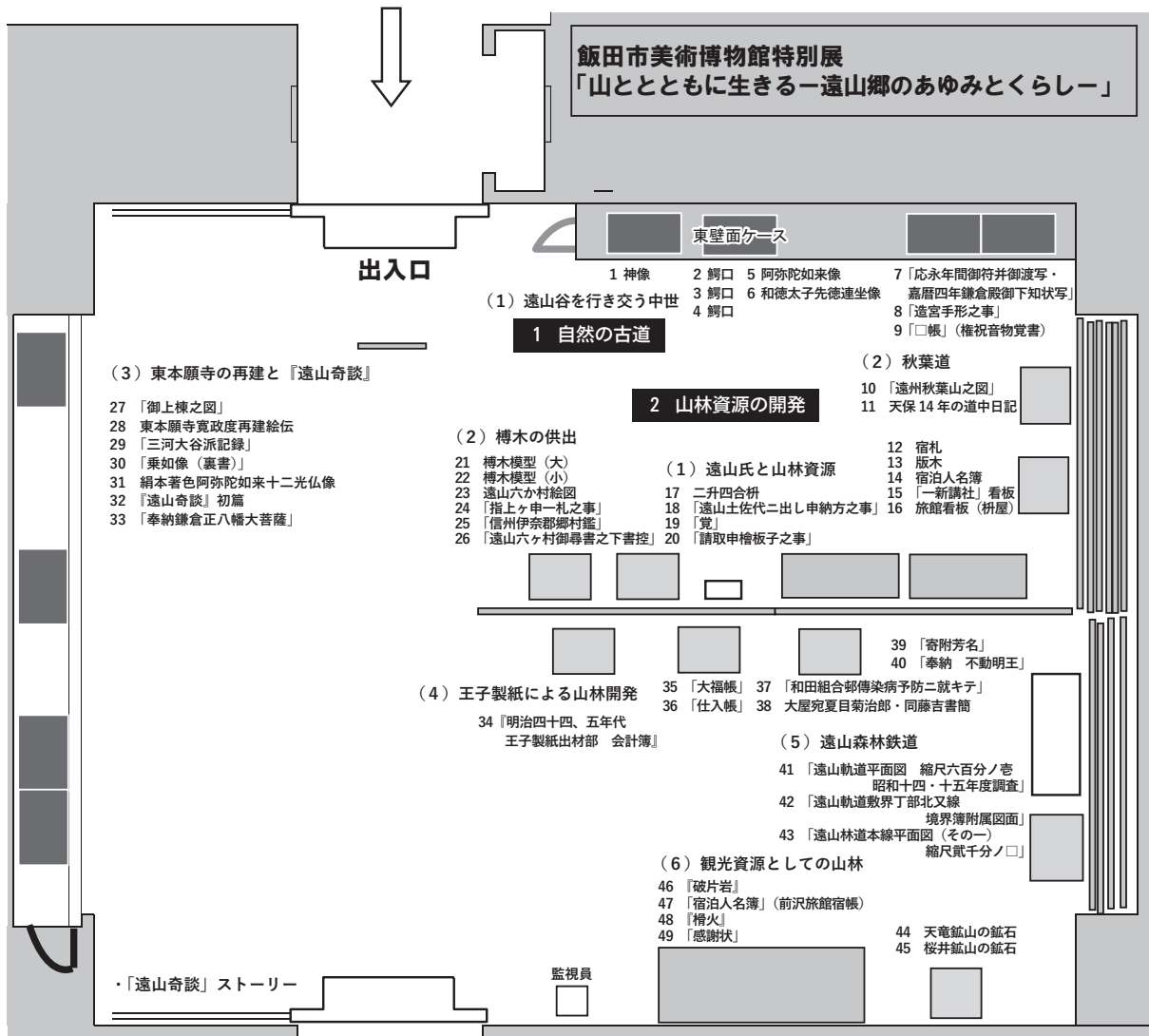
番号	名 称	制作時期	員数	形状	材質	所 蔵 者
1	神像	室町～江戸時代	1 軀	坐像	木製	飯田市南信濃八日市場・鎌倉正八幡社
2	鰐口	永和5年(1379)9月3日	1 面	鰐口	銅製	飯田市南信濃・須沢区(本館寄託)
3	鰐口	永享8年(1436)	1 面	鰐口	銅製	飯田市上村中郷・正八幡宮
4	鰐口	天文13年(1544)	1 面	鰐口	銅製	飯田市上村中郷・正八幡宮
5	阿弥陀如来像	14世紀後半～15世紀前半頃	1 幅	軸装	絹本著色	個人
6	和徳太子先徳連坐像	14世紀後半～15世紀前半頃	1 幅	軸装	絹本著色	個人
7	「応永年間御符并御渡写・嘉暦四年鎌倉殿御下知状写」	※原本は応永年間(1394-28)・嘉暦4年(1329)	1 冊	縦帳	紙本墨書	茅野市・神長官守矢史料館
8	「造宮手形之事」	天正6年(1578)	1 枚	一枚物	紙本墨書	諏訪市博物館
9	「□帳」(権祝音物覚書)	天正17～18年(1589-90)	1 冊	横帳	紙本墨書	個人(諏訪市博物館寄託)
10	「遠州秋葉山之図」	江戸時代・19世紀	1 枚	綴り	木版	本館(熊谷家文書)
11	天保14年の道中日記	天保14年(1843)	1 冊	横帳	紙本墨書	本館(熊谷家文書)
12	宿札	江戸時代	1 枚	札	紙・木版	個人
13	版木	江戸時代	1 点	版木	木製	個人
14	宿泊人名簿	明治25年(1892)	1 冊	縦帳	紙本墨書	本館
15	「一新講社」看板	明治時代	1 点	看板	木製	飯田市南信濃・旧木沢小学校
16	旅館看板(枡屋)	年代不明	1 点	看板	木製	本館(上村まつり伝承館)
17	「遠山土佐代ニ出し申納方之事」	元和6年(1620)11月23日	1 通	一枚物	紙本墨書	下伊那教育会蔵(大久保文書)
18	二升四合枡	江戸時代初期か	1 点	枡	木製	本館(上村まつり伝承館)
19	「覚」	享保8年(1723)	1 通	一枚物	紙本墨書	飯田市歴史研究所
20	「請取申檜板子之事」	元和4年(1618)9月22日	1 通	一枚物	紙本墨書	下伊那教育会

21	樽木模型（大）	江戸時代	1点	樽木	木製	天龍村教育委員会
22	樽木模型（小）	江戸時代	1点	樽木	木製	天龍村教育委員会
23	遠山六か村絵図	江戸時代	1枚	絵図	紙本著色	個人
24	「指上ヶ申一札之事」	承応2年（1653）	1通	一枚物	紙本墨書	飯田市歴史研究所
25	「信州伊奈郡郷村鑑」	元文6年（1741）	1冊	縦帳	紙本墨書	本館
26	「遠山六ヶ村御尋書之下書控」	享保20年（1730）	1冊	縦帳	紙本墨書	飯田市歴史研究所
27	「御上棟之図」	寛政9年（1797）頃	1枚	刷物	紙本木版	個人
28	東本願寺寛政度再建絵伝	江戸時代後期	2幅	軸装	絹本著色	愛知県・同朋大学仏教文化研究所
29	「三河大谷派記録」	江戸時代後期～昭和45年	1冊	列帖装	紙本墨書？	愛知県・暮戸教会（岡崎市美術博物館寄託）
30	「乗如像（裏書）」	江戸時代・19世紀	1幅	軸装	紙本墨書	愛知県・暮戸教会（岡崎市美術博物館寄託）
31	絹本著色阿弥陀如来十二光仏像	室町時代	1幅	軸装	絹本著色	愛知県・暮戸教会（岡崎市美術博物館寄託）
32	『遠山奇談』初篇	寛政10年（1798）	4冊	書籍	版本	本館
33	「奉納鎌倉正八幡大菩薩」	寛政5年（1793）12月	1枚	棟札	木製	飯田市南信濃八日市場・鎌倉正八幡社
34	『明治四十四、五年代 王子製紙出材部 会計簿』	明治44～45年（1911-12）	1冊	綴	紙・墨書、印刷	個人
35	「大福帳」	明治31年（1898）	1冊	横帳	紙本墨書	飯田市歴史研究所
36	「仕入帳」	明治32年（1899）	1冊	横帳	紙本墨書	飯田市歴史研究所
37	「和田組合郵便病予防ニ就キテ」	明治30年（1897）頃	1通	罫紙	紙本墨書	飯田市歴史研究所
38	大屋宛夏目菊治郎・同藤吉書簡	明治時代	1通	書簡	紙本墨書	飯田市歴史研究所
39	「寄附芳名」	大正11年（1922）	1枚	額	木製	飯田市南信濃梶谷・三條神社
40	「奉納 不動明王」	大正9年（1920）11月	1枚	旗	植物製	飯田市南信濃梶谷・三條神社
41	「遠山軌道平面図 縮尺六百分ノ壱 昭和十四・十五年度調査」	昭和14・15年（1939-40）	1枚	図面	紙・ペン	飯田市南信濃・旧木沢小学校
42	「遠山軌道敷界丁部北又線 境界簿 附属図面」	昭和時代・20世紀	1冊	綴	紙・ペン	旧木沢小学校
43	「遠山林道本線平面図（その一） 縮尺貳千分ノ□」	昭和25年（1950）頃	1枚	図面	紙・ペン	旧木沢小学校
44	天竜鉱山の鉱石	年代不明	1点	鉱物	石・金属製	本館
45	桜井鉱山の鉱石	年代不明	1点	鉱物	石・金属製	本館
46	『破片岩』	昭和8年（1933）6月発行	1冊	書籍	紙・印刷	本館
47	「宿泊人名簿」（前沢旅館宿帳）	昭和19～35年	1冊	縦帳	紙本墨書	飯田市南信濃・旧木沢小学校
48	『烽火』	昭和18年（1943）再版	1冊	書籍	紙・印刷	本館
49	「感謝状」	昭和15年（1940）9月11日	1枚	賞状	紙本墨書	個人
50	和田村絵図	18世紀半ば	1枚	絵図	紙本著色	飯田市歴史研究所
51	「信濃国伊奈郡和田村高反別差出シ 帳」	宝暦10年（1760）10月	1冊	縦帳	紙本墨書	飯田市歴史研究所
52	「御繪旨写」	伝承平5年（935）11月9日	1通	文書	紙本墨書	本館（上村まつり伝承館）
53	バイ（二又棒）	年代不明	1点	打棒	木製	本館（上村まつり伝承館）
54	横槌	年代不明	1点	槌	木製	本館（上村まつり伝承館）
55	横槌	年代不明	1点	槌	木製	本館（上村まつり伝承館）
56	トオシ	昭和時代	1点	篩	木製	個人
57	皮箕	令和時代	1点	箕	木製	個人
58	ヨキ	年代不明	1点	斧	木製・金属	本館（上村まつり伝承館）
59	ヨキ	年代不明	1点	斧	木製・金属	本館（上村まつり伝承館）
60	ハビロ	年代不明	1点	斧	木製・金属	本館（上村まつり伝承館）
61	改良鋸	年代不明	1点	鋸	木製・金属	本館（上村まつり伝承館）
62	鋸	年代不明	1点	鋸	木製・金属	本館（上村まつり伝承館）
63	前引鋸	年代不明	1点	鋸	木製・金属	本館（上村まつり伝承館）

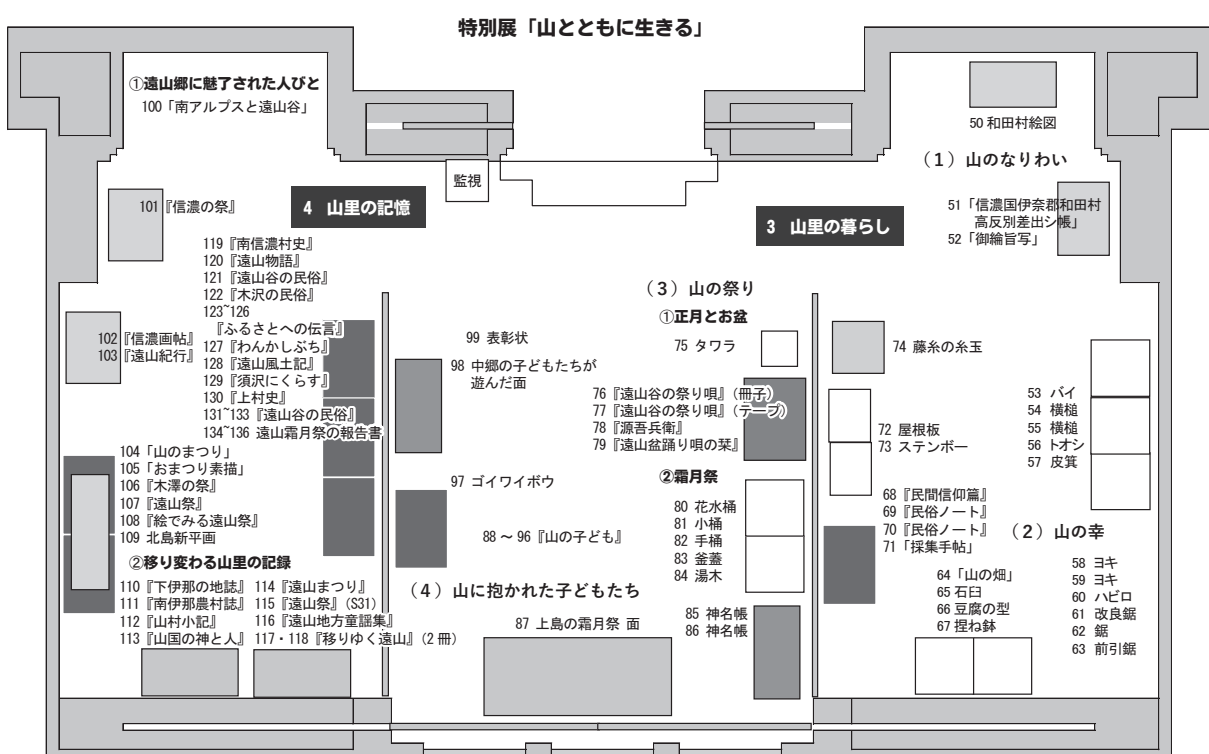
64	「山の畑」	平成	1面	キャンバス	油彩	個人
65	石臼	年代不明	1点	臼	石製	本館（上村まつり伝承館）
66	豆腐の型	年代不明	1点	調理具	木製	本館（上村まつり伝承館）
67	捏ね鉢	年代不明	1点	鉢	木製	本館（上村まつり伝承館）
68	『民間信仰篇』	昭和32年（1957）9月	1冊	ノート	紙・鉛筆、ペン	個人
69	『民俗ノート』	昭和30年（1955）頃	2冊	ノート	紙・鉛筆、ペン	個人
70	『民俗ノート』	昭和30年（1955）頃	3冊	ノート	紙・鉛筆、ペン	個人
71	「採集手帖」	昭和38年（1963）頃	4冊	ノート	紙・鉛筆、ペン	個人
72	屋根板	年代不明	1点	建築材	木製	本館（上村まつり伝承館）
73	ステンボー	年代不明	1点	棒	木製	個人
74	藤糸の糸玉	年代不明	1点	糸玉	藤製	本館（上村まつり伝承館）
75	タワラ	年代不明	1点	装飾	木製	本館（上村まつり伝承館）
76	『遠山谷の祭り唄』	昭和52年（1977）	1冊	冊子	紙・印刷	飯田市美術博物館
77	『遠山谷の祭り歌』	昭和52年（1977）	1枚	テープ	プラスチック	個人
78	『源吾兵衛』	昭和59年（1984）3月発行	1冊	冊子	紙・印刷	個人
79	『遠山盆踊り唄の葉』	昭和51年（1976）	1冊	冊子	紙・印刷	個人
80	花水桶	天保9年（1838）	1点	桶	木製	飯田市南信濃八重河内・八幡社
81	小桶	明治32年（1899）	1点	桶	木製	飯田市南信濃八重河内・八幡社
82	手桶	大正7年（1918）	1点	桶	木製	飯田市南信濃八重河内・八幡社
83	釜蓋（上村程野）	—	1枚	蓋	木製	本館
84	遠山霜月祭（程野） 湯木	—	1点	湯木	木・紙製	本館
85	神名帳	延宝4年（1676）霜月	1巻	卷子	紙本墨書	本館（上村まつり伝承館）
86	神名帳	平成時代	6冊	横帳	紙本墨書	個人
87	上島の霜月祭 面	明治～大正時代	35面	仮面	木製	飯田市南信濃・上島自治会
88	『山の子ども』創刊号	昭和41年（1966）3月	1冊	書籍	紙・印刷	飯田市南信濃・旧木沢小学校
89	『山の子ども』第2号	昭和42年（1967）3月	1冊	書籍	紙・印刷	飯田市南信濃・旧木沢小学校
90	『山の子ども』第4号	昭和44年（1969）2月	1冊	書籍	紙・印刷	飯田市南信濃・旧木沢小学校
91	『山の子ども』第5号	昭和45年（1970）2月	1冊	書籍	紙・印刷	飯田市南信濃・旧木沢小学校
92	『山の子ども』第6号	昭和46年（1971）2月	1冊	書籍	紙・印刷	飯田市南信濃・旧木沢小学校
93	『山の子ども』第7号	昭和47年（1972）2月	1冊	書籍	紙・印刷	飯田市南信濃・旧木沢小学校
94	『山の子ども』第8号	昭和48年（1973）3月	1冊	書籍	紙・印刷	飯田市南信濃・旧木沢小学校
95	『山の子ども』第9号	昭和49年（1974）3月	1冊	書籍	紙・印刷	飯田市南信濃・旧木沢小学校
96	『山の子ども』第10号	昭和50年（1975）3月	1冊	書籍	紙・印刷	飯田市南信濃・旧木沢小学校
97	ゴイワイボウ	—	1点	幣串	木製	本館
98	中郷の子どもたちが遊んだ面	—	1式	仮面	木製	飯田市上村・中郷自治会
99	表彰状	令和元年（2019）11月	1枚	表彰状	紙・印刷	飯田市立遠山中学校
100	「南アルプスと遠山谷」	昭和47年（1962）	1面	キャンバス	油彩	飯田市・須山計一記念室
101	『信濃の祭』	昭和22年（1947）	1冊	書籍	紙・印刷	個人
102	『信濃画帖』	昭和32年（1957）11月	1冊	書籍	紙・印刷	本館
103	『遠山紀行』	昭和41年（1966）12月	1冊	書籍	紙・印刷	個人
104	「山のまつり」	昭和22年（1947）	1冊	冊子	紙・印刷	個人
105	「おまつり素描」	昭和23年（1948）	1冊	冊子	紙・印刷	個人
106	「木澤の祭」	昭和26年（1951）2月	1冊	冊子	紙・印刷	個人
107	「遠山祭」	昭和27年（1952）12月	1冊	冊子	紙・印刷	個人
108	『絵でみる遠山祭』	昭和30年（1955）4月	1冊	書籍	紙・印刷	本館
109	北島新平画（遠山霜月祭）	平成時代	1面	額装	水彩	本館（遠山郷土館）

110	『下伊那の地誌 遠山地方』	昭和11年（1936） 3 月	1 冊	書籍	紙・印刷	本館
111	『南伊那農村誌』	昭和13年（1938） 8 月	1 冊	書籍	紙・印刷	本館
112	『山村小記』	昭和17年（1942）10月	1 冊	書籍	紙・印刷	本館
113	『山国の神と人』	昭和36年（1961）11月	1 冊	書籍	紙・印刷	本館
114	『遠山まつり（写真信濃風土記三）』	昭和31年（1956）	1 冊	書籍	印刷	本館
115	『遠山祭 現在行われている霜月祭の記録』	昭和31年（1956） 3 月	1 冊	冊子	紙・印刷	本館
116	『遠山地方童唄集 第1集』	昭和32年（1957） 9 月	1 冊	冊子	紙・印刷	松山義雄旧蔵資料
117	『移りゆく遠山』創刊号	昭和38年（1963）	1 冊	冊子	印刷	個人
118	『移りゆく遠山』第2号	昭和39年（1964） 8 月	1 冊	冊子	印刷	個人
119	『南信濃村史 遠山』	昭和51年（1976）	1 冊	書籍	印刷	本館（柳田國男館）
120	『遠山物語』	昭和54年（1979） 8 月	1 冊	書籍	印刷	個人
121	『南信州・上村 遠山谷の民俗』	昭和52年（1977）	1 冊	書籍	印刷	本館
122	『木沢の民俗』	昭和61年（1986）	1 冊	書籍	印刷	本館
123	『ふるさとへの伝言 高齢者の語り 第一輯』	昭和58年（1983）	1 冊	書籍	印刷	本館（柳田國男館）
124	『ふるさとへの伝言 高齢者の語り 第二輯』	昭和59年（1984）	1 冊	書籍	印刷	本館（柳田國男館）
125	『ふるさとへの伝言 高齢者の語り 第三輯』	昭和61年（1986）	1 冊	書籍	印刷	本館
126	『ふるさとへの伝言 高齢者の語り 第四輯』	昭和63年（1988）	1 冊	書籍	印刷	本館
127	『椀かしぶち』	平成13年（2001） 6 月	1 冊	書籍	印刷	本館
128	『遠山風土記』	平成14年（2002）	1 冊	書籍	印刷	本館
129	『須沢にくらす。』	平成16年（2004）	1 冊	書籍	印刷	個人
130	『上村史』	平成20～21年（2008-09）	1 冊	書籍	印刷	本館
131	『遠山谷南部の民俗』	平成20年（2008）	1 冊	書籍	印刷	本館
132	『遠山谷北部の民俗』	平成21年（2009）	1 冊	書籍	印刷	本館
133	『遠山谷中部の民俗』	平成22年（2010）	1 冊	書籍	印刷	本館
134	『遠山霜月祭〈上村〉』	平成19年（2007）	1 冊	書籍	印刷	本館
135	『遠山霜月祭〈南信濃①一和田・八重河内・南和田編一〉』	平成22年（2010）	1 冊	書籍	印刷	本館
136	『遠山霜月祭〈南信濃②一木沢地区編〉』	平成23年（2011）	1 冊	書籍	印刷	本館

特別展レイアウト（展示室A）



特別展レイアウト（展示室B）





展示室 A



展示室 B



展示解説



映像上映会（飯田市立上村小学校体育館）

企画展 写真家60周年記念展「水谷章人の世界」

令和8年1月10日(土)～2月23日(月・祝)

主 催 飯田市美術博物館

会 場 展示室A・展示室B

観 覧 料 一 般 310円(210円) 高校生以下 無料
()内は団体料金

観覧者数 1,530人

趣 旨 令和7年(2025)は飯田市出身の写真家・水谷章人氏の写真家として活動して60年の年である。水谷氏はこれまで、2002年に飯田市開催の「第3回飯田市藤本四八写真文化賞」受賞のほか、当館で開催の「藤本四八小中高校生写真賞」の審査員を務めている。本展覧会は、当地の写真分野の普及にも貢献している水谷氏の写真家60周年を記念して、同氏のこれまでの活動を振り返る企画展である。

展覧会は「アルプス」、「スキー」、「スポーツ」、「信濃路・伊那路」にジャンルを分けて紹介した。

スポーツ、信濃路・伊那路にはそれぞれ新撮の写真も加え、また実際に使用していたカメラや写真集等の展示もおこない、同氏の写真家としての軌跡をたどる展覧会とした。

なお、水谷氏の展覧会は2007年に市制70周年を記念した特別展を本館で行っており、今回が2回目の展覧会となる。

展 示 法

「アルプス」

水谷氏は山岳写真からデビューしており、展示の始まりである展示室Aの仮ケース内に5点のヨーロッパアルプスの写真を陳列した。作品は全点水谷氏所蔵である。

「スキー」

ここでは「第3回飯田市藤本四八写真文化賞」を受賞した作品(当館蔵)を展示した。小作品であったため、水谷氏所蔵分も加え、30点を組み作品として展示した。そのほか、水谷氏所蔵のスキー写真10点を展示した。

「スポーツ」

水谷氏はスポーツ写真の第一人者として、国内外問わず活動していた。ここではオリンピックや世界陸上等の写真56点を展示した。うち3点は新撮の作品であった。作品は全点水谷氏所蔵である。

「信濃路・伊那路」

展示室Bを3室に分け展示した。信濃路を20点、伊那路を37点陳列し、伊那路は組み作品とした。うち信濃路は2点、伊那路は15点が新撮の作品であった。また1室を投影コーナーにし、35点の信濃路・伊那路作品を投影した。

そのほか

展示室Aから展示室Bへの導線にした。展示室Bの前にはケースを設置し、カメラやレンズ、プレスパスやプレスジャケット、書籍等を展示した。書籍等は展示室Bの投影コーナーにも展示した。

印 刷 物

- ① ポスター 500枚(B2判、片面カラー)
- ② リーフレット 6,000枚(A4判、両面カラー)
- ③ 小冊子 3,000枚(A4判8頁、両面カラー)



付属事業

① ギャラリートーク 1

期 日 令和8年1月10日(土) 14時～15時

講 師 水谷章人氏(写真家)

聴講者 59人

② ギャラリートーク 2

期 日 令和8年2月7日(土) 15時30分～16時30分

講 師 水谷章人氏(写真家)

聴講者 45人

③ 美術鑑賞の会

期 日 令和8年1月30日(金) 18時30分～20時

講 師 水谷章人氏(写真家)

聴講者 16人

総 括

地域の写真館や写真団体等にも広報物の送付や、当館での展示前、8～9月で行っていた都内での個展に間に合うよう、ポスターチラシ等を用意することができた。しかし写真分野の展覧会は、観覧者の傾向が絵画等とは異なるため集客の難しさがあり、目標来館者数に届かなかった。冬期ということもあり致し方ない部分もあるが、もう少し広報活動はできたのではないかなと思う。担当者は多忙であるので、他の職員の広報への協力ができるように、今後とも心がけたい。なお、ハガキの案内状があった方が良かったと作家から指摘を受けた。

展示について、集荷点数が多かったこともあり、写真の相性を見て選びながら展示できた。また展示作業中に作家を招聘し監修していただくことができた。作家からは展示作品が小品で展示数が少ないと指摘を受けたが、作品が鑑賞しやすい配置であり、適切な展示数であったと考える。前回のスポーツのみの展示とは違い、いくつかのジャンルを取り入れたことで60周年を振り返る展示にふさわしい内容になった。また資料類もお借りすることができ、作家の活動紹介に深みを出すことができた。

作家からの希望もありギャラリートークのみ行ったが、予想を上回る参加があり、展示室内が混雑してしまった。予約制のトークショーも検討するべきだったが、参加者には満足してもらえる内容であったかと思う。美術鑑賞の会は予約制ということもあり、参加者は落ち着いて作品の鑑賞ができていた。作家との交流もしやすく、今後も現役作家に対しては夜間の鑑賞会を行う価値があると感じた。

普段の美術の展覧会の客層とも違っていただように感じた。「写真」というジャンルの影響もあったかと思う。特にギャラリートークでは、県内より県外からの参加者が多く、現役作家の集客力を感じた展覧会であった。
(小池)



No.	作品名 (所蔵名)	撮影年	法量	材質等	員数	所蔵先
アルプス						
1	THE ALPS 40		72.8×103.0	アルポリックパネル	1面	個人
2	THE ALPS 32		72.8×103.0	アルポリックパネル	1面	個人
3	THE ALPS 39		72.8×103.0	アルポリックパネル	1面	個人
4	THE ALPS 10		72.8×103.0	アルポリックパネル	1面	個人
5	THE ALPS 27		72.8×103.0	アルポリックパネル	1面	個人
スキー						
1	中川照勝 北アルプス・立山	1975年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
2	三浦雄一郎 宮城蔵王	1969年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	個人
3	S.ポドビルスキー ドイツ	1984年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
4	スタートにて フランス	1979年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
5	ダウンヒラー スイス	1990年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
6	伊東秀人 ニュージーランド	1999年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
7	ダウンヒル勝利の一瞬 フランス	1994年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
8	P.オルトリーブ イタリア	1995年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
9	薄衣敏明 モンブラン山群 (フランス)	1977年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
10	白銀の閃光		49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	個人
11	渡辺一樹 ニュージーランド	1995年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
12	圓浄岳 ニュージーランド	1994年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
13	中川照勝 北アルプス・立山	1974年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
14	圓浄岳 ニュージーランド	1994年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
15	伊東秀人 ニュージーランド	1999年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
16	竹内正 北アルプス・立山	1973年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
17	平川仁彦 中央アルプス・極楽平	1977年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
18	ニュージーランド	2000年代	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	個人
19	吉田幸一 北アルプス・立山	1984年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	個人
20	白銀の閃光		49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	個人
21	中川照勝 北アルプス・立山	1984年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
22	筈場敏夫 中央アルプス・極楽平	1971年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
23	圓浄岳 ニュージーランド	1994年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
24	P.ハンクハウザー 鹿島槍国際	1980年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
25	中川照勝 北アルプス・立山	1976年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	個人
26	白銀の閃光		49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	個人
27	畑山隆 北アルプス・立山	1975年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	個人
28	圓浄岳 ニュージーランド	1996年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	本館
29	村里敏彰 鹿島槍国際	1981年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	個人
30	黒岩達介 中央アルプス・極楽平	1972年	49.4× 57.8	印刷・半光沢紙	1面	個人
31	スキー		300.0× 90.0	印刷・布	1面	個人
32	白銀の閃光	1969年	90.0× 60.0	アルポリックパネル	1面	個人
33	ビルミン・ツルブリッケン		90.5×135.0	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
34	ビルミン・ツルブリッケン		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
35	コニカミノルタ陸上7/9 64		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
36	コニカミノルタクリスタルプリント ⑤		60.0× 90.0	クリスタルプリント	1面	個人
37	記憶の一枚 136		60.0× 90.0	アルポリックパネル	1面	個人
38	飛翔	2010年	90.0× 60.0	アルポリックパネル	1面	個人
39	シュプール	1984年	60.0× 90.0	アルポリックパネル	1面	個人
40	鈴木松男 北アルプス・立山	1975年	60.0× 90.0	アルポリックパネル	1面	個人
41	大島清史 モンブラン山群 (フランス)	1975年	60.0× 90.0	アルポリックパネル	1面	個人
スポーツ						
1	コニカミノルタ陸上7/9 70		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
2	コニカミノルタ陸上7/9 69		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
3	コニカミノルタ陸上7/9 65		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
4	コニカミノルタ陸上7/9 67		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
5	コニカミノルタ陸上7/9 66		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
6	水泳		42.4× 63.8	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
7	コニカミノルタ陸上4/9 36		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
8	コニカミノルタ陸上4/9 37		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
9	コニカミノルタ陸上4/9 39		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
10	コニカミノルタ陸上4/9 40		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
11	鈴鹿8時間耐久レース ⑩		68.5×112.0	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
12	コニカミノルタ陸上9/9 80		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
13	コニカミノルタ陸上2/9 20		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
14	コニカミノルタ陸上1/9 8		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
15	コニカミノルタ陸上2/9		1738.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人

16	水泳		300.0× 90.0	印刷・布	1面	個人
17	コニカミノルタクリスタルプリント ②		60.0× 90.0	クリスタルプリント	1面	個人
18	国立競技場	1983年	38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
19	コニカミノルタ陸上8/9 77		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
20	横浜国際総合競技場	2001年	38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
21	光影	2013年	60.0× 90.0	アルボリックパネル	1面	個人
22	コニカミノルタ陸上8/9 76		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
23	ロサンゼルスオリンピックスタジアム	1984年	38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
24	コニカミノルタ陸上8/9 78		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
25	コニカミノルタクリスタルプリント ③		60.0× 90.0	クリスタルプリント	1面	個人
26	国立競技場	1992年	38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
27	シドニーオリンピックスタジアム	2000年	38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
28	神戸総合運動公園陸上競技場	1985年	38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
29	瞬	2013年	60.0× 90.0	アルボリックパネル	1面	個人
30	コニカミノルタ陸上5/9 50		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
31	コニカミノルタ陸上8/9 75		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
32	コニカミノルタ陸上5/9 47		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
33	コニカミノルタクリスタルプリント ①		60.0× 90.0	クリスタルプリント	1面	個人
34	新体操	2018年	90.0× 280.0	印刷・布	1面	個人
35	剣道		90.0× 280.0	印刷・布	1面	個人
36	バスケットボール		90.0× 280.0	印刷・布	1面	個人
37	テニス		90.0× 280.0	印刷・布	1面	個人
38	北の湖・高見山	1981年	38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
39	コニカミノルタ陸上4/9 32		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
40	コニカミノルタ陸上2/9 19		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
41	タイガーウッズ1			ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
42	コニカミノルタ陸上9/9 82		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
43	コニカミノルタ陸上1/9 2		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
44	コニカミノルタクリスタルプリント ⑦		60.0× 90.0	クリスタルプリント	1面	個人
45	コニカミノルタクリスタルプリント ⑦		60.0× 90.0	クリスタルプリント	1面	個人
46	S.グルート				1面	個人
47	ウィンドサーフィン				1面	個人
48	飛び込み				1面	個人
49	コニカミノルタクリスタルプリント ⑥		60.0× 90.0	クリスタルプリント	1面	個人
50	コニカミノルタ陸上3/9 24		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人
51	コニカミノルタ陸上3/9 25		38.8× 58.3	ブラチナプリント・木製パネル	1面	個人

信濃路

1	蒼き夜明けの静寂駒つなぎの桜（阿智村）	2016年	56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
2	春艶 残雪に映える桜		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
3	春のめざめ 新緑のブナ林		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
4	ファンタスティックな自然湖		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
5	高原野菜の誘い 野辺山	2014年	56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
6	花競う霧の高原	2010年	56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
7	朝焼けの穂高岩壁（安曇野市）		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
8	星空		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
9	雲漂う夏の草原 霧ヶ峰（諏訪市）	2014年	56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
10	爽涼の戸隠 鏡池の神秘（長野市）		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
11	紅葉の秋山郷布岩（栄村）		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
12	冬空の下 大座法師池（長野市）		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
13	朝陽に染まる五竜岳（大町市）	2010年	56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
14	黄金色に照らされたモルゲンロート		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
15	厳冬の八島湿原（下諏訪町）		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
16	水しぶき 夢の横谷峡（茅野市）		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
17	雪化粧 天竜峡の冬景色（飯田市）		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
18	飛来		56.5× 80.0	アルボリックパネル	1面	個人
19	晩秋の里（根羽村）	2024年	60.0× 90.0	アルボリックパネル	1面	個人
20	雨降る情景（大鹿村）	2023年	60.0× 90.0	アルボリックパネル	1面	個人

伊那路

1	名残り雪（伊那市長谷村戸台）		55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
2	桜ファンタジー（下伊那郡高森町）		55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
3	春の息吹（下伊那郡平谷村）		55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
4	美を競う（下伊那郡高森町）		55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
5	桜散る（飯田市）		55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
6	残雪に映える桜（上伊那郡中川村）		55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
7	伊那路 5		55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
8	夕映えの天竜川（上伊那郡中川村）		55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人

9	夏の草原（上伊那郡高遠町）	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
10	夏の夢物語（下伊那郡高森町）	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
11	田園の誘い（下伊那郡清内路村）	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
12	伊那路 24	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
13	落日の輝き（上伊那郡中川村）	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
14	光 芒（飯田市南信濃）	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
15	ファンタスティック（上伊那郡箕輪町）	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
16	樹木の目覚め（下伊那郡根羽村）	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
17	錦秋光彩（伊那市長谷村）	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
18	夕照の稜線（伊那市長谷村）	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
19	秋彩（駒ヶ根市）	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
20	雪煙舞う（伊那市長谷村）	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
21	厳冬の谷（下伊那郡高森町）	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
22	伊那路 34	55.0× 65.0	木製パネル	1面	個人
23	伊那路 1	35.5× 53.0	木製パネル	1面	個人
24	伊那路 2	53.0× 35.5	木製パネル	1面	個人
25	伊那路 3	35.5× 53.0	木製パネル	1面	個人
26	辰野町	2015年	53.0× 35.5	木製パネル	1面 個人
27	伊那路 4	35.5× 53.0	木製パネル	1面	個人
28	伊那路 5	53.0× 35.5	木製パネル	1面	個人
29	伊那路 6	53.0× 35.5	木製パネル	1面	個人
30	下栗の里（飯田市）	2014年	35.5× 53.0	木製パネル	1面 個人
31	中央アルプス（中川村）	2022年	53.0× 35.5	木製パネル	1面 個人
32	鳥倉林道（大鹿村）	2005年	53.0× 35.5	木製パネル	1面 個人
33	光前寺（駒ヶ根市）	2023年	53.0× 35.5	木製パネル	1面 個人
34	伊那路 7	53.0× 35.5	木製パネル	1面	個人
35	伊那路 8	2025年	60.0× 60.0	木製パネル	1面 個人
36	伊那路 9	60.0× 60.0	木製パネル	1面	個人
37	伊那路 10	60.0× 60.0	木製パネル	1面	個人

資料紹介

1	美しき水上の妖精たち	2011年	印刷	1冊	個人
2	THE GOAL 水谷章人サッカー写真集	1994年	印刷	1冊	個人
3	白銀の閃光 水谷章人スキー写真集	1980年	印刷	1冊	個人
4	極限の形象 水谷章人スポーツ写真集	1976年	印刷	1冊	個人
5	デジタル時代のスポーツ写真テクニック	2013年	印刷	1冊	個人
6	THE SKI 水谷章人スキー写真集	1992年	印刷	1冊	個人
7	水谷章人のスポーツ写真入門	1996年	印刷	1冊	個人
8	信濃路	2016年	印刷	1冊	本館
9	水谷章人写真集 郷愁の伊那路	2009年	印刷	1冊	本館
10	カメラマンテクニックシリーズ スポーツ写真のプロテクニック		ビデオテープ	1点	個人
11	LIMIT LANDSCAPE SKI	2023年	印刷	1冊	個人
12	水谷章人スポーツ報道写真2010-2020	2021年	印刷	1冊	個人
13	時代に応えた写真家たち 水谷章人	2013年	印刷	1冊	個人
14	水谷章人 作品展 スターの肖像	2004年	印刷	1冊	個人
15	極限の形象	2025年	印刷	2冊	個人
16	鈴鹿8時間耐久ロードレースプレスパス	2019年	紙・アクリルホルダー	1点	個人
17	イオンカップ世界新体操クラブ選手権プレスパス	2018年	紙・アクリルホルダー	1点	個人
18	世界フィギュアスケート国別対抗戦プレスパス	2017年	紙・アクリルホルダー	1点	個人
19	世界トライアスロン横浜プレスパス	2019年	紙・アクリルホルダー	1点	個人
20	長野オリンピックプレスパス	1998年	紙・アクリルホルダー	1点	個人
21	ロサンゼルスオリンピックプレスパス	1984年			個人
22	アルペンスキーワールドカッププレスパス	1991-92年 1993-94年 2000年 1998-2000年 /1999-2000年	紙・アクリルホルダー	4点	個人
23	プレスジャケット			1点	個人
24	帽子			1点	個人
25	カメラ・レンズ			各2点	個人

菱田春草記念室常設展示

全体構成

平成29年度から開始した菱田春草の常設展示について、令和7年度は以下の7本を開催した。なお令和7年度は春草作品の貸出の予定がなかったため、会期は基本5週間とした。

○ 第51期 《霊昭女》－人物画の風格－

令和7年3月15日(土)～4月13日(日) 菱田春草記念室 1,937人(令和7年度 631人)

① 第52期 出発－画家を志して－

令和7年4月19日(土)～5月25日(日) 菱田春草記念室 1,554人

② 第53期 初夏－うるおいの季節－

令和7年6月7日(土)～7月13日(日) 菱田春草記念室 1,794人

③ 第54期 外遊－海を望んで－

令和7年7月19日(土)～8月24日(日) 菱田春草記念室 3,622人

④ 第55期 紅葉－静寂の時－

令和7年8月30日(土)～10月5日(日) 菱田春草記念室 2,521人

⑤ 第56期 挑戦－文展への道－

令和7年10月11日(土)～11月16日(日) 菱田春草記念室 2,486人

⑥ 第57期 暮秋－うつろう色彩－

令和7年11月23日(日)～12月28日(日) 菱田春草記念室 3,564人

⑦ 第58期 萌春－さくら咲く－

令和8年3月7日(土)～4月12日(日) 菱田春草記念室 1,592人(令和7年度 1,137人)

主催

飯田市美術博物館

観覧料

一般 310円(210円) 小中学生 無料 ()内は団体料金

内容 展示法

令和7年度の菱田春草常設展示は、季節ごとに画題をわけ、それに応じた作品をまとめて紹介した。各展示会のタイトルには季語をつけ、季節が分かるよう構成した。第53期は初夏から夏の画題、第55期は秋の画題、第57期は暮秋から冬の画題、第58期は桜を中心とした春の画題を紹介した。なお第52期は学生時代、第54期は外遊時代、第56期は文展発表時代の特集展示とした。各展示会は春草の作品を中心に、同時代作家も加えて展示した。展示の最終コーナーには、「春草の生涯」とし、展示作品の背景を伝える書簡や資料類を紹介した。

印刷物

- ① 2025美術コレクション展示リーフレット(A4判三つ折り 両面カラー) 4,000枚
- ② 菱田春草カレンダー2026(A3判 片面カラー 7ページ) 1,000部

総括

令和7年度の菱田春草常設展示は全部で7本の開催となった。季節の画題にわけた展示はこれまで行ってこなかった展示方法である。特集展示を含めることで、春夏秋冬の季節の展示をおこなうことができた。また、第55期の展示からは、館蔵品のみ写真撮影を可能とした。現在他館の日本画の展示でも撮影が可能な場合も増え、当館でも著作権の切れている館蔵品に限り、今後とも撮影可能としていきたい。なお個人の寄託作品には撮影不可の表示をしている。

令和7年度では5週間の展示となり、展示計画もゆとりをもって取り組めた。ただし令和7年度も例年通り冬の時期に複製画展示を行った。そのため春草の作品が展示されない期間があり、このことに対する不満の意見が来館者から寄せられている。未完成作品を含む資料類も充実しており、今後は全期間での春草作品の展示が行えるよう工夫したい。(小池)

菱田春草記念室常設展示 第52期 出発 ―画家を志して― 出品作品リスト 令和7年4月19日(土)～5月25日(日)

No.	作者名	作品名	制作年	寸法	材質	員数	所蔵先
春草の芸術							
1	菱田春草	唐人物	明治23年(1890) 1月	48.5× 37.2	紙本墨画	1 幅	個人(本館寄託)
2	菱田春草	羅漢	明治23年(1890) 11月	117.1× 57.1	紙本墨画	1 幅	春草会(本館寄託)
3	菱田春草	雉子	明治24年(1891)	41.1× 62.8	紙本著色	1 幅	本館
4	菱田春草	五味子に小禽	明治24年(1891) 頃	58.7× 41.2	紙本著色	1 幅	本館
5	菱田春草	松に岩	明治26年(1893)	93.0× 46.5	紙本墨画	1 幅	下伊那教育会(本館寄託)
6	菱田春草	高士の図	明治26年(1893)	45.7× 57.0	紙本墨画	1 幅	春草会(本館寄託)
7	菱田春草	牧童	明治26年(1893)	61.3× 116.4	絹本墨画淡彩	1 幅	本館
8	菱田春草	虎の図	明治20年代頃	94.8× 274.5	紙本墨画	6 曲 1 隻	個人(本館寄託)
9	菱田春草	鎌倉時代闘牛の図	明治27年(1894) 4月	42.3× 57.6	絹本著色	1 幅	本館(飯田市有形文化財)
10	菱田春草	一遍上人絵詞伝(模写)	明治27年(1894) 頃		紙本著色	4 葉	本館
11	菱田春草	武具の図	明治27年(1894)	79.0× 115.8	絹本著色	1 面	春草会蔵 (本館寄託、飯田市有形文化財)
12	菱田春草	武具(写生)	明治27年(1894) 頃		紙・鉛筆	3 葉	本館
同時代の作家たち							
1	橋本雅邦	破墨山水図	制作年不明	118.4× 41.4	紙本墨画	1 幅	個人(本館寄託)
2	下村観山	稚児文殊	明治29年(1896)	45.2× 56.7	絹本著色	1 幅	本館

資料紹介						
1	飯田学校教育展覧会賞状	明治20年(1887)	21.8× 28.7	紙・印刷	1 葉	本館
2	菱田為吉宛菱田春草書簡	明治27年 6 月 8 日付	15.9×160.7	紙本墨書	1 巻(合装)	下伊那教育会 (本館寄託、飯田市有形文化財)
3	菱田為吉宛菱田春草書簡	明治27年 6 月16日付	15.9×160.7	紙本墨書	1 巻(合装)	下伊那教育会 (本館寄託、飯田市有形文化財)
4	東京美術学校卒業証書	明治28年(1895) 7 月	39.1× 52.7	紙・印刷	1 葉	本館

菱田春草記念室常設展示 第53期 初夏 ―うるおいの季節― 出品作品リスト 令和7年6月7日(土)～7月13日(日)

No.	作者名	作品名	制作年	寸法	材質	員数	所蔵先
1	菱田春草	菖蒲（写生）	明治30年代後半頃	39.9× 25.7	紙・鉛筆	1 葉	本館
2	菱田春草	花あやめ	明治39年（1906）	106.5× 39.7	絹本著色	1 幅	本館
3	菱田春草	竹	明治34年（1901）	12.1× 19.8	絹本著色	1 幅	本館
4	菱田春草	瀧図	明治34年（1901）	22.0× 46.9	紙本墨画	1 幅	個人（本館寄託）
5	菱田春草	漁舟	明治34年（1901）	23.0× 51.6	紙本墨画	1 幅	本館
6	菱田春草	飛泉	明治32～33年頃	25.6× 21.1	絹本著色	対幅	個人（本館寄託）
	横山大観	谿谷	明治32～33年頃	25.6× 21.0	絹本墨画	対幅	個人（本館寄託）
7	菱田春草	雨後	明治34年（1901）	115.9× 31.1	絹本墨画	1 幅	本館（綿半野原コレクション）
8	菱田春草	雨景山水	明治40年（1907）	26.1× 41.9	絹本墨画	1 幅	個人（本館寄託）
9	菱田春草	雨後の山（未完成）	明治42年（1909） 頃	127.0× 54.5	絹本著色	1 幅	本館
10	菱田春草	五月雨（未完成）	明治42年（1909） 頃	126.0× 54.7	絹本著色	1 幅	本館
11	横山大観	若竹	明治35年（1902）	112.1× 40.6	絹本著色	1 幅	本蔵
12	菱田春草	雨中山水	明治34年（1901）	103.5× 31.7	絹本墨画	対幅	本館
	横山大観	夏山水	明治34年（1901）	104.0× 31.6	絹本墨画	対幅	本館
13	下村観山	雨後富士	大正12年（1923） 頃	57.0× 117.5	絹本著色	1 幅	本館
14	菱田春草	山水	明治38年（1905）	113.7× 41.5	絹本墨画	対幅	本館
	下村観山	楼閣	明治43年（1910） 頃	113.8× 41.5	絹本著色	対幅	本館
15	菱田春草	水辺初夏（鷺）	明治41年（1908）	107.4× 41.2	絹本著色	1 幅	本館
16	菱田春草	夏の山（未完成）	制作年不明	55.4× 87.8	絹本著色	1 幅	本館
17	菱田春夫	花菖蒲	大正12～14年頃	127.8× 49.8	絹本著色	1 幅	本館

菱田春草記念室常設展示 第54期 外遊 ―海に臨んで― 出品作品リスト 令和7年7月19日(土)～8月24日(日)

No.	作者名	作品名	制作年	寸法	材質	員数	所蔵先
1	菱田春草	湖辺飛雁	明治35年(1902)	117.8× 49.4	絹本著色	対幅	本館
	横山大観	海濱の月	明治35年(1902)	115.6× 49.7	絹本著色	対幅	本館
2	菱田春草	林和靖放鶴図	明治33年(1900)	111.0× 50.5	絹本著色	1 幅	本館

3	横山大観	蓬萊山	明治36年(1903)	124.8× 50.0	絹本著色	1 幅	本館
4	菱田春草	説法(未完成)	明治36年(1903)頃	112.0× 41.8	絹本著色	1 幅	本館
5	菱田春草	水(未完成)	制作年不明	53.5× 78.6	絹本著色	1 幅	本館
6	菱田春草	海(未完成)	制作年不明	55.7× 89.1	絹本著色	1 幅	本館
7	菱田春草	海の朝(未完成)	制作年不明	54.2× 79.8	絹本著色	1 幅	本館
8	菱田春草	嵐の海(未完成)	制作年不明	51.6× 65.8	絹本著色	1 幅	本館
9	横山大観	海辺	明治33年(1900)頃	122.3× 49.7	絹本著色	1 幅	個人(本館寄託)
10	横山大観	月あかり	明治37年(1904)	46.3× 60.5	絹本著色	1 幅	本館
11	菱田春草	夕の森	明治37年(1904)	44.5× 60.0	絹本著色	1 幅	本館(飯田市有形文化財)
12	菱田春草	山又山	明治39年(1906)	79.2× 49.1	絹本著色	1 幅	飯田信用金庫蔵(本館寄託)
13	菱田春草	今様美人(未完成)	明治39年(1906)頃	50.0× 36.4	絹本著色	1 幅	本館
14	西郷孤月	富士遠望	明治39年(1906)頃	119.2× 49.2	絹本著色	1 幅	本館
15	菱田春草	二見ヶ浦	明治37年(1904)頃	47.5× 61.2	絹本著色	1 幅	本館

資料紹介							
1	菱田春草	貼交帳	明治30年代	27.9× 39.7	冊子	1 冊	本館
2	三好学画家書簡集		大正8年(1919)	24.3× 20.0	折本	1 冊(合装)	本館
	書簡集冒頭写真		明治36年1月9日撮影			1 冊(合装)	
	(横山大観・下村観山・菱田春草)						
	三好学宛菱田春草書簡		明治35年7月17日付		紙本墨書	1 冊(合装)	
	三好学宛菱田春草書簡		明治38年8月23日付		紙本墨書	1 冊(合装)	
	三好学宛横山大観書簡		明治38年9月15日付		紙本墨書	1 冊(合装)	
3	『日本美術』第55号		明治36年8月	22.6× 15.1	印刷	1 冊	本館
4	菱田為吉宛菱田春草書簡		明治37年10月16日付	17.3× 27.3	紙本インク	2 葉	下伊那教育会蔵 (本館寄託、飯田市有形文化財)

菱田春草記念室常設展示 第55期 紅葉 ―静寂の時― 出品作品リスト 令和7年8月30日(土)～10月5日(日)

No.	作者名	作品名	制作年	寸法	材質	員数	所蔵先
1	菱田春草	秋草の図	明治36年(1903)頃	各面 50.8× 20.2	絹本著色	2 面	本館
2	菱田春草	月	明治33～35年頃	71.2× 40.	絹本著色	1 幅	個人(本館寄託)
3	菱田春草	月下の雁	明治36～38年頃	109.8× 42.3	絹本著色	1 幅	本館
4	諸家合作	秋夜灯明	明治44年9月17日	123.8× 45.5	絹本著色	1 幅	本館
5	諸家合作	花弁線香	明治44年9月17日	118.7× 49.9	絹本著色	1 幅	本館
6	諸家合作	月夜	明治44年9月17日	113.4× 41.8	絹本著色	1 幅	本館
7	尾竹竹坡	通夜の作	明治44年(1911)9月	124.4× 45.6	絹本著色	対幅	本館
	尾竹国観	通夜の作	明治44年(1911)9月	124.5× 45.4	絹本著色	対幅	本館
8	菱田春草	落葉の図	明治34年(1901)	113.1× 40.3	絹本著色	対幅	個人(本館寄託)
	西郷孤月	紅葉の図	明治30年代後半～40年代	112.9× 40.2	絹本著色	対幅	個人(本館寄託)
9	菱田春草	秋溪	明治32～33年頃	107.5× 50.2	絹本著色	1 幅	本館
10	菱田春草	菊慈童	明治33年(1900)4月	181.1× 110.7	絹本著色	1 幅	本館(長野県宝)
11	菱田春草	秋郊月夜之図	明治34年(1901)頃	109.8× 46.4	絹本著色	1 幅	本館
12	西郷孤月	紅葉狩	明治30年代中葉頃	112.0× 41.6	絹本著色	1 幅	本館
13	山田敬中	帰樵山水図	制作年不明	127.0× 49.4	絹本著色	1 幅	本館
14	横山大観	菱田家 みち	明治44年(1911)9月	33.2× 24.3	絹本著色	1 幅	本館

資料紹介							
1	菱田春草	黒表紙写生帳	明治43～44年	15.1× 23.0	紙・水彩ほか	1 冊	本館
2	菱田春草	(千代代筆)	明治44年8月29日付	18.1× 199.9	紙本墨書	1 巻	下伊那教育会(本館寄託、 菱田為吉宛書簡飯田市有形文化財)
3	菱田千代	大乘院様霊前供物 到来控帳	明治44年(1911)	24.2× 16.6	紙本墨書	1 帖	本館
4	齋藤隆三	菱田家宛書簡	明治44年12月10日付	18.1× 132.9	紙本墨書	1 巻(合装)	下伊那教育会蔵 (本館寄託、飯田市有形文化財)
5	追悼展実行委員会	追悼展覧会目録	明治45年(1912)	39.3× 54.5	印刷	1 葉	本館
6	追悼展実行委員会	『春草画集』	明治45年(1912)	25.6× 18.3	印刷	1 冊	本館

菱田春草記念室常設展示 第56期 挑戦 ―文展への道― 出品作品リスト 令和7年10月11日(土)～11月16日(日)

No.	作者名	作品名	制作年	寸法	材質	員数	所蔵先
1	菱田春草	霊昭女	明治35年(1902)4月	119.2× 49.0	絹本著色	1 幅	本館(飯田市有形文化財)
2	木村武山	五浦旭日	明治40年代	131.7× 139.7	絹本著色	1 幅	本館
3	菱田春草	牧童	明治39年(1906)	各幅 22.5× 74.5	絹本著色	対幅	個人(本館寄託)
4	菱田春草	富嶽	明治41年(1908)	108.5× 41.1	絹本著色	1 幅	本館
5	菱田春草	高士訪友図	明治41年(1908)	106.5× 51.3	絹本著色	1 幅	本館

6	菱田春草	雨中美人（未完成）	明治43年（1910）	163.8×365.2 164.2×365.5	紙本墨画 ・淡彩	1 幅	本館（飯田市有形文化財）
9	菱田春草	黒き猫（未完成）	明治43年（1910）	164.0× 55.0	絹本墨画	1 幅	本館
10	菱田春草	布袋	明治43年（1910）	102.0× 39.2	絹本著色	1 幅	本館
11	下村観山	住吉明神	明治44年（1911）	130.0× 55.0	絹本著色	1 幅	本館

資料紹介

1	菱田春草	伊藤悦太郎宛書簡	明治42年（1909）5月4日	17.4× 70.9	紙本墨書	1 幅	春草会（本館寄託）
2	菱田春草	日蓮辻説法（大下絵）	明治42年（1909）	75.2×127.7	紙本著色	1 幅	本館
3	菱田春草	夫人写生	明治43年（1910）		紙・鉛筆・色鉛筆	12葉	本館
4	菱田春草	雨中美人（小下絵）	明治43年（1910）	23.0× 15.4	紙・水彩	1 葉	本館
5	菱田春草	賢首菩薩（小下絵）	明治40年（1907）		紙・鉛筆・著色	2 葉	本館
6	菱田春草	落葉ノート	明治42年（1909）	12.9× 16.4	紙・鉛筆・著色	1 冊	本館
7	菱田春草	猫写生	明治40年代		紙本墨画	2 葉	本館
8	菱田春草	菱田為吉宛書簡	明治43年（1910）9月30日	18.2×154.0	紙本墨書	1 卷（合装）	下伊那教育会 （本館寄託、飯田市有形文化財）
9	菱田春草	高橋鍊逸宛書簡	明治43年（1910）10月10日	17.2× 52.4	紙本墨書	1 卷（合装）	本館
10	菱田千代	思ひ出づるまゝに	昭和15年（1940）頃	25.7× 35.8	紙本墨書	2 葉	本館

菱田春草記念室常設展示 第57期 暮秋 ―うつろう色彩― 出品作品リスト 令和7年11月23日(日)～12月28日(日)

No.	作者名	作品名	制作年	寸法	材質	員数	所蔵先
1	菱田春草	鹿	明治36年（1903）10月	167.1× 84.0	絹本著色	1 幅	本館（飯田市有形文化財）
2	菱田春草	秋林	明治43年（1910）	17.3× 30.5	紙本墨画	1 幅	本館
3	菱田春草	夕の森	明治43年（1910）	17.0× 24.7	紙本墨画	1 幅	本館
4	菱田春草	丘上寒林（未完成）	制作年不明	36.5× 85.1	紙本著色	1 幅	本館
5	菱田春草	雪中群鴨（未完成）	明治42年（1909）頃	45.4× 73.1	絹本著色	1 幅	本館
6	菱田春草	月下遊鴨	明治34年（1901）	32.8×108.1	絹本著色	1 幅	本館
7	菱田春草	葦に鷺	明治43年（1910）	122.0× 34.0	紙本墨画	1 幅	個人（本館寄託）
8	菱田春草	鳩	明治43年（1910）	101.2× 30.4	紙本墨画	1 幅	本館
9	木村武山	後赤壁之図	明治30年代末～明治40年代	128.2× 50.3	絹本著色	1 幅	本館
10	梶田半古	月下美人図	制作年不明	109.5× 41.8	絹本著色	1 幅	本館（井村コレクション）
11	竹内栖鳳	秋雨晚鴉図	大正元年（1912）	110.4× 41.5	絹本著色	1 幅	本館（井村コレクション）
12	菱田春草	春秋	明治43年（1910）	144.5× 71.7	絹本著色	双幅	本館（飯田市有形文化財）
13	下村観山	寒林図	明治40年代頃	113.0× 42.3	絹本著色	1 幅	本館
14	西郷孤月	初冬の図	明治37年（1904）	127.0× 54.0	絹本著色	1 幅	本館
15	奥村土牛	富士	制作年不明	49.0× 57.2	紙本墨画淡彩	1 幅	個人（本館寄託）
16	菱田春草	美人図	明治32年（1899）	38.5× 26.9	紙本墨画	1 幅	本館
17	菱田春草	菊	明治43年（1910）	20.2× 17.6	紙本金地著色	1 幅	本館

資料紹介

1	博文館	文藝倶楽部第5巻第1編	明治32年（1899）1月	22.3× 15.0	印刷	1 冊	本館
2	菱田春草	鹿写生	明治30年代頃	27.1× 38.0	紙・鉛筆	1 葉	本館
3	菱田春草	楓写生	明治43年（1910）	17.7× 25.5	紙・鉛筆	1 冊	本館
4	菱田春草	緑鳩写生	明治43年（1910）	14.6× 22.6	紙・鉛筆・色鉛筆	1 冊	本館
5	菱田春草	製作扣帳	明治42年～明治44年	26.6× 18.9	紙・墨	1 冊	本館
6	菱田春草	高橋鍊逸宛書簡	明治43年11月8日	18.2× 85.3	紙本墨書	1 卷（合装）	本館
7	菱田春草	黒表紙写生帳	明治43年～44年	15.1× 23.0	紙・水彩ほか	1 冊	本館

菱田春草記念室常設展示 第58期 萌春 ―さくら咲く― 出品作品リスト 令和8年3月7日(日)～4月12日(日)

No.	作者名	作品名	制作年	寸法	材質	員数	所蔵先
1	菱田春草	白き猫	明治34年（1901）	109.6× 38.2	絹本著色	1 幅	春草会 （本館寄託、飯田市有形文化財）
2	菱田春草	梅（袱紗）	制作年不明	40.3× 40.0	絹本著色	1 葉	本館
3	木島桜谷	山村春色図	制作年不明	130.3× 41.7	絹本著色	対幅	本館（井村コレクション）
	木島桜谷	秋山帰獵図	制作年不明	130.3× 41.7	絹本著色	対幅	本館（井村コレクション）
4	小野竹喬	春山騎行	制作年不明	91.5× 27.1	絹本著色	対幅	個人（本館寄託）
	小野竹喬	秋江漁楽	制作年不明	91.5× 27.1	絹本著色	対幅	個人（本館寄託）
5	竹内栖鳳	初春棧道	制作年不明	20.9× 15.2	絹本墨画淡彩	1 冊（合装）	本館（岩崎コレクション）
	菊池芳文	春宵雁行	制作年不明	20.9× 15.2	絹本墨画淡彩	1 冊（合装）	本館（岩崎コレクション）
	山元春挙	柳塘煙雨	制作年不明	20.9× 15.2	絹本墨画淡彩	1 冊（合装）	本館（岩崎コレクション）
	鈴木松年	春溪読書	制作年不明	20.9× 15.2	絹本墨画淡彩	1 冊（合装）	本館（岩崎コレクション）
6	橋本雅邦	旅僧観桜	明治29年（1896）	29.7× 22.5	絹本墨画淡彩	1 葉	本館（岩崎コレクション）
7	梶田半古	桜花雉	明治42年（1909）	29.7× 22.5	絹本墨画淡彩	1 葉	本館（岩崎コレクション）

8	菱田春草	溪間の桜（未完成）	制作年不明	113.0× 45.3	絹本著色	1 幅	本館
9	菱田春草	桜（未完成）	制作年不明	102.5× 45.5	絹本著色	1 幅	本館
10	菱田春草	春暁	明治35年（1902）	119.2× 49.8	絹本著色	1 幅	本館
11	菱田春草	帰樵	明治39年（1906）	49.5× 70.3	絹本著色	1 幅	本館（飯田市有形文化財）
12	菱田春草	夜桜	明治37年（1904）	72.9× 49.5	絹本著色	1 幅	本館
13	西郷孤月	春景山水	明治33～34年	115.5× 41.6	絹本著色	1 幅	本館
14	梶田半古	桜下美人図	制作年不明	109.5× 41.8	絹本著色	1 幅	本館（井村コレクション）
15	小野竹喬	浅春図	制作年不明	35.8× 42.9	絹本著色	1 幅	個人（本館寄託）

資料紹介

1	菱田春草	飯田学校同窓会宛 書簡	明治34年10月14日	17.9× 34.9	紙本墨書	1 卷（合装）	春草会（本館寄託）
2	菱田春草	写生（植物）	明治23～24年		紙・墨・水彩ほか	10葉	本館
3	菱田春草	白表紙写生帳	明治43年～43年	17.6× 26.0	紙・水彩ほか	1 冊	本館

複製画で春草の名画を見よう

会 期 令和8年1月10日(土)～令和8年2月23日(月・祝)

主 催 飯田市美術博物館

会 場 菱田春草記念室

観 覧 料 一般 310円(210円) 高校生以下 無料 () 内は団体料金

観 覧 者 1,530人

内 容 例年にわたって開催している菱田春草の複製画展示。《武蔵野》《王昭君》《落葉》《黒き猫》の複製と、《菊慈童》のパネルを陳列した。レプリカではあるが春草の名品に触れる機会を提供したものである。

また美術博物館を用いておこなわれた鑑賞学習について、その成果もポスターとして紹介した。令和7年度は飯田市立竜峡中学校の美術部が本館に来館して菱田春草常設展示第53期「初夏ーうるおいの季節ー」とコレクション展示「千紫万紅ー江戸絵画の創意ー」の鑑賞をおこない、作品の解説キャプションの制作を試みた。また下條村立下條中学校の3年生は同校で写真を用いて《武蔵野》など5作を鑑賞し、意見交換をおこないながら作品を読み解いた。これら2校の鑑賞学習について、竜峡中は素材となった作品と制作したキャプションを、下條中は個々の作品に対するまとめを、それぞれポスターにして掲示した。

なお本展は「こども美術学校・中学生造形教室作品展」「藤本四八小中高生写真賞展」(ともに令和8年2月6日～2月23日)とともに、小中高生の作品発表に対する取り組みである「こども×びはく2026」の一環に位置づけた展示として実施した。

総 括 複製画の展示にあわせて小中学校の鑑賞学習の成果を紹介する形式は平成29年度より断続的に継続してきた。児童・生徒の気づきは一般の観覧者に対しても鑑賞のヒントとなり、作品の読み込みを深めるために有効であり好評でもあった。鑑賞学習の紹介は今後も継続していきたいが、小中学校における美術の時間数の少なさや、近年の教員の多忙さが原因であろうか、鑑賞学習で本館を利用する件数は減少の傾向にすすんでいる。美博の学校利用を促すことも、今後の課題といえよう。(小島)

複製画で春草の名画を見よう 出品作品リスト

令和8年1月10日(土)～2月23日(月・祝)

No.	作者名	作品名	原本制作年・所蔵先	員数	所蔵
1	菱田春草	武蔵野(複製画)	原本：明治31年(1898) 富山県美術館	1面	本館
2	菱田春草	菊慈童(写真パネル)	原本：明治33年(1900) 飯田市美術博物館	1枚	本館
3	菱田春草	王昭君(複製画)	原本：明治35年(1902) 龍澤山善寶寺	1面	本館
4	菱田春草	落葉(複製画)	原本：明治42年(1909) 永青文庫	6曲1双	春草会(本館寄託)
5	菱田春草	黒き猫(複製画)	原本：明治43年(1910) 永青文庫	1幅	本館

コレクション展示

全体構成

令和7年度のコレクション展示は4本を開催した。館蔵品の公開を目的とし、日本中世絵画、抽象作品、綿半野原コレクションの陶磁器と大森運夫作品を以下のように紹介した。

○ 館蔵品で見る工芸のいろいろ

令和7年3月15日(土)～5月18日(日) 展示室A 3,469人(令和7年度 2,163人)

○ 横井弘三・須山計一・正宗得三郎 それぞれの洋画

令和7年3月15日(土)～5月18日(日) 展示室B 3,469人(令和7年度 2,163人)

① 千紫万紅－江戸絵画の創意－

令和7年6月7日(土)～7月13日(日) 展示室A 1,794人

② Hot & Cool－須田剋太とオノサト・トシノブの抽象－

令和7年7月19日(土)～8月31日(日) 展示室A 3,957人

③ 浄瑠璃人形を描く－大森運夫のまなざし－

令和8年3月7日(土)～4月12日(日) 展示室B 1,592人(令和7年度 1,137人)

④ 陶酔境に到る－綿半野原コレクションの陶磁器2026－

令和8年3月7日(土)～5月24日(日) 展示室A 3,521人(令和7年度 1,137人)

主催

飯田市美術博物館

観覧料

一般 310円(210円) 小中学生 無料 ()内は団体料金

内容 展示法

①の展示は軸装作品が主で有り、展示室Aの壁面ケースと仮説ケースを用いて陳列した。当地出身の鈴木芙蓉・佐竹蓬平・原蓬山のほか、来遊作家、土佐派、狩野派、円山四条派、岸派と小コーナーを設けて紹介した。

②の展示は展示室A壁面に須田剋太とオノサト・トシノブをそれぞれ分けて陳列し、熱い抽象(Hot)と冷たい抽象(Cool)を対比する構成とした。

③の展示は展示室Bを用い、大森運夫の本制作と下絵とを併置する形で陳列した。また小部屋を設け、そこに伊那谷の各人形座でのスケッチを配した。

④の展示は展示室Aの壁面ケースと仮説ケースを用いた。宋元期の青磁から明代各期の青花・五彩、明末清初の青花と時代別に並べ、また末尾には日本の古伊万里・古九谷・志野、オランダの陶磁器を陳列した。

印刷物

2025美術コレクション展示リーフレット(A4判三つ折り 両面カラー) 4,000枚

総括

令和7年度の美術コレクション展示は、展示室Aと展示室Bを企画展・特別展で使用する時期が多かったため、例年より少ない4本のみで開催となった。そのため藤本四八写真や洋画作品は(令和6年度から継続した展示を除いて)陳列することができなかった。本館も開館して三十有余年が過ぎ、購入予算は乏しいながらも収蔵作品は増加している。しかし平成29年度から菱田春草記念室を春草関連の作品の陳列に特化したことから、その他のコレクション、特に南画などの中世絵画については陳列機会が減少してきている。各コレクションの定期的な陳列も今後の課題となってきた。(小島)

コレクション展示 千紫万紅－江戸絵画の創意－ 出品作品リスト 令和7年6月7日(土)～7月13日(日)

No.	作品名	作品名	制作年（出版年）	法量	材質	員数	所蔵先
鈴木芙蓉							
1	鈴木芙蓉	鳴門曉景図	寛政11年（1799）	46.5× 82.6	絹本淡彩	1 幅	本館
2	鈴木芙蓉	那智瀑泉真景図	寛政 5 年（1793）	167.7×130.9	絹本墨画	1 幅	本館
3	鈴木芙蓉	海棠に小禽図		34.5× 56.5	絹本著色	1 幅	本館
4	鈴木芙蓉	舟遊放鶴図	寛政 8 年（1796）	各幅 94.2× 78.2	絹本淡彩	双幅	個人（本館寄託）
5	鈴木芙蓉	琅玕命船図	寛政 8 年（1796）	111.5× 35.4	絹本淡彩	1 幅	本館
6	鈴木芙蓉	東方朔図		99.6× 33.2	絹本著色	1 幅	本館（綿五原家コレクション）
7	鈴木芙蓉	墨梅図	文化13年（1816）	92.7× 34.6	絹本墨画	1 幅	本館
8	鈴木芙蓉	漫遊文草	寛政元年（1789）	各冊 18.0× 12.0	木版刷	5 冊	本館
9	鈴木芙蓉	華陽皮相	寛政元年（1789）	各冊 26.8× 18.2	木版刷	2 冊	本館
10	鈴木芙蓉	費漢源山水画式	寛政元年（1789）	各冊 27.1× 18.2	木版刷	3 冊	本館
11	鈴木芙蓉	画図酔芙蓉	文化 6 年（1809）	各冊 26.8× 16.2	木版刷	2 冊	本館
佐竹蓬平							
12	佐竹蓬平	墨菊図	天明 2 年（1782）	93.2× 27.2	紙本墨画	1 幅	本館
13	佐竹蓬平	柘榴小禽図	安永～天明年間	96.1× 34.1	絹本著色	1 幅	本館
14	佐竹蓬平	山水図	安永 7 年（1778）	128.7× 38.7	絹本墨画	1 幅	個人（本館寄託）
15	佐竹蓬平	溪山棋楽図	文化 4 年（1807）	119.4× 39.7	絹本淡彩	1 幅	本館
16	佐竹蓬平	莊周胡蝶夢図	享和元年（1801）	92.1× 33.6	絹本淡彩	1 幅	本館
17	佐竹蓬平	伯牙弾琴図	文化 4 年（1807）	129.5× 38.0	絹本淡彩	1 幅	本館
18	原蓬山	奇峰山水図	元治元年（1864）	131.3× 55.3	絹本墨画	1 幅	本館
来遊の画家							
19	白隠	大燈像		95.3× 28.6	紙本墨画	1 幅	本館（日夏耿之介コレクション）
20	池大雅	信州行旅図	宝暦10年頃	134.6× 28.3	紙本墨画	1 幅	本館
書画の町・飯田－土佐派－							
21	土佐光孚	源氏物語絵		各面 24.8× 33.3	絹本著色	4 面	本館（井村コレクション）
22	土佐光清	義家公泰平図		116.4× 50.6	絹本著色	1 幅	本館（井村コレクション）
書画の町・飯田－狩野派－							
23	狩野洞雲	白牡丹図		81.6× 35.5	絹本著色	三幅対	本館（井村コレクション）
	〃	唐獅子図		81.8× 35.5	絹本著色	〃	本館（井村コレクション）
	〃	紅牡丹図		81.3× 35.5	絹本著色	〃	本館（井村コレクション）
書画の町・飯田－円山四条派－							
24	岡本豊彦	山水図	天保14年（1843）	各面 24.0× 67.7	絹本淡彩	2 面	本館（井村コレクション）
25	岡本豊彦	山月図		37.3× 55.8	絹本墨画	1 幅	本館（井村コレクション）
書画の町・飯田－岸派－							
26	岸駒	蘭亭曲水図	文化 7 年（1824）	83.7×114.1	絹本墨画	1 幅	本館（井村コレクション）
27	岸駒	龍虎図		各隻168.7×355.2	紙本墨画	6 曲 1 双	個人（本館寄託）

コレクション展示 Hot & Cool－須田剋太とオノサト・トシノブの抽象－ 出品作品リスト 令和7年7月19日(土)～8月31日(日)

No.	作者名	作品名	制作年	法量	材質	員数	所蔵先
須田剋太							
1	須田剋太	（作品1953-O1）	昭和28年（1953）	92.0× 73.5	ドンゴロス・油彩	1 面	本館
2	須田剋太	（作品-G190）		40.4× 30.2	紙・グワッシュ、岩絵具、石片	1 面	本館
3	須田剋太	（作品-G294）		37.5× 26.2	紙・グワッシュ、岩絵具	1 面	本館
4	須田剋太	（作品-G188）		40.0× 30.1	紙・グワッシュ、ジュラルミン、岩絵具	1 面	本館
5	須田剋太	（作品-G104）		53.4× 37.7	紙・グワッシュ、石片	1 面	本館
6	須田剋太	（作品-G 86）		55.4× 36.8	紙・グワッシュ、石片	1 面	本館
7	須田剋太	（作品-G164）		56.0× 73.5	紙・グワッシュ、岩絵具	1 面	本館
8	須田剋太	（作品-G 28）		58.5× 42.3	紙・グワッシュ、石片	1 面	本館
9	須田剋太	（無題）		112.9× 62.9	ドンゴロス・油彩	1 面	本館
10	須田剋太	（作品1958-O1）	昭和33年（1958）	91.0× 72.5	キャンバス・油彩	1 面	本館
11	須田剋太	（作品1965-O1）	昭和40年（1965）	91.3× 65.2	キャンバス・油彩、石	1 面	本館
12	須田剋太	（作品1959-O2）	昭和34年（1959）	91.2× 72.3	キャンバス・油彩、石	1 面	本館
13	須田剋太	（作品-G210）		36.5× 27.5	紙・グワッシュ、岩絵具	1 面	本館
14	須田剋太	（作品-G-268）		37.2× 27.7	紙・グワッシュ	1 面	本館
15	須田剋太	（作品-G274）		38.2× 30.0	紙・グワッシュ、ジュラルミン、岩絵具	1 面	本館
16	須田剋太	（作品-G286）		75.0× 60.0	紙・グワッシュ、ジュラルミン、岩絵具	1 面	本館

オノサト・トシノブ							
1	オノサト・トシノブ	虹	昭和29年(1954)	65.2× 53.0	キャンバス・油彩	1面	本館
2	オノサト・トシノブ	(無題)	昭和33年(1958)	18.9× 28.2	紙・水彩	1面	本館
3	オノサト・トシノブ	2つの丸	昭和34年(1959)	37.9× 45.6	キャンバス・油彩	1面	本館
4	オノサト・トシノブ	64-C	昭和39年(1964)	17.0× 25.0	紙・リトグラフ	1面	本館
5	オノサト・トシノブ	65-B	昭和40年(1965)	30.0× 40.0	紙・リトグラフ	1面	本館
6	オノサト・トシノブ	Silk-11	昭和42年(1967)	40.0× 40.0	紙・シルクスクリーン	1面	本館
7	オノサト・トシノブ	Silk-7	昭和42年(1967)	50.0× 50.0	紙・シルクスクリーン	1面	本館
8	オノサト・トシノブ	四ツの等円	昭和45年(1970)	49.5× 49.5	キャンバス・油彩	1面	本館
9	オノサト・トシノブ	Silk-30	昭和45年(1970)	50.0× 73.0	紙・シルクスクリーン	1面	本館
10	オノサト・トシノブ	Silk-50	昭和47年(1972)	24.0× 33.0	紙・シルクスクリーン	1面	本館
11	オノサト・トシノブ	Silk-51	昭和47年(1972)	24.0× 33.0	紙・シルクスクリーン	1面	本館
12	オノサト・トシノブ	交差分割	昭和48年(1973)	60.7× 72.5	キャンバス・油彩	1面	本館
13	オノサト・トシノブ	Silk-55	昭和48年(1973)	32.0× 41.0	紙・シルクスクリーン	1面	本館
14	オノサト・トシノブ	Silk-70	昭和50年(1975)	50.0× 50.0	紙・シルクスクリーン	1面	本館
15	オノサト・トシノブ	Silk-77	昭和51年(1976)	45.0× 53.0	紙・シルクスクリーン	1面	本館
16	オノサト・トシノブ	(無題)	昭和55年(1980)	50.1× 51.0	キャンバス・油彩	1面	本館
17	オノサト・トシノブ	Silk-100	昭和58年(1983)	60.0× 73.0	紙・シルクスクリーン	1面	本館
18	オノサト・トシノブ	As-23	昭和61年(1986)	70.0× 70.0	紙・シルクスクリーン	1面	本館
19	オノサト・トシノブ	Galaxy(銀河)	昭和56年(1981)	44.0× 100.0	紙・シルクスクリーン	1面	本館

コレクション展示 浄瑠璃人形を描く ー大森運夫のまなざしー 出品作品リスト 令和8年3月7日(土)～4月12日(日)

No.	作者名	作品名	制作年	法量	材質	員数	所蔵先
本画と下絵							
1	大森運夫	輪廻	昭和58年(1983)	116.7× 80.4	紙本著色	1面	本館(綿半野原コレクション)
2	大森運夫	風艶	昭和61年(1986)	194.0× 259.2	紙本著色	1面	本館(綿半野原コレクション)
3	大森運夫	無題(下絵)	昭和61年頃	71.8× 94.5	紙・鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
4	大森運夫	花の色は	昭和61年(1986)	145.0× 162.0	紙本著色	1面	本館(綿半野原コレクション)
5	大森運夫	無題(デッサン)		38.8× 53.9	紙・鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
6	大森運夫	皓き修羅	昭和59年(1984)	196.0× 360.0	紙本著色	1面	本館(綿半野原コレクション)
7	大森運夫	無題(下絵)	昭和59年頃	44.4× 78.1	紙・コンテなど	1面	本館(綿半野原コレクション)
8	大森運夫	流離抄	平成2年(1990)	180.0× 320.0	紙本著色	1面	本館(綿半野原コレクション)
9	大森運夫	秋風抄(下絵)	平成2年頃	51.0× 90.7	紙・鉛筆、色鉛筆、膠彩	1面	本館(綿半野原コレクション)
10	大森運夫	伊那谷の人形達	昭和63年(1988)	112.0× 162.0	紙本著色	1面	本館(綿半野原コレクション)
11	大森運夫	落城の譜(下絵)	昭和63年頃	41.9× 55.6	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩	1面	本館(綿半野原コレクション)
デッサン							
12	大森運夫	伊豆木人形	昭和59年(1984)	54.0× 38.8	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
13	大森運夫	伊豆木人形	昭和59年(1984)	53.9× 38.9	紙・鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
14	大森運夫	無題	昭和59年(1984)	54.0× 38.8	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
15	大森運夫	伊豆木人形	昭和59年(1984)	54.1× 38.8	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
16	大森運夫	無題		38.8× 53.9	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
17	大森運夫	無題		38.9× 53.9	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
18	大森運夫	桐林人形	昭和59年(1984)	38.8× 26.6	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
19	大森運夫	桐林人形	昭和59年(1984)	38.9× 26.6	紙・鉛筆、クレパス	1面	本館(綿半野原コレクション)
20	大森運夫	桐林人形		38.8× 53.9	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
21	大森運夫	桐林人形	昭和63年(1988)	39.5× 54.5	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
22	大森運夫	桐林人形	昭和63年(1988)	54.4× 39.5	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
23	大森運夫	桐林人形	昭和63年(1988)	54.5× 39.5	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
24	大森運夫	無題		54.8× 39.5	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
25	大森運夫	今田人形	昭和63年(1988)	54.5× 39.6	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
26	大森運夫	今田人形 明智光秀	昭和61年(1986)	54.4× 39.4	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
27	大森運夫	今田人形	昭和61年(1986)	54.6× 39.6	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
28	大森運夫	今田人形	昭和61年(1986)	54.6× 39.5	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
29	大森運夫	今田人形	昭和62年(1987)	54.4× 39.4	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
30	大森運夫	無題		39.4× 54.5	紙・コンテ	1面	本館(綿半野原コレクション)
31	大森運夫	今田人形 翁		37.4× 26.5	紙・鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
32	大森運夫	今田人形	昭和63年(1988)	39.6× 54.5	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
33	大森運夫	今田人形	昭和62年(1987)	39.4× 54.4	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
34	大森運夫	河野人形	昭和60年(1985)	39.4× 54.4	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
35	大森運夫	古田人形 卿の君	昭和63年(1988)	54.5× 39.5	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
36	大森運夫	古田人形 お弓	昭和63年(1988)	54.5× 39.6	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
37	大森運夫	古田人形 おわさ	昭和63年(1988)	54.4× 39.6	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)

38	大森運夫	古田人形	深雪	昭和63年(1988)	54.4× 29.6	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
39	大森運夫	黒田人形	お里		54.1× 38.8	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
40	大森運夫	黒田人形			54.8× 39.6	紙・色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
41	大森運夫	黒田人形		昭和60年(1985)	54.8× 39.5	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
42	大森運夫	無題			54.9× 39.5	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
43	大森運夫	黒田人形		昭和60年(1985)	54.9× 39.4	紙・鉛筆、色鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)
44	大森運夫	無題		昭和63年(1988)	36.0× 26.0	紙・鉛筆	1面	本館(綿半野原コレクション)

浄瑠璃人形

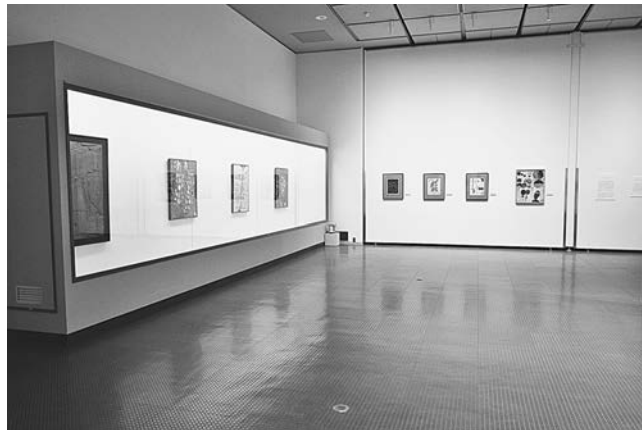
1	古田人形	頭		万延2年(1861)	10.1× 6.9	木製・胡紛・植毛	1点	個人(本館寄託)
2	古田人形	頭		制作年不明	12.7× 8.6	木製・胡紛・植毛	1点	個人(本館寄託)

コレクション展示 陶酔境に到る ―綿半野原コレクションの陶磁器2026― 出品作品リスト 令和8年3月7日(土)～5月24日(日)

No.	作品名	制作年	法量			材質	員数	所蔵先
天龍寺青磁								
1	青磁劃花魚文花形盤	元代(12c後半～14c)	高さ 6.9	口径28.0		磁器	1 枚	本館 (綿半野原コレクション)
2	青磁鯨耳付瓶	南宋～元代(12c～13c)	高さ27.4	口径10.0	胴径11.7	磁器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
3	青磁中燕形瓶	元代(12c後半～14c)	高さ25.5	口径14.5	胴径10.8	磁器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
青花(永楽期)								
4	青花葡萄文盤	明代初期(15c前半)	高さ 7.2	口径37.9		磁器	1 枚	本館 (綿半野原コレクション)
青花(嘉靖期)								
5	青花仙人瑞獸図壺	明代中期(16c中葉)	高さ29.2	口径16.7	胴径38.5	磁器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
6	青花獅子馬文瓢瓶	明代中期(16c中葉)	高さ52.2	口径 5.6	胴径28.9	磁器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
金襴手								
7	五彩花鳥文仙蓋瓶	明代中期(16c中葉)	高さ23.5	通注径14.5	胴短径7.2	磁器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
8	五彩赤玉璫珞文合子	明代中期(16c中葉)	高さ9.3	通蓋高14.5	口径16.1	磁器	1 合	本館 (綿半野原コレクション)
青花(萬曆)								
9	青花騎牛高士図輪花形盤	明代後期(16c後半～17c前半)	高さ 7.6	口径34.5		磁器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
萬曆赤絵								
10	五彩麒麟瑞獸文輪花形盤	明代後期(16c後半～17c前半)	高さ11.3	口径35.3		磁器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
呉須赤絵								
11	五彩麒麟文盤	明代末期(17c前半)	高さ 9.5	口径37.9		磁器	1 枚	本館 (綿半野原コレクション)
古染付								
12	青花葡萄欄文水指	明代末期(17c前半)	通蓋高21.2	口径13.6	胴径18.8	磁器	1 合	本館 (綿半野原コレクション)
13	青花山水人物図手鉢	明代末期(17c前半)	通手高11.5	長径25.2	短径18.7	磁器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
14	青花高士囲碁図盤	明代末期(17c前半)	高さ 3.6	口径29.1		磁器	1 枚	本館 (綿半野原コレクション)
15	青花馬形盤	明代末期(17c前半)	高さ 4.4	長径16.8	短径10.1他	磁器	5 枚	本館 (綿半野原コレクション)
16	青花釉裏紅東方朔図盤	明代末期(17c前半)	高さ 4.2	口径19.5		磁器	1 枚	本館 (綿半野原コレクション)
祥瑞								
17	青花牡丹文盤	明代末期(17c中葉)	高さ 6.3	口径35.0		磁器	1 枚	本館 (綿半野原コレクション)
18	青花花鳥図六角形盤	明代末期(17c中葉)	高さ 5.1	口径24.5		磁器	1 枚	本館 (綿半野原コレクション)
19	五彩兔鷲文盤	明代末期(17c中葉)	高さ 3.3	口径19.9		磁器	1 枚	本館 (綿半野原コレクション)
20	青花梅花小禽図花形盤	明代末期(17c中葉)	高さ 5.0	口径23.7他		磁器	3 枚	本館 (綿半野原コレクション)
21	青花丸文盤	明代末期(17c中葉)	高さ 4.5	口径23.2他		磁器	5 枚	本館 (綿半野原コレクション)
天啓赤絵								
22	五彩仙人図盤	明代末期(17c前半)	高さ 4.8	口径28.0		磁器	1 枚	本館 (綿半野原コレクション)
南京赤絵								
23	五彩花蝶人物図八角形盤	明代末期(17c中葉)	高さ22.7	口径 5.7	胴径10.2	磁器	1 枚	本館 (綿半野原コレクション)
24	五彩山水丸文獅子撮付水注	明代末期(17c中葉)	通蓋高9.6	通手高12.6	通注径20.8	磁器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
明末清初手								
25	青花高士図盤	清代初期(17c中葉)	高さ 9.9	口径47.7		磁器	1 枚	本館 (綿半野原コレクション)
26	青花花鉢文盤	明代末期(17c中葉)	高さ 7.9	口径33.2		磁器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
古伊万里								
27	染付梅花双鳥図皿	江戸時代前期(17c後半)	高さ10.6	口径57.9		磁器	1 枚	本館 (綿半野原コレクション)
古九谷								
28	色絵花卉文台鉢	江戸時代前期(17c後半)	高さ10.9	口径34.1		磁器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
志野								
29	志野松山図鉢	安土桃山時代(16c後半)	高さ 6.3	口径29.0		陶器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
デルフト焼								
30	藍絵花鳥図瓶	17 c	高さ38.4	口径 9.8	胴径19.8	陶器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)
31	藍絵人物図瓶	17 c	高さ39.2	口径10.1	胴径20.1	陶器	1 口	本館 (綿半野原コレクション)



山紫水明



Hot & Cool



浄瑠璃人形を描く



陶酔境に到る

第25回「現代の創造展－南信州のアートと共に創る－」（美術）

令和7年11月23日(日)～12月14日(日)

主 催	現代の創造展実行委員会・飯田市美術博物館
後 援	下伊那郡町村会・下伊那教育会・南信州新聞社・信濃毎日新聞社・中日新聞社・飯田エフエム放送・飯田ケーブルテレビ

会 場	展示室A・展示室B・講堂・市民ギャラリー・ロビー
-----	--------------------------

観 覧 料	一般 310円(210円) 高校生以下 無料 () 内は20名以上の団体料金
-------	--

観覧者数	3,143人
------	--------

趣 旨	飯田下伊那地区出身もしくは在住の作家による創作活動に光を当て、未発表の最近作を発表する場を提供することにより、伊那谷の美術制作の振興に寄与することを目的とする。飯伊美術家・美術団体の会が母体となる「現代の創造展実行委員会」が所属団体等に関わりなく現在意欲的・挑戦的な創作活動をしている作家を選び出品の委嘱をしている。若手作家や新進作家の掘り起しにも努めている。
-----	--

内 容	日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書、コンテンポラリー以上7部門全157点を展示した。引き続き部門ごとにまとめた作品展示でなく各部門の作品が混在する展示とした。
-----	---

印 刷 物	ポスター (A2判) 450枚 招待ハガキ 3,500枚 チラシ 2,500枚
-------	---

付属事業	① ギャラリートーク 期 日：第1回令和7年11月29日(土) 第2回12月7日(日) いずれも13時30分～14時30分 実施者：第1回 安藤睦子、星野幸恵、木村一晃、岩崎英子、菅沼秀一、酒井崇、林隆秀、木下剛亨、小麻智美、蜂谷充志 (司会 田中洋江) 実施者：第2回 宮崎美幸、桜井良子、坂巻敬子、上林泰平、高橋勝吉、加山隆、春日優、櫻井雅子、福澤郁文、片桐秀夫 (司会 佐藤聡子) 聴講者：100人(11月29日 52人、12月7日 48人) ② 中・高生一日学芸員 期 日：令和7年11月29日(土) 10時～11時(中学生一日学芸員) 令和7年12月7日(日) 10時～11時(高校生一日学芸員) 参加者：25人(中学生13人、高校生12人)
------	--

実行委員	青木千恵美 岩崎英子 小笠原貴勢子 片桐秀夫 春日 優 加山 隆 川上久光 北村月香 熊谷ひろみ 毛涯 伸 小池 誠 小島敬介 小林まる 齊藤正史 榊田貴美子 佐々木敏彦 佐藤聡子 清水千春 清水 豊 所澤友和 代田ゆかり 高橋勝吉 武田泰平 手塚俊尚 田中洋江 橋爪一彦 羽田野サヨ子 林 敬子 東田 優 福島勝三 松井利明 三浦満弓 水野令子 水上雅彦 湯沢茂好 (美博学芸員) 小島 淳 小池朋実 (美博事務局) 手塚俊尚 《実行委員長》 丸山陸雄 《副実行委員長》 木下剛亨 《事務局長》 三島かくえ
------	--



経過総括

今回で25回目となった現代の創造展、過去には「展示のマネリ化」だとか「出品作品に魅力がない」といった批判を受けたこともあった。今回25回展では、164人に出品委嘱をしたものの7名の辞退があり、最終的な出品者は前回より2人増の157人であった。新人の発掘にも尽力し12名の新人が出品した。来観者数は、3,143人で、前回100人程度増加し、さらに今回100程度増加した。目標の3,000人を無理なく超えることができた。また、今回、来館者の特徴として休日に家族とともに来館した小中学生が185人あり、昨年より20人ほど増加していて、来観者の世代の広がりを示している。

出品者による2回のギャラリートークの他、前回に引き続き中学生、高校生による1日学芸員を実施した。これは、中・高生に全出品作品の中で心惹かれる作品を選んでもらい、作品の前でその魅力について話すというもので、次世代育成を目的としている。出品者によるギャラリートークには大勢の参加者があり、進行もスムーズに運び好評であった。1日学芸員は参加した中・高生からは、「いろいろな作品があってとても面白かった。参加してよかったから、また参加してみたい」という声が聞かれた。

平成13年第1回実行委員長となった日本画家の仲村進は、「中央画壇が衰退しつつある時代の流れは、表現の多様化と共に時代の可能性に希望が持てるようになってきた」と同展の基本理念を表明した。多様化と地方の可能性の理念は、これまでぶれることなく貫かれ、現代の創造展実行委員会でも幾度となく論議された。第20回展に始まり今回で6回目となる日本画、洋画といった部門の壁を取り払い個々の作品が生かされるように配慮した展示はすっかり定着し好評となっている。さらに、25回展では、アンケートにも「いろいろなジャンルの作品が展示されていて面白い」とあったように、表現の多様化という点に注目が集まった。今回初めて柳田館に展示された蜂谷充志館長のインスタレーション、多彩な抽象画、貼り絵、書と絵の一体的な表現など、作家の個性が強く表現された。一方で、中央の美術団体に所属し着実に力量を高めている作家も多く出品しており、現代の創造展の見応えの重要な要素となっている。今回の25回展の評価として、アンケートに書かれていた観覧者の感想を紹介すると「初めて観ましたが、素敵な作品ばかりで心が震えた」「地元こんなに素晴らしい美術家がいることに驚き、もっと多くの市民に観てもらいたい」など、多くの観覧者から声援を受けている。(手塚)



第25回 現代の創造展－南信州のアートを共に創る－ 出品作品リスト 令和7年11月23日(日)～12月14日(日)

日本画			54	松下善信	わさび畑と清水	106	吉澤香代子	水流
1	今村晴雄	絡まる	55	松永 茜	地図No.429	書		
2	岩崎英子	まもりびと	56	丸山陸雄	少年たちの月見	107	安静俊祐(圓成)	朱放詩『題竹林寺』
3	大原文男	叢(そう)	57	宮井啓江	音	108	池之側今朝志(聖峰)	雪の降る町を
4	木村宗登	望む	58	三島かくえ	女ともだち	109	石原恭子(恭茜)	秦州雜詩
5	小池 誠	生命(いのち)たちの声	59	宮川マヤ	月夜に舞う	110	井坪大喜	隆々
6	後藤 修	Collage(コラージュ)	60	横前秀幸	シチリアの風	111	尾曾綾子(紫綾)	杜甫詩
7	後藤良郎	日本海	61	吉川元順	裏庭	112	春日 優(彩雲)	善游者溺 善騎者墮
8	櫻井雅子	歌姫(希望)	版画			113	鎌田俊明(岳風)	養其神
9	佐々木桂子	Shiloh	62	安藤睦子	ルールがわからない	114	加山雅三(幽石)	袁枚詩 普陀寺
10	清水壽子	舞	63	今村由男	Horizont－黄昏	115	木村一晃	白居易詩(賦得古原草送別)
11	鈴木章博	故郷・飯田の雪暁	64	梅田蓉子	Flower Illusion	116	熊谷昌平(昌山)	無
12	滝沢具幸	冬	65	小笠原貴勢子	Nocturne	117	熊谷ひろみ(素雪)	「送友人」李白詩
13	筒井攝子	深秋の里	66	尾曾美和子	Tangled 25220	118	熊谷まゆみ(泉舟)	儲光義詩
14	手塚俊尚	行く夏	67	亀山勝保	一茶の四季	119	小池夕子(優華)	「嫩緑」
15	外松協子	草むらの秋	68	北沢正和	共生	120	齋藤梨江(光蓮)	風
16	福澤和子	西瓜	69	北野敏美	A View-2525	121	榊田貴美子(白蓮)	明歴歴 露堂堂
17	福島勝三	夕映え	70	久保田純子	Deep breath	122	坂巻敬子(春光)	常建詩 破山寺後禪院
18	松尾隆康	千手千眼観音菩薩	71	小島敬介	始まりと終わり	123	櫻井純子(葉夏)	送殷亮藩游山南 姚合詩
19	宮島弘道	Tank picture panel	72	菅沼亜里	飛び立つ	124	佐藤聡子(聡穂)	鶴舞千年樹
20	吉川 優	希望	73	高橋真子	Hidden Cosmos	125	澤柳礼子(芳華)	超然(老子の語)
21	渡辺美智子	厳冬	74	宮崎美幸	声にだして笑う	126	篠田祐子	八重にほふ
洋画			彫刻			127	志水順子(香華)	村行(王禹偁)
22	新井淳夫	フランスの美しい村	75	今牧芳喜	船の旅	128	清水千春(春蹊)	寒山詩「人間寒山道」
23	市瀬富美子	Early Summer Roses	76	片桐秀夫	飛走	129	清水 豊	万葉集より一首
24	瓜生真奈美	相對	77	木下剛亨	聖母子	130	下平百豊(南岳)	竿頭進歩
25	岡庭登子	思い出のアルバム	78	木下雅雄	Half Bone Hippopotamus	131	菅沼秀一(松峯)	百木
26	小野垣真美	川遊び	79	久保田寛人	自由の門	132	田中美智子	はちす葉の(和歌二首)
27	川上久光	天狗伝説	80	久保田弘実	ハンプティダンブティー	133	永井真寿(稹應)	坂村真氏の詩
28	河原加枝	一休み	81	仲田耕治	志貫	134	福永泰子(寿泉)	倪元璐 五言律詩幅を臨書
29	上林泰平	自覚	82	林 湜和	廃墟	135	松下さなえ(赤麗)	種田山頭火の句
30	亀山秀人	夢のひとつとき	83	林 遼	交わる	136	三浦満弓	万葉集二首
31	岸田勝美	に非ず、にあらず	84	南島和也	人々	137	水野令子(蘭令)	高啓詩
32	木下真示	出現－電影	85	山内孝一	フォーマットを編む2025	138	壬生克浩(秀嶽)	(春閨怨)趙世昌詩
33	窪田正典	献花・祈り	工芸			139	山本扶佐子(嵩紫)	陸機詩
34	毛涯 伸	街に眠る	86	青木千恵美	編集 2025	コンテンポラリー		
35	小林まゆみ	TRUE COME	87	新井 翠	茜	140	青木 連	Flower of Life (Livepainting)
36	近藤二美	群生	88	市東和美	四季の水盆	141	石原獨往	影が光を照らし始める瞬間(とき)
37	齋藤聖奈	?軸	89	井上欣一	父の尉	142	今村秀哉	Book marker
38	齊藤正史	黄揚羽蝶の蛹	90	梅本聖夫	積景	143	加山 隆	2000～2025
39	酒井 崇	風越権現	91	大蔵光彦	茶室・露地	144	北村月香	ヒヨの森
40	所澤友和	晩秋の出来事	92	川手敏雄	灰釉樹木文壺	145	小麻智美	IDA-CKM
41	しろたゆかり	光のカケラ	93	櫻井良子	ビック バン II	146	小林まる	番狂わせ
42	高橋勝吉	彩雲(iridescent clouds)	94	佐々木敏彦	漆彩／知のしるべ	147	小山 実	金魚とミズバショウ
43	築島由美	花のスカート	95	園原タミエ	木蓮	148	田中洋江	まど
44	遠山楨之	感電(改)	96	中平則子	爽風	149	蜂谷充志	View2025 -Plan for Kunio Yanagida's Residence-
45	遠山ゆうか	向こう側の太陽	97	中村鹿林	山鳥の風まかせ		林 正彦	ARCHEOLOGY
46	仲間弘子	sleep	98	長沼正子	光夜	150	古畑智気	finder-0057
47	夏目まさ子	大樹の秋	99	羽田野サヨ子	春のきざし	151	福澤郁文	超次元のメタモルフォーゼ [変容]
48	橋爪一彦	交錯する光と影	100	林あゆみ	Tapestry	152	前沢知子	イメージ／関係－黄と青－2025
49	林 敬子	夜明けII(静音)	101	原田かつゑ	ペコニアと梟(フクロウ)	153	持田敦子	borrow you
50	林 隆秀	棚田2月の風物詩	102	福田 渉	ロレンス(老木ツツル)	154	山崎 翠	山姥
51	林 知令	解	103	福山康雄	瓶	155	湯澤茂好	有体・足
52	松井利明	水門	104	星野幸恵	望月	156	吉沢さやか	あか
53	松澤泉次	遠い日	105	水上雅彦	木あかり	157		

自然展示室トピック展示

(1)「ギフトョウと伊那谷の春のチョウ」(前年度から継続)

会 期 令和7年2月4日(火)～5月25日(日)

観 覧 者 4,339人(令和7年度 2,664人)

(2)「帰ってきた植物化石 ―田中芳男と科博天産部標本から探る伊那谷の自然科学黎明期―」

共 催 国立科学博物館

会 期 令和7年6月7日(土)～9月28日(日)

内 容 国内最古の自然系博物館である国立科学博物館の最初の標本群は、飯田市出身の田中芳男の音頭のもと、明治5年、全国で採集された。この収集事業は、翌年開催されたウィーン万博の展示品収集と国内最初の博物館の資料の充実を目的に、田中ら本草学者の知見を頼りに進められた。この事業を通じ全国の情報を収集したことは、海外研究者による国内最初の植物化石研究で伊那谷が紹介されるなど、日本の自然科学黎明期において西洋科学が発展する土台となったと捉えられている。本展では、この時収集された伊那谷産標本の里帰りを通じ、当時の収集事業と、その後現代に至るまで、当地の標本が科学の発展に果たした役割を紹介した。



観 覧 者 8,313人

展示資料

- ・科博天産部標本(明治5年収集) 2点(国立科学博物館蔵)
- ・長野県 県宝「明治五年勸業博物館之部 全」 1点(長野県立歴史館蔵)
- ・日本化石植物史(Zur Fossile Pflanzen Japan's) 1点
- ・市岡智寛鉱物標本 1式(飯田市立図書館蔵)
- ・鹿間時夫博士収集植物化石標本 6点(国立科学博物館蔵)
- ・近藤恭一コレクション(植物化石) 1式(本館)

付属事業

- ・自然講座 7月5日(土)13時30分～15時(本館講堂)
「伊那谷の植物化石がかたることー本草学から近代科学までー」
講 師：矢部 淳氏(国立科学博物館 生命史研究部 進化古生物研究グループ長)
聴講者：44人(対面34人、オンライン10人)

総 括 国立科学博物館との共同開催により実施した本展示では、地域にゆかりのある植物化石資料を活用し、田中芳男の活動の一端を自然科学(地学)の側面から紹介した。科博天産部標本や県宝など、通常は公開機会の少ない貴重な資料を展示することで、飯田周辺地域においても十分に周知されているとは言い難い田中芳男の功績について、新たな切り口から解説する機会となった。また、伊那谷における標本収集が重要な役割を担った国内最初期の化石研究についても、分野横断的な視点から情報発信を行うことができた。(矢部・川谷)

(3)「化けるムシたち」

会 期 令和7年9月30日(火)～令和8年2月1日(日)

内 容 小さな生き物である昆虫は鳥などの外敵から身を守るために、色や形を多様に進化させてきた。枯葉やコケなどに姿を似せたり、鳥のフンにそっくりな色や形になったり、強い毒を持つハチに模様や行動を似せたりしている。身近な虫たちを対象に、興味深い擬態の世界を、標本と写真で紹介した。

観 覧 者 7,788人



(4)「わたしのコウブツ」

会 期 令和8年2月3日(火)～5月24日(日)

内 容 美博に収蔵されている中平鉱物コレクションや近藤恭一コレクションなどの鉱物標本を展示し、地球に存在する鉱物の概要やその重要性、伊那谷周辺から見つかる鉱物、人間の暮らしの中での鉱物の活用などを紹介した。

観 覧 者 5,036人(令和7年度 2,280人)



自然展示室

○ 季節の自然ひとつまみパネル

令和3年1月から毎月その季節の身近な自然を紹介するパネルを、自然展示室入り口壁面に設置している。

【令和7年度のテーマ】

4月「伊那谷の在来のサクラ」、5月「目にも耳にもあざやか オオルリ」、6月「キモこわい？ヌメかわいい？ ヤマビル」、7月「梅雨の湿地のクサレダマ」、8月「ツバメのねぐら入り」、9月「夏の名残のキベリタテハ」、10月「アンモナイトを抱くアオツツラフジ」、11月「雑草の草もみじ」、12月「カラの混群」、1月「ケヤキの樹皮の裏側」、2月「立春を告げるセツブンソウ」、3月「ヤマアカガエル」

追手町小学校化石標本室

経 過 平成6年度 長谷川善和氏(横浜国立大学名誉教授、本館顧問)から寄託された古生物標本・現生動物骨格の展示室として平成16年度に追手町小学校化石標本室がオープンした。令和5年度には展示のリニューアルをおこなった。

観 覧 者 278人

文化展示室トピック展示

「新収蔵品紹介 修復を終えた田中芳男関係資料」（前年度から継続）

会 期 令和7年3月15日（土）～5月25日（日）

観 覧 者 3,670人（令和7年度 2,874人）

①「新収蔵品紹介 万国博覧会と田中芳男」

会 期 令和7年6月7日（土）～8月24日（日）

内 容 田中芳男は、日本の殖産興業推進のためにパリ、ウィーン、フィラデルフィアで行われた万国博覧会にそれぞれ参画し、その後の日本の産業政策に深く関与していくこととなる。大阪・関西万国博覧会の開催を機に、田中芳男が万国博覧会にどのように関わり、その後の日本の近代化にどのように貢献していったかを、新収蔵品を中心に紹介しつつ考える機会とした。

付属事業 ① 見学会「“日本の博物館の父” 田中芳男とりんご並木」令和7年5月18日
② 文化講座「田中芳男と博覧会博物館」令和7年7月27日

観 覧 者 5,812人

② 柳田国男生誕150年「柳田国男と南信州」

会 期 令和7年8月26日（火）～11月16日（日）

内 容 柳田国男の生誕150年の節目に合わせて開催。兵庫出身の国男が、旧飯田藩士柳田家に養子入りしたことをきっかけにはじまる南信州地域との関わりを、本館が所蔵する資料を通して紹介した。

付属事業 第8回伊那民俗研究集会「柳田国男と南信州」令和7年9月15日（月・祝）
主催：柳田国男記念伊那民俗学研究所、南信州民俗芸能継承推進協議会、飯田市美術博物館

観 覧 者 5,692人

③「下伊那歴史探求のあゆみ」

会 期 令和7年11月23日（日）～令和8年2月23日（月・祝）

内 容 当地の歴史を網羅した大著『下伊那史』（1～9巻）の編纂事業は、明治時代から継承されてきた当地の歴史探求の営みそのものでもあった。同書が当地の歴史研究の羅針盤であり続けたのは、その膨大な資料の蓄積と学校現場に身を置いた郷土史家たちの情熱によるものであり、美術博物館や歴史研究所といった後続の事業も、こうした先達の導きがあってこそ今日まで続くことができた。しかし、こうした営みもいまや大きな転換点を迎えている。本展では、この『下伊那史』の編纂事業を中心として当地における歴史探求の歩みを振り返り、今後の歴史探求のあり方を考える機会とした。

付属事業 文化講座『下伊那史』を支えた人々」令和7年12月21日（日）

観 覧 者 5,502人

④ 瑠璃寺御開帳記念「大型屋台獅子の誕生とひろがり」

会 期	令和8年3月7日(土)～5月24日(日)
内 容	令和8年3月から4月にかけて開催される高森町の大島山瑠璃寺の御開帳に合わせて開催。同寺の祭典で行われる獅子舞は、江戸時代中期に復興し、宇天王が獅子を曳く形式が誕生した。のちに飯田下伊那の各地へ広がっていく大型屋台獅子の歴史を紹介。
付属事業	「大型屋台獅子の誕生とひろがり」令和8年3月15日(日)
観 覧 者	3,873人(令和7年度1,396人)
総 括	本年度も昨年度と同様に4本の展示を行った。 大阪・関西万博の開催、柳田国男生誕150年、『下伊那史』の完結、瑠璃寺の御開帳と、それぞれの節目を捉えて関係者を巻き込みつつ、このタイミングでしかできない切り口で展示会を企画することができた。いずれも小規模な展示会ではあるが、メディアでも予想以上に大きく取り上げる機会が増えている。コロナ禍を経てようやく軌道に乗ってきた手ごたえもあるので、当面は現在のスタイルを継続しつつ、単発の事業に終わらせることなく次の一手へ繋がるような工夫を重ねていきたい。

「万国博覧会と田中芳男」 出品リスト			令和7年6月7日(土)～8月24日(日)	
資料名	制作年代	材質	員数	所蔵者
田中芳男写真	慶応2年(1866)	印画紙・プリント	1枚	本館
袱紗(第2回パリ万国博覧会記念品)	慶応3年(1867)	染色・木綿	1枚	本館
小地球儀(その1)	19世紀	木製	1個	本館
小地球儀(その2)	19世紀	木製	1個	本館
パリ土産の銀製スプーン	19世紀	銀	1式	本館
「古今珍物集覧 元昌平坂聖堂に於て」	明治5年(1872)	紙本版本	1式	本館
「元ト昌平坂聖堂ニ於テ博覧会図」	明治5年(1872)	紙本版本	1式	本館
明治五年博覧会記念写真	明治5年(1872)	印画紙・プリント	1枚	本館
袱紗(ウィーン万国博覧会)	明治18年(1885)	染色・木綿	1枚	本館
『澳国博覧会参同記要』 田中芳男・平山成信編	明治30年(1897)	刊本	1冊	本館
袱紗(フィラデルフィア万国博覧会記念品)	明治9年(1876)	染色・木綿	1枚	本館
袱紗(第1回内国博覧会記念品)	明治10年(1877)	版本・麻	1枚	本館
ピンバッジ(第1回内勸業博覧会委員)	明治10年(1877)	銅製・七宝焼	1枚	本館
内国勸業博覧会美術館之図	明治10年(1877)	紙本版本	1式	本館
「上野内国勸業博覧会ノ図」	明治14年(1881)	紙本藩土	1式	本館
メダル(メルボルン万国博覧会記念品)	明治13年(1880)	銀製	1枚	本館
『田中芳男君七六展覧会記念誌』	大正2年(1913)	冊子	1冊	本館

「柳田国男生誕150年 柳田国男と南信州」 出品リスト			令和7年8月26日(火)～11月16日(日)	
資料名	制作年代	材質	員数	所蔵者
『思ひ出久佐』	明治42年(1909)	紙本墨書	1冊	本館
『信州新野 盆踊記念写真帳』	昭和2年(1927)11月	書籍	1冊	本館
蕉梧堂宿帳	大正13～昭和10年	紙本墨書	1冊	本館
前澤政雄(淵月)宛柳田国男書簡	大正4年(1915)	紙本墨書	1通	本館
『伝説の下伊那』	大正12年(1923)7月発行	書籍	1冊	本館
『下伊那郷土民謡集』	昭和2年(1927)	書籍	1冊	本館
『山の祭り』(『伊那民俗叢書』第一輯)	昭和8年(1933)11月発行	書籍	1冊	本館
『昔ばなし』(『伊那民俗叢書』第二輯)	昭和9年(1934)発行	書籍	1冊	本館
『山邨』第2巻第1号	昭和10年(1935)5月5日発行	書籍	1冊	本館
『信州随筆』	昭和11年(1936)10月	書籍	1冊	本館
『旅』23巻1号	昭和24年(1929)1月	雑誌	1冊	個人
『旅』23巻2号	昭和24年(1929)2月	雑誌	1冊	個人
『旅』23巻3号	昭和24年(1929)3月	雑誌	1冊	個人
民俗調査報告書	—	書籍	8冊	本館

「下伊那歴史探求のあゆみ」 出品リスト 令和 7 年11月23日(日)～令和 8 年 2 月23日(月・祝)

資料名	制作年代	材質	員数	所蔵者
「伊奈郡郷村鑑」	元文 6 年 (1741)	紙本墨書	1 冊	本館蔵
「伊那旧事記」	大正 2 年 (1913) 写本	紙本墨書	4 冊	本館蔵
市村咸人所用のカメラ			1 台	下伊那教育会蔵
「先原調査野帳」(市村咸人調査ノート)		ノート・ペン	1 冊	下伊那教育会蔵
市村咸人肖像写真			1 点	下伊那教育会蔵
市村咸人自筆原稿『宗良親王御遺跡の研究』	昭和18年 (1943)	原稿用紙・ペン	1 冊	本館蔵
『山邨』創刊号		冊子	1 冊	本館蔵
『伊那』(廃刊号)	昭和19年 (1944) 3 月	冊子	1 冊	本館蔵
『伊那』(復刊号)		冊子	1 冊	本館蔵
『伊那』(1000号)		冊子	1 冊	本館蔵
『下伊那郡誌資料』(第三輯)	明治44年 (1911) 12月	冊子	1 冊	本館蔵
『下伊那史』		冊子	9 冊	本館蔵

「大型屋台獅子の誕生とひろがり」 出品リスト 令和 8 年 3 月 7 日(土)～5 月24日(日)

資料名	制作年代	材質	員数	所蔵者
大島山の獅子舞 獅子頭	享保17年 (1732)	木造彫眼	1 面	大島山瑠璃寺
宇天王	享保10年 (1725)	木造彫眼	1 面	大島山瑠璃寺
陵王	享保12年 (1727)	木造彫眼	1 面	大島山瑠璃寺
猿	江戸時代	木造彫眼	1 面	大島山瑠璃寺
衣装	江戸時代	絹織物	1 式	大島山瑠璃寺
「万覚書」	江戸時代・18世紀	紙本著色	1 冊	大島山瑠璃寺 (本館寄託)
「年歴私記」	江戸時代・18世紀	紙本著色	1 冊	大島山瑠璃寺 (本館寄託)
『信濃奇勝録』	天保5年 (1834) 脱稿	版本	1 冊	本館
松一獅子関係資料	昭和30年代	冊子	3 冊	本館
後藤伊作肖像	昭和27年 (1952)	紙本著色	1 面	上殿岡区
大平の獅子舞 獅子頭 (付木箱箱)	昭和26年 (1951) 作か	木造彫眼	1 面	個人

柳田國男館・遠山郷土館・まつり伝承館「天伯」

本館で開催したトピック展示の巡回展示や遠山谷をテーマとした展示を①～③の3本開催した。

(1) 遠山郷土館ロビー展

- 「伊那谷でちかごろ目立つ外来生物」 令和7年2月22日(土)～6月6日(金) ※前年度からの続き
- ①「南アルプスジオパークジオサイトを巡る」 令和7年6月7日(土)～9月26日(金)
- ②「秋葉街道」 令和7年9月27日(土)～令和8年1月21日(水)
- ③「柳田国男と南信州」 令和8年1月24日(土)～5月21日(水)

(2) 上村まつり伝承館「天伯」ロビー展

- 「飯田下伊那における疫病」 令和7年2月22日(土)～6月6日(金) ※前年度からの続き
- ①「伊那谷でちかごろ目立つ外来生物」 令和7年6月7日(土)～9月26日(金)
- ②「南アルプスジオパークジオサイトを巡る」 令和7年9月27日(土)～令和8年1月21日(水)
- ③「秋葉街道」 令和8年1月24日(土)～5月21日(水)

その他の展示

こども美術学校・中学生造形教室作品展（美術）

会 期 令和8年2月6日(金)～2月23日(月・祝)

会 場 市民ギャラリー

主 催 飯田市美術博物館

内 容 5月から9月まで実施した「こども美術学校」と、5月から10月まで実施した「中学生造形教室」における製作物を紹介した展覧会。こども美術学校は6種360点、中学生造形教室は4種44点の作品を展示した。

観 覧 者 719人

藤本四八記念小中高生写真賞展（人文）

会 期 [美 博 展] 令和8年2月6日(金)～2月23日(月・祝)
[信金本店展] 令和8年3月2日(月)～3月13日(金)

会 場 飯田市美術博物館ロビー・飯田信用金庫本店

内 容 令和7年9月から11月にかけて募集した「藤本四八記念小中高生写真賞」の応募作品を展示した。本年度は美術博物館、飯田信用金庫本店へ巡回した。

2. プラネタリウム事業

1 年間テーマ

令和7年度は、「太陽系」をテーマとし、地球の自然環境番組を含めて投影を行った。

2 プラネタリウム投影

(1) 一般投影

市民の宇宙天文への興味関心を高めることを主たる目的として、星空解説・一般番組・オリジナル番組を組み合わせ投影した。

平日：予約投影のみ

土・日・祝日・長期休み：10時30分～、13時30分～、15時～

定員：90名

投影時間：午前10時30分の回は、星空解説と幼児向け番組で約30分の投影。午後1時30分の回は、星空解説、一般番組の45分、午後3時の回では星空解説と一般番組に加えて、オリジナル番組を組み合わせ1時間の投影。

	投影時刻	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
土・日・祝 学校長期休み	10:30～ 11:00	プラネタリウムで チョコちゃんに 叱られる！2		北極 輝ける氷の王国			ねずみと 森のなかまたち			こぐま座のティオ 星空だいぼうけん		プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型	
	11:30～ 12:15	特別投影・予約投影											
	13:30～ 14:15	イナズマデリバリー バイザウェイの 宇宙旅行？！		プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型			ムーンベース ～月面基地の ミライ～			プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型		こぐま座のティオ 星空だいぼうけん	
	15:00～ 16:00	虹の天象儀／ 博物館の父 田中芳男		マーズ1001 火星に舞い降りる日／ 風越山（6・7月）、 人形劇のまち飯田（8月）			北極 輝ける氷の王国／ 御池山隕石クレーター （9・10月）、 遠山霜月祭（11月）			ムーンベース ～月面基地のミライ～／ 遠山霜月祭（12月）、 しらびそ高原の四季 （1・2月）		北極 輝ける氷の王国／ 飯田 さくらものがたり	
平日	10:00～ 16:45	予約投影											

(2) 予約投影・学習投影

予約投影は希望日の3ヶ月前から1週間前までの期間に、以下の時間帯で10名以上で申込が可能。

【平日】10時30分～16時45分 【土日祝、小中学校の長期休み】11時30分～12時15分

(3) 特別投影

① お誕生日月の星座

お誕生月のこどもへお祝いコール、季節の星座や注目したい天文現象など生解説で紹介。

「春生まれさんあつまれ！」 令和7年4月26日（土）11時30分～12時15分 観覧者：22人

「夏生まれさんあつまれ！」 令和7年7月26日（土）11時30分～12時15分 観覧者：39人

「秋生まれさんあつまれ！」 令和7年10月25日（土）投影機器不調で中止

「冬生まれさんあつまれ！」 令和8年1月24日（土）11時30分～12時15分 観覧者：22人

② 四季の星座解説

季節の星座や注目したい天文現象など生解説で紹介。

四季の星空 春「春の星座とスターナビゲーション」 令和7年4月27日（日）15時00分～15時45分

観覧者：16人

四季の星空 夏「宮沢賢治“銀河鉄道の夜”でたどる夏の星座」 令和7年7月27日(日) 15時～15時45分
観覧者：39人
四季の星空 秋「秋の星座と天文現象 彗星・系外天体」 令和7年11月1日(土) 15時～15時45分
観覧者：26人
四季の星空 冬「残念な英雄オリオンー冬の星空に残された謎ー」 令和8年2月1日(日) 15時～15時45分
観覧者：34人

③ 春草ウィークに合わせたオリジナル番組「菱田春草の青春」

期 間：令和7年9月17日(水)～23日(火) 11時30分～12時

内 容：オリジナル番組「菱田春草の青春」の無料投影と美術学芸員による菱田春草の解説を行う。

観覧者：52人

④ 特別投影「ぐっすりプラ寝タリウム」

期 間：令和7年11月23日(日) 15時～16時

内 容：音楽とアロマの香りで眠るプラネタリウム

観覧者：25人

⑤ 防災イベント「もしも、に備えよう！」

- ・番組投影「星よりも、遠くへ」(東日本大震災のプラネタリウム番組(仙台市天文台制作))

観覧者：29人(3回合計)

日 時：令和8年2月21日(土)・22日(日)・23日(月・祝) 11時30分～12時20分

- ・防災ミニ展示

期 間：令和8年2月17日～23日

会 場：プラネタリウム室前ロビー

協 力：飯田市危機管理室

(4) 年間投影回数・観覧者数

総投影回数479回 観覧者12,655人

3 オリジナル番組

新規番組の制作は行わず、これまでに制作したオリジナル番組を一般投影や予約投影で利用や、他のプラネタリウム施設等へ番組データの貸し出しを行った。

3. 教育普及事業

1 講演会・シンポジウム・講座・見学会・報告会など

美術分野

(1) 展覧会付属事業

① 企画展 写真家60周年記念展「水谷章人の世界」ギャラリートーク 1

期 日：令和8年1月10日（土）14時～15時

講 師：水谷章人氏（写真家）

会 場：展示室A・展示室B

内 容：水谷氏本人によるギャラリートーク。実際の写真を前に、撮影技術についてや撮影当時のエピソードを語っていただいた。

聴講者：59人

② 企画展 写真家60周年記念展「水谷章人の世界」ギャラリートーク 2

期 日：令和8年2月7日（土）15時30分～16時30分

講 師：水谷章人氏（写真家）

会 場：展示室A・展示室B

内 容：水谷氏本人によるギャラリートーク。実際の写真を前に、撮影技術についてや撮影当時のエピソードを語っていただいた。

聴講者：45人

③ 第25回現代の創造展 ギャラリートーク

期 日：令和7年11月29日（土）・12月7日（日） いずれも13時30分～14時30分

講 師：現代の創造展出品作家

会 場：展示室

内 容：現代の創造展実行委員会による企画。20人の出品作家が各3分ずつ自作を解説するギャラリートークをおこなった。

聴講者：100人（11月29日 52人、12月7日 48人）

④ 現代の創造展 中学生一日学芸員・高校生一日学芸員

期 日：令和7年11月29日（土）10時～11時30分（中学生一日学芸員）

令和7年12月7日（日）10時～11時30分（高校生一日学芸員）

案 内：美博専門研究員（手塚俊尚）

会 場：展示室

内 容：現代の創造展実行委員会による企画。各展示室を鑑賞後、それぞれの学生が魅力を感じた作品についての発表をおこなった。

参加者：25人（中学生 13人、高校生 12人）

(2) 美術講演会「私の作品制作とアートの思考」

期 日：令和8年3月28日（土）13時30分～15時

講 師：蜂谷充志（本館館長・常葉大学造形学部教授）

会 場：講堂

内 容：蜂谷館長は1980年代の表現主義の動向から影響を受け、表現手法は油絵からミクストメディア、インスタレーションへと変遷した。講演では制作してきた作品の紹介やアートについての思考などを解説した。

聴講者：24人

(3) 春草講座

菱田春草に関する連続講座。学芸員が講師となり、春草にまつわる話題を提供した。令和7年度は明治期に春草に対してなされた批評を紹介した。

① 第1講「春草と批評－明治30年代－」

期 日：令和7年9月14日（日）13時30分～15時

講 師：小池朋実（本館学芸員）

会 場：講堂

内 容：明治時代、当時の春草に対する批評を追う連続講座。第1講では東京美術学校卒業時から欧米外遊時までの作品とその批評を辿った。作品は明治28年卒業制作《寡婦と孤児》、《水鏡》、《菊慈童》、《王昭君》など、朦朧体時代の作品を中心に紹介した。

聴講者：12人

② 第2講「春草と批評－明治40年代－」

期 日：令和7年10月26日（日）13時30分～15時

講 師：小島 淳（本館学芸員）

会 場：講堂

内 容：明治時代、当時の春草に対する批評を追う連続講座。第2講では五浦への移住時期から晩年の作品とその批評を辿った。作品は《賢首菩薩》、《落葉》、《黒き猫》の文展出品作品を中心に紹介した。

聴講者：13人

(4) 美術鑑賞の会

夜間開催の鑑賞会。学芸員などの解説付きで展覧会を鑑賞した。定員は20人としている。

① 第42回「春草の外遊／抽象画の鑑賞」

期 日：令和7年8月22日（金）18時30分～20時

案 内：小池朋実・小島 淳（本館学芸員）

会 場：菱田春草記念室・展示室A

内 容：春草常設展示第54期「外遊－海を望んで－」、コレクション展示「H o t & C o o l－須田剋太とオノサト・トシノブの抽象－」の解説を行った。

参加者：6人

② 第43回「写真鑑賞・水谷章人の世界」

期 日：令和8年1月30日（金）18時30分～20時

案 内：水谷章人氏（写真家）

会 場：展示室A・展示室B

内 容：水谷氏本人によるギャラリートーク。実際の写真を前に、撮影技術についてや撮影当時のエピソードを語っていただいた。また参加者からの質問も受け付け、懇談していただいた。

参加者：16人

(5) 日本画実技講座

日本画家の滝沢具幸氏を講師として、平成28年度から実施している日本画の実技講座。初心者から経験者まで参加でき、日本画の様々な技法を実践した。

期 日：令和8年3月7日（土）10時～16時40分

令和8年3月8日（日）9時40分～16時40分

講 師：滝沢具幸氏（本館顧問）

会 場：科学工作室

内 容：事前に描きたいモチーフのスケッチ等を用意し、6号程度の麻紙ボードへ主に水干絵具で描いた。半数の受講者は日本画が初めてということだったが、描くことへのきっかけづくりになった。

参加者：20人（7日10人、8日10人）

(6) 春草ウィーク特別投影

菱田春草の誕生日（9月21日）と命日（9月16日）を含む一週間（令和7年9月17日～9月23日）を「春草ウィーク」に設定し、美術博物館の観覧料を無料とした。またこの期間中、プラネタリウムで春草番組の無料特別投影をおこない、その解説をおこなった。

投 影：令和7年9月17日（水）～9月23日（火・祝）11時30分～12時

番組名：菱田春草～永遠の時を越えて～

解 説：小池朋実・小島 淳（本館学芸員）

会 場：プラネタリウム

参加者：52人（17日4人、18日12人、19日3人、20日8人、21日10人、23日15人）

人文分野

(1) 美博文化講座

主に文化トピック展示のテーマに沿った内容のほか、飯田・城下町サポーターの案内による見学会を実施した。

時 間：午後1時30分～午後3時（見学会：午前9時30分～12時）

会 場：講堂

①「田中芳男とりんご並木」（見学会）

案 内：飯田・城下町サポーターの皆さん

期 日：令和7年5月18日（日）

内 容：「田中芳男と国際博物館の日」にちなみ、「日本の博物館の父」田中芳男が生まれ育った飯田の町並みと、田中が国内の西洋りんご普及に貢献したことからりんご並木の案内を行った。この見学会は、計画から実施まで「飯田・城下町サポーター」の皆さんが主体となって行われた。

参加者：31人

②「人知れぬ海のいのちー自然を生きる漁師の心意ー」（伊那民俗学研究所共催事業）

期 日：令和7年5月25日（日）

講 師：川島秀一氏（東北大学災害科学国際研究所シニア研究員）

内 容：具体的な事例を通して漁師がもつ「自然観」についてお話しいただき、自然環境と人びととの関係を考える機会とした。

参加者：42人

③「日夏耿之介の足跡を訪ねて」（見学会）

期 日：令和7年6月15日（日）

案 内：織田顕行（本館学芸員）

内 容：日夏耿之介の命日にあたる6月13日の前後に、日夏ゆかりの碑をめぐる見学会を毎年開催している。今回も同様に、墓参を兼ねてその文学と人となりに触れる機会とした。

参加者：10人

④「田中芳男と博覧会・博物館」

期 日：令和7年7月27日（日）

講 師：杓名貴彦氏（国立科学博物館産業技術史資料情報センター科学技術史グループ長）

内 容：明治政府のもと、国内外で数々の博覧会や博物館に関わってきた田中芳男が果たした役割について、科学技術史視点からお話しいただいた。

参加者：32人

⑤「城下町のライフライン 『御用水』を訪ねてー橋北地区を中心にー」（見学会）

期 日：令和7年11月2日（日）

案 内：飯田・城下町サポーターの皆さん

内 容：生活に必要な水を確保するために飯田の城下町に引かれた「御用水」とその周辺の遺構や史跡、

とくに橋北地区を中心に訪ね歩いた。御用水は、案内をしていただいた「飯田・城下町サポーター」にとって重要な研究テーマでもある。

参加者：18人

⑥「下伊那史を支えた人々」

期 日：令和7年12月21日（日）

講 師：伊坪達郎（下伊那史編纂委員長、飯田市歴史研究所所長）

内 容：『下伊那史』は、これまで市村咸人、宮下操、塩沢正人の3人がそれぞれの巻を1人で書いたような印象が強かったが、彼らの周囲で協力した人たちの動きもわかってきた。このことを踏まえ、本講座では『下伊那史』がどのようにして完成したのか、これまでとはやや異なる視点から繙いていただいた。

参加者：21人

⑦「大型屋台獅子の誕生とひろがり」

期 日：令和8年3月22日（日）

講 師：近藤大知（本館学芸員）

内 容：飯田下伊那地域を中心に分布する大型屋台獅子の歴史について、高森町大島山の瑠璃寺と同書の獅子舞との関係を中心に解説した。

参加者：47人

(2) ゼロから始める古文書

歴史研究所との連携事業として古文書講座を実施。講座を続ける中で課題となっていた、初心者レベルよりも習熟した受講者の受け皿をどうするかという解決案として、今年度から新たな試みとして年度の前半を初級（入門講座）、後半に中級（ステップアップ講座）の二段階に分けて講座を実施することとした。

期 日：1班 毎月第2水曜日（8月は20日）

2班 毎月第3土曜日（8月は23日）

講 師：歴史研究所・本館職員

会 場：講堂

(3) 遠山郷土館学習講演会

遠山郷土館で開催のトピック展示や遠山に関するテーマで開催。

① 4月19日（土） トピック展示解説・見学会

講師：四方圭一郎（本館学芸員） 参加者：20名

② 11月29日（土） 「“上島の霜月祭”を見る」（映像上映会）

解説：櫻井弘人氏（國學院大学兼任講師） 参加者：17人

③ 2月21日（土） 「“秋葉山”参詣の資料を読む」

講師：近藤大知（本館学芸員） 参加者：20人

自然分野

(1) 自然講演会

① 「化石タイムカプセル ―球状コンクリーションの謎をとく―」（伊那谷自然友の会と共同開催）

日 時：令和7年5月6日（火・祝）14時～15時30分

会 場：講堂

講 師：吉田英一氏（名古屋大学博物館教授）

内 容：球状コンクリーションとは、保存良好な化石を内包する炭酸カルシウム（ CaCO_3 （方解石））を主成分とする自然の球状岩塊のことである。非常に長い時間をかけて形成されると思われてきたが、数週間～数ヶ月で、メートルサイズのものでも数年でできることを解き明かされた。そのメカニズムとコンクリーション化剤の応用に関する、研究の最前線について紹介された。

聴講者：51人（対面45人、オンライン6人）

②「高山の生き物の魅力と地球温暖化」

日 時：令和7年8月23日（土）13時30分～16時

会 場：講堂

講 師：尾関雅章氏（長野健環境保全研究所主任研究員）
浜田 崇氏（長野県環境保全研究所自然環境部長）

内 容：尾関さんからは、高山植物やライチョウなど、高山帯に遺存的に生息している生き物たちの価値や魅力についてお話しいただいた。浜田さんからは、野外での気象観測データを踏まえながら、温暖化の進行が高山の生き物に与えるであろう影響について紹介していただいた。

聴講者：51人（対面36人、オンライン15人）

(2) 自然講座（伊那谷自然友の会と共同開催）

講座は本館講堂で行い、一部を除き、対面とオンライン配信を併用して実施した。

①「飯田市天竜川西側を流れる2種類の地下水」

期 日：令和7年5月17日（土）13時30分～15時

講 師：今村幸治氏（宮下製氷冷蔵株式会社）

内 容：飯田市の天竜川西岸には、2種類の水質が異なる地下水が流れている。どうして水質が異なる結果になったのかを調べていくと、約80km離れた諏訪地方の火山活動が関与していることが分かって来た。伊那谷の地質の特徴と我々の足元を流れている地下水との関連についてお話しいただいた。

聴講者：46人（対面36人 オンライン10人）

②「南アルプスの山々ができるまで」

期 日：令和7年6月14日（土）13時30分～15時

講 師：宮崎裕子氏（大鹿村中央構造線博物館）

内 容：南アルプスの山々がどうやってできたのか？ 初心者向けに、わかりやすくお話しいただいた。

聴講者：68人（対面54人 オンライン14人）

③「伊那谷の植物化石が語ること ―本草学から近代科学まで―」

期 日：令和7年7月5日（土）13時30分～15時

講 師：矢部 淳氏（国立科学博物館）

内 容：伊那谷は、様々な化石が見つかる地域として、江戸時代の本草学者たちによく知られていた。以来、地域の化石がどのように調べられて、現在の科学に活かされてきたかを、国立科学博物館の植物化石標本をもとに紹介された。

聴講者：44人（対面34人、オンライン10人）

④「南アルプス博物学の120年 ミニ講座＋展示解説」

期 日：令和7年8月22日（金）18時30分～20時

講 師：四方圭一郎（本館学芸員）

内 容：企画展「南アルプス博物学の120年」について、講堂でタカネマンテマの発見とキタダケヨトウの再発見について30分お話した後、企画展示室で1時間の展示解説を行った。

聴講者：25人

⑤「地形に残された災害の痕跡 ―CS立体図を使った地形判読―」

期 日：令和7年8月30日（土）13時30分～15時

講 師：戸田賢一郎氏（株式会社 ジオ・フォレスト）

内 容：地形を注意深く読み解くと、その場所で過去に発生した災害を理解し、将来発生する災害の危険性を推測することができるが、従来の等高線による地形図を判読するには高度な技術と経験が必要であった。地形判読を容易にするために開発した微地形表現図のCS立体図を用いた地形判読の方法と、中央構造線沿線に見られる地形について紹介された。

聴講者：39人（対面26人、オンライン13人）

⑥「遠山郷かぐらの湯は特異な泉質と地質であると判明」

期 日：令和7年9月6日(土) 13時30分～15時

講 師：坂本正夫氏(本館客員研究員)

内 容：遠山郷かぐらの湯の掘削のためのボーリング調査で、1300mの深さまで調査された。それによって明らかになった地質の特性と、汲み上げられた温泉の特異な泉質についてお話された。

聴講者：53人(対面40人、オンライン13人)

⑦「病気を媒介する野外の生き物ーダニ・ツツガムシなど」

期 日：令和7年10月18日(土) 13時30分～15時

講 師：塚平晃弘氏(飯田市上村診療所 医師)

内 容：地域でダニが運ぶ感染症の種類と危険性、診断治療・予防方法、非加熱の水に潜む危険性について具体例を出しながら紹介され、注意を喚起された。

聴講者：50人(対面35人、オンライン15人)

⑧「アジア・太平洋戦争末期の隠された大地震」

期 日：令和7年10月25日(土) 13時30分～15時

講 師：下平 勉氏(伊那谷自然友の会)

内 容：「1944東南海地震」および「1945三河地震」は、戦時言論統制によってほとんど報道されず、飯伊地域では顕著な人身被害も確認されずにきた。この地震は「南海トラフ巨大地震」の一つ前の地震にあたることから、その経験を継承することの必要性についてお話された。

聴講者：23人

⑨「オオセンチコガネー生態観察から絵本の作成までー」

期 日：令和7年11月8日(土) 13時30分～15時

講 師：館野 鴻氏(画家・絵本作家)

内 容：「うんこ虫」であるオオセンチコガネの、ほとんど知られていなかった生態を飼育実験によって明らかにしそれを絵本にして出版された。知られざるオオセンチコガネの生態や苦労した飼育の様子について紹介された。

聴講者：32人(対面23人、オンライン9人)

⑩「ヤイロチョウの話」

期 日：令和7年12月20日(土) 13時30分～15時

講 師：植松永至氏(日本鳥類学会会員)

内 容：鮮やかな色彩と姿を見ることがまれなことから、森の妖精とも呼ばれているヤイロチョウについて、30年以上渡る調査経験を元にその生態について紹介された。

参加者：28人

⑪「ハナアブ図鑑を作る！」

期 日：令和8年1月17日(土) 13時30分～15時

講 師：酒井淳一氏(エコベッツ自然史研究所 双翅目研究家)

内 容：ハナアブをめぐる、花との秘密の関係や幼虫たちの驚くべき生態、家の庭先から伊那谷の大自然に生きるハナアブまで、知られざるハナアブの世界を紹介された。

参加者：47人(対面29人、オンライン18人)

(3) 伊那谷自然史発表会(伊那谷自然友の会と共同開催)

伊那谷の自然愛好者たちや研究者たちが、それぞれの研究や活動の内容を紹介したり情報交換したりするイベント。実物標本、ポスター、写真などを展示して交流した。

参加者がテーマ：大地と生き物の多様性

期 日：令和8年3月14日(土) 13時30分～15時30分

参加者：31人

(1) 星空観望会

季節ごとの星座や天体、話題の天文現象などを観望する。科学工作室と屋上を使って開催した。

協力：平沢広行氏・奥村茂実氏・（飯田御月見天文同好会）、三村真由美氏（飯田天文ネットワーク）

- ①「月と春の星座」 令和7年5月2日（金）19時30分～21時 17人参加
- ②「天の川と七夕の夜」 令和7年7月5日（土）19時30分～21時 32人参加
- ③「太陽黒点観測会」 令和7年8月16日（土）～17日（日）10時～11時（晴天時のみ） 40人参加（延べ）
- ④「秋の星座と土星」 令和7年10月10日（金）18時30分～20時 32人参加
- ⑤「冬の星座」 令和7年12月14日（日）19時～20時30分 28人参加
- ⑥「皆既月食」 令和8年3月3日（火）19時～21時 雨天中止

(2) 防災イベント

防災意識を高め学んでもらう。

- ① 特別投影「星よりも遠くへ」

令和8年2月21日（土）・22日（日）・23日（月・祝）11時30分～12時50分 29人参加

- ② 防災ミニ展示 令和8年2月17日（火）～2月23日（月・祝）

(3) プラネタリウムまつり

無料投影と天文講演会を行い、市民の日頃の利用に感謝する。またプラネタリウムへの興味関心を高め、プラネタリウムを通して美術博物館を身近に利用するきっかけとする。

日時：令和8年3月20日（金・祝）

- ① プラネタリウム番組の投影（当日整理券配布）10時～11時30分

「たいうようくんとおつきちゃん」

「ムーンベース ～月面基地のミライ～」

観覧者：82人（2番組合計）

- ② 天文講演会 13時30分～15時

「わくわく月世界ツアー」

講師：大川拓也氏（天文解説者・宇宙航空開発機構勤務）

内容：日本の月探査の現在とこれからについての講演と、探査ロボットSORA-Q（レプリカ）の実演。

参加者：23人

2 こども向け事業

本年度は、こども向け事業として①～⑧の行事を実施した。行事ごとにチラシの作成・配布をおこない、親子での参加を促す情報発信に力を入れた。これらの事業のうち「こども美術学校・中学生造形教室作品展」と「藤本四八記念小中高校生写真賞作品展」を「こども×びはく2026」とし、まとめて情報発信をおこなった。

- ① こども美術学校
- ② 中学生造形教室
- ③ 親子鑑賞教室
- ④ こども美術学校・中学生造形教室作品展
- ⑤ 子ども科学工作教室
- ⑥ プラネタリウムまつり
- ⑦ 藤本四八記念小中高生写真賞
- ⑧ ワクワクびはくで夏休み2025

(1) こども美術学校

小学生4～6年を対象とした図画工作の講座で、平成14年度からの継続事業。各回に様々なプログラムを組んで造形に挑み、鑑賞授業もおこなった。また年度末には成果作品の展覧会も実施した。

実 施：21回（3クラス各7回）

参加者：在籍63人（A組21人、B組20人、C組22人）のべ423人、6種360点を製作

講 師：手塚俊尚（本館専門研究員）

会 場：科学工作室ほか

回数	クラス	実施日	参加者	活 動 内 容
第1回 (63人)	A組	5月18日(日)	21人	○開校式 写生「友達の顔」
	B組	5月24日(土)	19人	
	C組	5月25日(日)	23人	
第2回 (65人)	A組	6月14日(土)	21人	水墨画「竜の子太郎」
	B組	6月15日(日)	20人	
	C組	6月22日(日)	21人	
第3回 (65人)	A組	7月12日(土)	22人	スチレンボード版画「いろいろ写して」
	B組	7月13日(日)	19人	
	C組	7月27日(日)	20人	
第4回 (65人)	A組	8月17日(日)	17人	陶芸「つつ形の花びん」
	B組	8月23日(土)	18人	
	C組	8月24日(日)	27人	
第5回 (63人)	A組	9月13日(土)	12人	絵画「ふしぎ山の物語」 ○親子鑑賞会
	B組	9月14日(日)	21人	
	C組	9月21日(日)	25人	
第6回 (64人)	A組	10月18日(土)	19人	立体「名画のステージ」1
	B組	10月25日(土)	20人	
	C組	10月26日(日)	19人	
第7回 (63人)	A組	11月8日(土)	17人	立体「名画のステージ」2 ○閉校式

活動内容は、小学校の図画工作科の補足的・発展的な内容で、多様な個性が発揮できるような活動を実施した。当館が菱田春草を中心とした日本画の展示が主なため、水墨画表現に挑戦させたり、学校では実施することが少なくなった陶芸に挑戦したり活動内容に特徴を持たせている。

9月の活動後には親子で菱田春草常設展示第55期「紅葉－静寂の時－」を鑑賞した。また年度末の令和8年2月6日から2月23日までの期間、市民ギャラリーにおいて完成作6種類360点を展示した。

(2) 中学生造形教室

中学生を対象とした絵画・工作の造形講座で、令和4年度より開始した。各回に様々なプログラムを組んで造形に挑み、鑑賞授業もおこなった。また年度末には成果作品の展覧会も実施した。

実 施：4回

参加者：在籍11人、のべ42人、4種44点を制作

講 師：手塚俊尚（本館専門研究員）

会 場：科学工作室

回数	実施日	参加者	活動内容
第1回	6月8日(日)	11人	○開校式 墨絵で抽象表現「墨と水が描く世界」
第2回	7月5日(土)	10人	多色刷り木版画「主人公を決めて」
第3回	8月10日(日)	10人	陶芸「私の人形」
第4回	9月28日(日)	11人	日本画で描く「幻想の世界」 ○親子鑑賞教室

活動内容は、中学校の美術の補充的・発展的な内容である。9月の活動後には親子で菱田春草常設展示第55期「紅葉－静寂の時－」を鑑賞した。また、年度末の令和7年2月6日から2月23日までの期間、市民ギャラリーにおいて完成作4種類44点を展示した。

(3) 親子鑑賞教室

こども美術学校および中学生造形教室の活動の中で、開催中であった菱田春草常設展示第55期「紅葉－静寂の時－」の鑑賞をおこなった。

子ども美術学校の親子鑑賞授業：9月13日(A組)、9月14日(B組)、9月21日(C組)

中学生造形教室の親子鑑賞授業：9月28日

(4) 展覧会「こども美術学校・中学生造形教室作品展」

期 間：令和8年2月6日(金)～2月23日(月・祝)

会 場：市民ギャラリー

内 容：こども美術学校の完成作品6種360点と、中学生造形教室の完成作4種44点を展示。

自然分野

(1) 子ども科学工作教室（飯田市工業課、長野県南信州地域振興局と共催）

会 場：エス・バード

<1回目>

日 時：令和7年9月6日(土) 9時～13時

・プログラミングロボット コードランナーを作ろう

・塩水でトコトコ歩く しおまるを作ろう

参加者：50人

<2回目>

日 時：令和7年11月15日(土) 9時～13時

・天体望遠鏡を作ろう！

・太陽電池でスペースロボを動かそう

参加者：50人

3 藤本四八記念小中高校生写真賞

本賞は、第6回（H19年度開催）藤本四八写真文化賞の一部門として設置されたのをはじまりとし、平成22年度から独立して毎年開催、平成29年度から飯田市出身の写真家藤本四八を記念する賞となる。こどもたちを対象とする賞は、飯田市が掲げる「地育力向上」に直結する事業といえる。飯田信用金庫協賛。

今回は総点数96点（小学生の部44点、中学生の部8点、高校生の部44点）の応募があった。

審 査 員：水谷章人氏（飯田市出身写真家・日本スポーツ写真協会名誉会長）

熊谷邦千加（飯田市教育長）

蜂谷充志（飯田市美術博物館館長、常葉大学教授）

応募作品：総点数：59名／96点

(小学生：26名／44点 中学生：5名／8点 高校生：28名／44点)

写真賞：小学生・中学生・高校生ごとに作品を募集し、「藤本四八記念賞」「しんきん大賞」「水谷章人特別賞」「教育長賞」「館長賞」を選出して表彰する。

募集期間：令和7年9～11月

審査賞：藤本四八記念賞 1名

小・中・高校生の部 (①しんきん大賞・②水谷章人特別賞・③飯田市教育長賞・④美博館長賞)
各1名、ただし、本年度の中学生の部は①・②のみ

表彰式：令和8年2月7日(土) 会場：美術博物館

作品展示：令和8年2月6日(金)～2月23日(月・祝) 美術博物館

令和8年3月2日(月)～3月13日(金) 信金本店展

協賛：飯田信用金庫

4 ワクワクびはくで夏休み2025

こどもたちに美博に親しんでもらうためのイベント。コロナ禍中に美博まつりの規模を縮小した形で実施するにあたりイベント名称を変更した。

日 時：令和7年8月2日(土) 9時30分～17時

参加者数：469人(延べ)

イベントリスト		開催場所	開催回数
1	化石レプリカを作ろう	科学工作室	4回
2	とう写(こすり出しお絵かき)と、ミニ博物館たんけん～日本の博物館の父にちょうせん～	市民ギャラリー	4回
3	古い建物の模型を作ろう	市民ギャラリー	3回
4	とうめいボトルでコケリウム	1階ロビー	4回
5	へんてこマスコットをつくろう	講堂	3回
6	ミニプラネタリウムをつくろう	講堂	3回
7	ドキドキびはく名所ツアー	館内各所	1回
8	パクパクおししをつくろう	柳田國男館	2回
9	クイズラリーびはく探検の旅	各ワークショップ	随時
10	ワクワクプラネタリウム	プラネタリウム室	4回
11	星空ヒーリングスペースー天歩ー	プラネタリウム室	1回



5 びはく学芸祭2026

美術博物館では、平成15年度から19年度まで「研究活動報告会」、20年度から令和3年度まで「びはく学芸祭」、令和4年度は「美博スタッフの研究活動紹介」、令和5年度は「美博スタッフの研究活動紹介」と「びはく学芸祭」を開催してきた。これは本館職員や、本館と関連する団体・研究者の方々がおこなった調査研究活動の内容を、口頭発表やポスター発表によって紹介するものである。令和6年度から再び「びはく学芸祭」とし、本年度はポスター展示とポスターセッションをおこなった。

(1) ポスター展示

期 間：令和8年3月14日（土）～令和8年3月29日（日）

会 場：ロビー東側

発表内容：以下のポスター18件を展示した。

【自然分野】		
1	四方圭一郎（本館学芸員） 矢後勝也（東京大学総合研究博物館）	ウスズミケンモンとマダラウスズミケンモンは同種だった！
2	川谷文子（本館学芸員）	中新世日本海に生息した“巨大”パレオパラドキシア類について
3	村松 武（本館専門研究員）	赤石山地の隆起－水準測量から描く100年間の上下変動－
4	坂口江実（本館専門研究員） 米山富和（本館客員研究員） 前 裕治（恩がえしIILA）	長野県初！イソヒヨドリの繁殖記録
【人文・考古分野】		
5	織田顕行（本館学芸員）	歴史から姿を消した複写技法－田中芳男が駆使した「撮写法」とは－
6	近藤大知（本館学芸員）	遠山谷における「皮箕」
7	中山京子（本館専門研究員）	飯田下伊那に遺るたばこ倉
8	岩田会津（歴史研究所研究員）	久保田正吉とその建築
9	伊藤 悠（歴史研究所研究員）	松川入の山林はどのように利用されてきたのか－明治～昭和初期－
10	前澤 建（歴史研究所特任研究員）	明治年間宮澤鐘太郎の学び－島地五六 算術－
11	竹村雄次（歴史研究所特任研究員）	飯田歌舞伎座－明治の幻の大劇場－
12	加藤大智（飯田市文化財保護活用課）	長野県下における石鏃形態の多様性とその傾向
13	北原いずみ（飯田柳田國男研究会）	死後の魂はどうなるの？－『先祖の話』より－
14	飯田・城下町サポーター	令和7年度の飯田城下町サポーターの取り組み
15	楨村洋介（本館副館長）	柳田國男ゆかりサミットに参加して
【美術分野】		
16	小島 淳（本館学芸員）	菱田春草と古典文学－『落葉ノート』記載の謡曲・漢詩より－
17	小池朋実（本館学芸員）	作品を探る－春草とアジャント－壁画模写－
18	矢澤正彦（元美術博物館協議会委員）	川路農美の活況とその展開

(2) ポスターセッション（ポスター発表）

期 間：令和8年3月21日（土）13時30分～15時00分

会 場：ロビー東側（ポスターセッション）

発表内容：展示したポスターについて、発表者が解説をおこなった。※タイトルは上記ポスター展示を参照
参加者数：45人

6 レファレンスサービス

本館の学習室では、情報提供を目的とした資料・専門図書のデータベース化を進めつつ、その一部の図書についてのレファレンスサービスを平成12年からおこなっている。また平成24年度からは「南信州図書館ネットワーク」に参加しており、美術博物館・飯田市考古博物館とともにインターネット上の蔵書検索ができるようになった。

閲覧は無料、コピーは原則有料。公開しているものは、美術・人文・自然分野の参考図書、逐次刊行物・本館刊行物（図録・研究報告など）、および古生物・脊椎動物分野の専門書を主とする長谷川文庫（寄託）の一部、地質分野の山田文庫（寄贈）の一部、などである。

令和7年1月以降、従来の土・日祝日のみの開館から、開館日9時30分から12時および13時～17時の利用時間を設けて開室した。

開室日数：美術博物館の開館日に準じて開室

利用者数：1,849人

7 電子顕微鏡の利用

自然に関する調査研究と教育普及のために、平成5年に科学工作室に走査型電子顕微鏡を設置した。本年は以下のような利用がなされた。

(1) 電子顕微鏡観察教室

日 時：4月～11月の第1第3日曜日 午前11時～12時、午後2時～15時

講 師：学芸員および専門研究員

会 場：科学工作室

内 容：来館者を対象に、電子顕微鏡を使って昆虫や花粉、微化石などの微の世界の面白さを紹介した。

回 数：25回

参加者：96人（延べ）

(2) 電子顕微鏡の一般・団体利用

期 日：令和7年7月8日、12月6日、令和8年2月10日、3月31日

回 数：4回

利用者：10人（延べ）

8 学習・研究団体への支援、館外事業への協力

共 通

① 伊那谷研究団体協議会への協力

飯田下伊那の民間研究団体の協議会「伊那谷研究団体協議会」の活動について、本年度も総会などに会場を提供するとともに、「伊那谷学」「伊那谷まると博物館」の推進に協力した。

② 「伊那谷の自然と文化」推進事業との連携

飯田市教育委員会の社会教育機関が連携し、伊那谷の自然と文化を学び、次世代の推進者を育てるために情報交換を密にし、ムトスぷらざでのトークイベントや飯田学輪大学での交流イベントなどに協力した。

美術分野

(1) 学校教育への協力

① 下伊那教育会菱田春草研究委員会との連携

同会の研究活動に際して助言をおこない、鑑賞授業の協力もおこなった。（手塚・小池）

② 小学校との鑑賞学習の実践

- | | | | |
|----------------------|-----------|------|------------|
| ・飯田市立上郷小学校4年生（展示解説） | 令和7年5月8日 | 104人 | （小島） |
| ・飯田市立竜峡中学校美術部（作品鑑賞） | 令和7年6月7日 | 17人 | （小池） |
| ・飯田市立飯田西中学校（展示解説） | 令和7年6月23日 | 16人 | （小島） |
| ・飯田市立竜峡中学校1年生（展示解説） | 令和7年7月3日 | 54人 | （小池・小島） |
| ・飯田市立追手町小学校4年生（展示解説） | 令和7年9月5日 | 22人 | （小島） |
| ・下條村立下條中学校3年生（鑑賞授業） | 令和7年12月3日 | 28人 | （小島・小池・手塚） |

③ 小中学校との造形授業の実践

・飯田市立竜丘小学校 6 年生（絵画指導）	令和 7 年 7 月 8 日	52 人	（手塚）
・喬木村立喬木第二小学校 1・2 年生（陶芸指導）	令和 7 年 7 月 18 日	7 人	（手塚）
・喬木村立喬木第二小学校 5・6 年生（陶芸指導）	令和 7 年 9 月 5 日	11 人	（手塚）
・飯田市立竜丘小学校 3 年生（実技指導）	令和 7 年 10 月 15 日	48 人	（手塚）
・飯田市立上久堅小学校 3 年生（実技指導）	令和 7 年 12 月 10 日	9 人	（手塚）

④ 中学校部活地域移行会議への協力

・アートの時間（実技指導）	令和 7 年 6 月 28 日	2 人	（手塚）
・アートの時間（実技指導）	令和 7 年 8 月 30 日	3 人	（手塚）
・アートの時間（実技指導）	令和 8 年 1 月 10 日	4 人	（手塚）
・アートの時間（実技指導）	令和 8 年 1 月 11 日	4 人	（手塚）

⑤ 小中学校教員の研修協力

・飯田市立追手町小学校教員（講座）	令和 7 年 6 月 25 日	7 人	（小池・小島）
・飯田市校長会研修（版画指導）	令和 7 年 9 月 12 日	64 人	（手塚）
・下伊那教育会教頭研修会（講座）	令和 8 年 2 月 20 日	43 人	（槇村）

⑥ 高校・大学などへの協力

・さくら国際高校（展示解説）	令和 7 年 9 月 17 日	7 人	（小島）
・飯田コアカレッジ（展示解説）	令和 7 年 9 月 17 日	40 人	（小池）
・常葉大学アートマネジメント論（講義）	令和 7 年 11 月 27 日	85 人	（槇村）

(2) 地域事業への協力

① 春草会への協力（小池）

② 春草公園を愛する会との連携（小島）

③ 佐竹蓬平・鈴木芙蓉を愛する会への協力（槇村）

④ 飯田鉄斎愛好会への協力（槇村）

⑤ 竜丘地区自治会の自由画保存顕彰事業との連携（槇村・小池・手塚）

⑥ 宮田村文化財保存活用地域計画推進協議会への協力（槇村）

⑦ 中学校部活地域移行会議（飯田市教育委員会生涯学習・スポーツ課）への協力（手塚）

⑧ 長野県シニア大学南信州学部への協力（小島）

⑨ 審査協力

・飯田市納税課納税ポスター審査	令和 7 年 9 月 17 日	（手塚）
・飯田警察署防犯ポスター審査	令和 7 年 9 月 19 日	（手塚）
・飯田市社会福祉協議会障がい者美術展審査	令和 7 年 10 月 22 日	（手塚）

⑩ その他の依頼講座・実技指導

・綿半グループ新入社員研修（講座・解説）	令和 7 年 4 月 4 日	44 人	（小島）
・竜丘文化財ボランティア学習会（講座）	令和 7 年 5 月 16 日	22 人	（槇村）
・退職公務員互助会研修会（講座）	令和 7 年 6 月 7 日	16 人	（手塚）
・高森町シニア大学講座（実技指導）	令和 7 年 6 月 12 日	7 人	（手塚）
・飯田市鼎公民館華甲大学（講座・解説）	令和 7 年 7 月 6 日	45 人	（小島）
・高森町シニア大学講座（実技指導）	令和 7 年 7 月 17 日	7 人	（手塚）
・ことば・聞こえ親子の集い（実技指導）	令和 7 年 7 月 27 日	19 人	（手塚）
・飯田市羽場公民館（展示解説）	令和 7 年 7 月 29 日	59 人	（小島）
・飯田市龍江公民館（実技指導）	令和 7 年 8 月 7 日	21 人	（手塚）
・高森町シニア大学講座（実技指導）	令和 7 年 9 月 11 日	7 人	（手塚）
・春草会卓話（講座）	令和 7 年 10 月 28 日	13 人	（小池）
・高森町シニア大学講座（実技指導）	令和 7 年 11 月 1 日	7 人	（手塚）
・高森町シニア大学講座（実技指導）	令和 7 年 12 月 18 日	7 人	（手塚）
・岡倉天心市民研究会（講座）	令和 7 年 12 月 20 日	10 人	（小島）

(3) その他の協力

- ① 奈良大学大学院文学研究科原口志津子研究室 春草資料調査協力 令和7年11月24日 2人(小池)

人文分野

(1) 各種団体、他課等との連携・協力

- ① 飯田市歴史研究所
古文書講座の開講、歴史資料の調査研究・保存での協力
- ② 飯田市企画課大学誘致連携推進室
遠山郷エコ・ジオパークフィールドスタディ、学輪IIDA全体会
- ③ 飯田・城下町サポーター
月1回の例会と見学会の開催
- ④ 飯田市平和祈念館展示検討委員会
- ⑤ 南信州民俗芸能継承推進協議会
事務局会議、総会への参加、「南信州民俗芸能フェスティバルin大阪・関西万博」、伊那民俗研究集会等の開催、ファンクラブ通信発行への協力
- ⑥ 柳田國男記念伊那民俗学研究所
民俗調査、例会、特別例会、総会(記念講演会)、伊那民俗研究集会 など
- ⑦ 飯田信用金庫(地域サポート部)
藤本四八記念小中高生写真賞への協賛等
- ⑧ 遠山常民大学
講座の開催等に協力

(2) 義務教育総合学習、学校との連携

- ・下伊那農業高校探求学習 令和7年5月14日(水)
- ・飯田東中学校全校「繋・未来フェス2025」 令和7年5月28日(水)
- ・風越高校出前講座「自然災害と防災」 令和7年7月11日(金)
- ・上村小学校・和田小学校・遠山中学校 特別展展示解説、教員研修
- ・上村保育園・和田保育園 職員研修 令和7年11月6日(木)
- ・阿智第一小学校 飯田城跡見学 令和8年2月4日(水)

(3) 講師派遣

上村・和田保育園、阿智第一小学校、上村小学校・和田小学校・遠山中学校、飯田東中学校、風越高校、松本大学、飯田市大学誘致推進連携室、南信教育事務所飯田事務所、南信濃公民館・遠山常民大学、シニア大学、華甲大学、飯田の明日を考える会、東伊那公民館、遠山ふじ糸伝承の会

(4) 委員等

- ・長野県立歴史館資料委員(織田)
- ・諏訪市文化財専門審議会委員(織田)
- ・『伊那市誌』編纂協力員(織田)
- ・南信州民俗芸能継承推進協議会事務局(近藤)
- ・平和祈念館展示検討委員会(織田)
- ・国立歴史民俗博物館共同研究員、展示プロジェクト「東アジアの耕織図(仮)」委員(近藤)

自然分野

(1) 地域研究団体への協力

- ① 伊那谷自然友の会
昭和60年に下伊那教育会の理科関係の同好者を中心にして発足した。現在では幅広い市民を集め、伊那谷の自然団体をネットワークする役割も果たしている。会報(季刊)の発行、講座・見学会・講演会など

を開催し、伊那谷をまるごと博物館にすることをめざしている。当館自然分野とは行事を共催するなど、相互に協力関係にある。なお、当館が同団体に協力した令和7年度の野外見学会は以下の通りである。

(担当：村松・四方・川谷・坂口・高木)

令和7年

- 4月26日(土)「風越山のあがりこサワラ」 7人参加
- 4月29日(祝)「春の網掛山を歩く」 20人参加
- 5月11日(日)「およりての森で水生昆虫」 9人参加
- 5月18日(日)「程野露頭の魅力再発見」 8人参加
- 5月24日(土)「静香鉾山の廃墟探訪と鉾物採集」 15人参加
- 6月11日(水)「七久里植物観察会 ノハナショウブ・ササユリ」 13人参加
- 7月6日(日)「伊那市笠原を歩く トンボとセイボウ」 11人参加
- 7月30日(水)「青崩峠トンネルの今と周辺の地質」 25人参加
- 8月16日(土)「宮田高原から伊勢滝」 21人参加
- 8月20日(水)「七久里植物観察会 サワギキョウ」 25人参加
- 8月26日(火)「蓼科山の縞枯れと岩塊地形」 9人参加
- 8月30日(土)「コウモリ観察会」 16人参加
- 9月10日(水)「木曽の風越山に登る」 9人参加
- 9月14日(日)「ワクワクフィールド探検」 50人参加
- 9月27日(土)「二兎山と天空の池」 18人参加
- 10月4日(土)「遠山郷かぐらの湯に由来する地質探訪」 12人参加
- 10月12日(日)「ミネトワダカワゲラを探せ」 4人参加
- 10月15日(水)「七久里植物観察会 ヤマラッキョウ・リンドウ」 12人参加
- 11月1日(土)「富草層群の地層と化石」【雨天中止】

令和8年

- 2月8日(日)「フィールドサインと冬の鳥」【雪中止】

合計18回、参加者のべ284人

② はなのき友の会

飯田市山本地区のハナノキ（世界的希少種、日本レッドデータブック危急種）自生地の環境保全管理活動を通じて、地域作りを実践している市民団体。会報の発行などに協力した。(担当：村松・四方)

③ 松本むしの会

長野県全域の昆虫愛好家を対象とした市民団体。会誌の編集などに協力した。(担当：四方)

④ 金属・鉾物の会

下伊那の鉾山および鉾物の調査研究を目的とした研究団体。巡検や情報収集などに協力した。(担当：村松)

⑤ 下伊那教育会

地質委員会、理科教育委員会の、調査研究活動などに協力した。(担当：村松・川谷)

⑥ たねの会

自然科学教育にかかわる市内の8団体（飯田市立図書館、飯田市立動物園、かざこし子どもの森公園、下伊那教育会生物委員会、天竜川総合学習館かわらんべ、南信州飯田おもしろ科学工房、伊那谷自然友の会、本館）が連携した会。共通テーマでワークショップなどを行った。(担当：四方・高木)

テーマ：コケの中には何がいます？

日 時：令和7年9月15日(月・祝) 午前10時～、午後1時30分～、午後3時～

会 場：科学工作室

対 象：高校生以下

定 員：各回10人

参加者：38人（つきそいの保護者含む）

(2) 天竜川総合学習館への協力

主として地域の子どもたちを対象にした講座。かわらんべ講座で講師を務めた。四方・川谷は学芸員を兼務している。

- ・かわらんべ講座「天龍峡で昆虫たんけん」 令和7年5月3日(四方)
- ・かわらんべ講座「夏休み星の観察教室」 令和7年8月19日(横井・牧島)
- ・かわらんべ講座「秋のバッタたんけん」 令和7年9月27日(四方)
- ・かわらんべ講座「名月のお月見」 令和7年10月5日(牧島・横井)
- ・かわらんべ講座「川のカタチと防災」 令和7年10月11日(村松)
- ・かわらんべ講座「土星の環が一直線」 令和7年11月15日(横井・牧島)
- ・かわらんべ講座「きれいな石探し」 令和8年2月21日(村松)

(3) 公民館・図書館など社会教育機関への協力

- ・NPO法人とよおか総合型地域スポーツクラブ「ふるさと再発見 春の里山散策」 令和7年4月27日(四方)
- ・子どもの森公園「昆虫観察会」 令和7年6月29日、9月23日(四方)
- ・鼎公民館「かなえっこどきどきスクール ミニプラネタリウムづくり」 令和7年7月26日(横井・牧島)
- ・山本公民館「地震と防災 ー山本地区の災害リスクを考えようー」 令和7年8月21日(村松)
- ・社会福祉法人恵の実「西駒ヶ岳登山事前学習」 令和7年9月9日(村松)
- ・家庭倫理の会南信州「自然災害と防災」 令和7年9月25日(村松)
- ・大学誘致連携推進室「いいだ高校生ESD塾」 令和7年10月17日(四方)
- ・川路公民館「星空観望会」 令和8年1月10日(牧島・横井)
- ・南信濃公民館「星空観望会」 令和8年1月30日(横井・牧島)
- ・丘のりんご ローリエ「電子顕微鏡観察会」 令和8年2月11日(四方)

(4) 幼稚園・保育園への協力

- ・竜丘保育園「田んぼの生き物観察会」 令和7年7月17日、10月9日(四方)
- ・時又保育園「田んぼの生き物観察会」 令和7年7月17日、10月9日(四方)

(5) 学校教育への協力

- ・下伊那農業高校「伊那谷の自然解説」 令和7年5月14日(四方・川谷)
- ・上郷小学校「飯田市の自然解説」 令和7年7月9日(四方)
- ・竜丘小学校「田んぼの生き物講座・観察会」 令和7年7月17日、10月9日(四方)
- ・追手町小学校「化石レプリカづくり」 令和7年7月27日(川谷・村松・坂口)
- ・上郷小学校「バッタのお話と野外観察会」 令和7年9月18日(四方)
- ・旭ヶ丘中学校「総合学習 自然」 令和7年10月17日(四方)
- ・千栄小学校「星見の会」 令和7年10月21日(横井・牧島)

(6) 「環境チェッカー（調査）事業」への協力（飯田市環境課）

調査方法の説明や、調査結果のまとめ、学習会での講師などとして協力した。(担当：四方)

- ・調査結果まとめ 令和8年3月22日

(7) 南アルプスジオパーク（中央構造線エリア）、南アルプスユネスコエコパークへの協力

南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークについては平成24年2月24日に協議会が設立され、飯田市・飯田市教育委員会および伊那谷自然友の会が会員として参加することになった。南アルプスユネスコエコパークについては平成26年に登録された。飯田市での事業主管課は環境課である。

【ジオパーク幹事】川谷、村松、坂本本館客員研究員

【ジオパーク学術委員】川谷、村松、四方、坂本本館客員研究員（委員長）

【エコパーク科学委員】四方

- ・ジオパーク幹事会 令和7年4月16日、7月16日、10月22日、令和8年2月18日、3月25日
- ・ジオパーク協議会総会 令和7年5月9日

- ・ジオパーク学術部会 令和7年7月26日、9月20日、12月6日
- ・エコパーク科学委員会 令和7年12月10日
- ・エコ・ジオ庁内担当者会議 令和8年3月24日

(9) 遠山郷エコパーク・ジオパーク フィールド スタディーへの協力

大学誘致連携推進室が担当するフィールド スタディーの中で、遠山郷をフィールドとしたものに講師などとして参加した。(担当：四方・近藤)

- ・事前学習会 令和7年7月13日、9月2日
- ・現地調査 令和7年9月14日

(10) 学会等委員など

- ・日本鱗翅学会和文誌編集委員(四方)
- ・日本蛾類学会自然保護委員(四方)
- ・信州昆虫学会編集委員・監事(四方)
- ・国土交通省天竜川流域委員会委員(四方)
- ・国土交通省河川水辺の国勢調査アドバイザー(四方)
- ・長野県レッドリスト改訂検討会議構成員・専門部会構成員(四方)
- ・中央アルプス駒ヶ岳(千畳敷カール)保存管理委員会委員(四方)
- ・伊那市50年の森林ビジョン 生物多様性検討部会部会員(四方)

9 研究助成事業

(1) 伊那谷の自然と文化研究事業補助金

- ・柳田国男記念伊那民俗学研究所 所長 小川直之

事業目的 伊那谷の民俗研究

事業内容 1) 民俗調査

2) 柳田国男の著作研究

3) 伊那思想史の研究

4) 史資料の調査収集

5) 普及活動

①総会記念講演・研究発表

②第8回 伊那民俗研究集会「柳田国男と南信州」

③特別例会・例会

④民俗探訪会「今に生きる伊那谷の民俗を訪ねて」

交 付 額 200,000円

- ・伊那谷自然友の会 会長 中村貴俊

事業目的 伊那谷の自然に関する調査・研究を行い、その成果を公表する

事業内容 1) 研究テーマ

①チョウたちはなぜ消えた？

②ハナノキ湿地の調査と保全

③地形地質からみた伊那谷の山城

2) 研究成果を会報「伊那谷の自然」に掲載および観察会を実施

交 付 額 173,600円

- ・伊那谷研究団体協議会 会長 松上清志

事業目的 伊那谷の自然と文化を研究する多様な団体が連携・協働する事業

研究成果を＜伊那谷学＞として広く公表し、＜伊那谷まるごと博物館＞を目指して地域文化の発展に資することを目的とする。

事業内容 構成団体の会員が研究してきた研究について、当会の講演会やシンポジウムを通して研究発表

を行い、郷土史「伊那」への公表を行う。

1) 講演会「大和王権とイナ」

2) シンポジウムテーマ

①地域方言の飯田弁が育んだ意義と価値

②下伊那に残る青い眼の人形

③中央構造線を掘り抜き、国内ニッケルの生産に挑んだ八重河内の天竜鉱山

交 付 額 25,000円

(2) 学芸員等学術研究費補助金

- ・本年度は実績なし

10 博物館実習

博物館法第5条第1項および博物館法施行規則第1条に基づき、令和7年度も博物館実習の受け入れをおこなった。

期 間 令和7年8月21日(木)～9月3日(水)

実習生 愛知学院大学文学部日本文化学科 4年生

立命館大学文学部人文学科 4年生

- 内 容
- ・8月21日(木) 総合：オリエンテーション・プラネタリウム見学
 - ・8月22日(金) 美術：作品の取り扱い
 - ・8月23日(土) 人文：古文書講座、柳田・日夏見学など
 - ・8月24日(日) 美術：展示環境について・ワークショップ見学
 - ・8月25日(月) 休み
 - ・8月26日(火) 美術：見学展示作業の見学ほか
 - ・8月27日(水) 人文：人文資料の取り扱いについて(梱包材作成など)
 - ・8月28日(木) 考古：考古資料の取り扱い
 - ・8月29日(金) 自然：地質・化石資料の取り扱いについて
 - ・8月30日(土) 自然：自然講座の準備・手伝い
 - ・8月31日(日) 人文：人文資料の取り扱い(写真撮影など)
 - ・9月1日(月) 休み
 - ・9月2日(火) 自然：野外調査実習
 - ・9月3日(水) 総合：実習のまとめ

(担当：小島)

11 職場体験・インターンシップの受け入れ

(1) 中学校職場体験

- ・飯田東中学校(2年生×2名) 令和7年6月25日(水)、26日(木)
- ・竜峡中学校(2年生×1名) 令和7年7月2日(水)、3日(木)
- ・旭丘中学校(2年生×2名) 令和7年7月24日(木)、25日(金)

(2) 飯田OIDE長姫高校インターンシップ

2年生×2名 令和7年8月27日(水)、28日(木)

(3) 立教大学観光学部インターンシップ

3年生×1名 令和7年9月4日(木)

(4) キャリアアップ研修(10年目教職員の異業種体験)

中学校教諭1名 令和7年8月1日(金)、2日(土)

12 発行印刷物・映像記録など

共 通

- | | | |
|-----------------------------|-------------------|----------------|
| (1) 飯田市美術博物館年報第36号 | 令和7年8月 | (担当：原田、小池) |
| (2) 飯田市美術博物館2026-27年間スケジュール | A 3変形三つ折り 34,000部 | 令和8年3月 (担当：織田) |
| (3) 飯田市美術博物館研究紀要第36号 | A 4判100ページ 500冊 | 令和8年3月 (担当：近藤) |

美術分野

- (1) 企画展 写真家60周年記念展「水谷章人の世界」関連
- | | | | |
|----------------|--------|--------|---------|
| ポスター (B 2判) | 400枚 | 令和7年9月 | (担当：小池) |
| リーフレット (A 4判) | 9,000枚 | 令和7年9月 | (担当：小池) |
| 小冊子 (A 4判8ページ) | 1,500冊 | 令和8年1月 | (担当：小池) |
- (2) 第25回現代の創造展関連
- | | | | |
|-------------|--------|--------|---------|
| ポスター (B 2判) | 450枚 | 令和7年8月 | (担当：小池) |
| リーフレット | 2,500枚 | 令和7年8月 | (担当：小池) |
| 案内ハガキ | 3,500枚 | 令和7年8月 | (担当：小池) |
- (3) 菱田春草カレンダー2025
- | | | | |
|-------------|--------|---------|---------|
| (A 3判13ページ) | 1,000部 | 令和7年10月 | (担当：小池) |
|-------------|--------|---------|---------|
- (4) 美術コレクション展示のご案内2026
- | | | | |
|------------|--------|--------|---------|
| (A 4判三つ折り) | 3,000枚 | 令和8年3月 | (担当：小池) |
|------------|--------|--------|---------|

人文分野

- (1) 特別展「山とともに生きる―遠山郷のあゆみとくらし―」ポスター・チラシ・チケット
- | | | | |
|------------------|-------|--------|---------|
| ポスター B 2判カラー | 300枚 | 令和7年8月 | |
| チラシ A 4判両面カラー | 8000枚 | 令和7年8月 | |
| チケット 7cm×17cm 3種 | 7000枚 | 令和7年8月 | (担当：近藤) |
- (2) 特別展「山とともに生きる―遠山郷のあゆみとくらし―」図録
- | | | | |
|----------|------|--------|---------|
| A 4判 96頁 | 800部 | 令和7年9月 | (担当：近藤) |
|----------|------|--------|---------|
- (3) 藤本四八記念小中高校生写真賞リーフレット
- | | | | |
|------------|---------|--------|------------|
| A 4判 片面カラー | 12,000枚 | 令和7年7月 | (担当：中山・原田) |
|------------|---------|--------|------------|
- (4) 「飯田城・城下町旧跡散策マップ」(増刷)
- | | | | |
|-------------|-------|--------|---------|
| A 4判 2頁 カラー | 3000部 | 令和8年3月 | (担当：織田) |
|-------------|-------|--------|---------|

自然分野

- (1) 企画展「南アルプス博物学の120年」チラシ
- | | | | |
|----------|---------|--------|---------|
| A 4両面カラー | 17,000枚 | 令和7年5月 | (担当：四方) |
|----------|---------|--------|---------|
- (2) 企画展「南アルプス博物学の120年」リーフレット 「南アルプス キタダケヨトウ手帖」
- | | | | |
|----------|--------|--------|---------|
| A 4判 4ツ折 | 4,000部 | 令和7年6月 | (担当：四方) |
|----------|--------|--------|---------|
- (3) 企画展「南アルプス博物学の120年」リーフレット 「南アルプス タカネマンテマ手帖」
- | | | | |
|----------|--------|--------|---------|
| A 3判 8ツ折 | 4,000部 | 令和7年6月 | (担当：四方) |
|----------|--------|--------|---------|
- (4) 伊那谷自然史論集 vol.27
- | | | | |
|----------|------|--------|---------|
| A 4判 47頁 | 310部 | 令和8年3月 | (担当：四方) |
|----------|------|--------|---------|

プラネタリウム

- (1) プラネタリウム夏の番組案内 (担当：横井)
 A 4判 2頁 16,000部 令和7年5月
- (2) プラネタリウムリーフレット 夏の番組 (担当：牧島)
 A 5判 4頁 6,000部 令和7年5月
- (3) プラネタリウム秋の番組案内 (担当：横井)
 A 4判 2頁 16,000部 令和7年8月
- (4) プラネタリウムリーフレット 秋の番組 (担当：牧島)
 A 5判 4頁 3,000部 令和7年11月
- (5) プラネタリウム冬の番組案内 (担当：横井)
 A 4判 2頁 16,000部 令和7年11月
- (6) プラネタリウムリーフレット 冬の番組 (担当：牧島)
 A 5判 4頁 2,000部 令和8年2月
- (7) プラネタリウム春の番組案内 (担当：横井)
 A 4判 2頁 16,000部 令和8年2月
- (8) プラネタリウムリーフレット 春の番組 (担当：牧島)
 A 5判 4頁 3,000部 令和8年2月
- (9) 令和7年度プラネタリウム天歩 番組案内 (担当：横井)
 A 版 4頁 2,000部 令和8年3月

13 ホームページの更新など

平成26年7月にHPデザインを一新してスマートフォン対応にし、本館で開催する展覧会や講座、プラネタリウムの投影スケジュール、臨時休館などの情報などを掲載している。

月	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
4月	11,558	12,444	10,760	12,194	6,599	9,242	12,228	13,931	13,713	12,687
5月	11,930	11,401	11,198	8,819	9,235	10,483	11,857	14,319	13,077	13,337
6月	10,143	10,848	10,828	9,129	11,525	10,362	11,619	11,405	12,105	11,052
7月	13,177	13,016	13,498	12,849	12,234	12,941	14,210	14,819	13,696	13,799
8月	13,748	15,294	15,350	15,122	11,708	14,206	18,238	17,082	16,699	20,208
9月	12,058	12,977	11,132	11,202	10,439	15,560	15,413	12,570	14,437	14,523
10月	10,225	11,740	10,449	10,236	10,393	25,439	13,016	10,410	15,950	12,280
11月	9,609	10,363	8,454	8,849	10,481	13,322	11,613	6,869	11,676	10,571
12月	8,279	8,588	6,593	7,846	9,015	8,175	9,138	6,216	8,563	8,767
1月	10,038	10,038	9,314	8,650	8,321	9,407	10,570	8,277	11,468	9,084
2月	11,048	9,476	8,272	8,365	7,681	9,851	10,356	8,060	9,439	10,436
3月	11,596	11,950	10,791	9,140	10,432	11,081	13,913	13,783	12,688	13,940
年度合計	133,409	138,135	126,639	122,401	118,063	150,069	152,171	137,741	153,511	150,684

4. 調査研究活動・資料収集保管活動

1 調査研究活動

美術分野

(1) 菱田春草および春草に関わる作家

- ・菱田春草作品の調査研究
菱田春草常設展示のための調査・研究
- ・菱田春草未完成作品の調査研究
菱田春草常設展示のための調査・研究
- ・菱田春草関連資料の調査研究
菱田春草常設展示のための調査・研究

(2) 郷土関連の美術

- ・自由画教育についての調査研究
竜丘児童自由画資料集に向けての調査
- ・農民美術についての調査研究
作品の市井での収蔵・保存状況についての調査
飯田の農民美術運動に関する資料調査

(3) 鑑賞教育

- ・小中学校と連携した春草作品の鑑賞教育の実践研究
常設展示などに際しての菱田春草記念室を活用した鑑賞授業の研究
複製画学習展示に向けた鑑賞授業の実践

(4) 造形教育

- ・小中学生・保育園児に対する造形教育の教材研究
子ども美術学校などでの実践

人文分野

(1) 展覧会関連調査

トピック展示

追手町小学校、高森北小学校、伊賀良小学校

特別展

飯田市歴史研究所、上村まつり伝承館、木沢小学校、三條神社、天龍村教育委員会、紙の博物館、諏訪市博物館、茅野市神長官守矢史料館、岡崎市博物館、個人宅（飯田市上殿岡、碧南市）

その他

国立歴史民俗博物館

(2) 社寺調査

依頼調査

各自治体教育委員会や博物館、社寺からの依頼を受けて仏像調査を実施した。

(3) 民俗調査

本年度から伊那民俗学研究所との共同調査として、飯田市下久堅地区での民俗調査を実施。本年度は調査ミーティング、地区内での聞き取り等をおこなった。調査員として飯田短期大学の教員も参加。

(4) 建造物調査

飯田下伊那地域における「たばこ倉」の調査

屋台獅子・籠獅子の調査

(5) その他

家屋解体、遺品整理等にとまなう所蔵品等調査

自然分野

(1) 地域史研究事業

① 学芸員・専門研究員の調査研究

- ・「南アルプスの巨大崩壊と天然ダム」地域：南アルプス（村松）
- ・「富草層群の海生哺乳類化石」地域：阿南町（川谷）
- ・「高山帯の昆虫調査」地域：南アルプス・ハッ岳（四方）
- ・「野鳥の繁殖調査」地域：飯田下伊那（坂口）

② 共同調査・資料保存作業

- ・「鳥類・ほ乳類剥製作成作業」

協力者：高橋真子氏（中川村）、安田 守氏（駒ヶ根市）、酒井淳一氏（宮田村）、米山富和氏（飯島町）
ほか（担当：坂口）

(2) その他の調査研究

- ・「長野県・新潟県におけるクジラ化石の分類学的検討」（川谷）
- ・「鱗翅目昆虫の分類・生態」（四方）

2 職員の調査研究・普及活動

美術分野

榎村洋介

〈研究発表〉

榎村洋介 「柳田國男ゆかりサミットに参加して」びはく学芸祭2026ポスター発表（本館ロビー）令和8年3月14日～3月29日

〈普及活動／口頭発表・講座〉

榎村洋介 「木下紫水と自由教育」竜丘文化財ボランティア事業 学習会・説明会（飯田市竜丘公民館）令和7年5月16日

榎村洋介 「美術館の仕事」常葉大学造形学部・造形学科アートメディア論ゲストスピーカー（常葉大学瀬名キャンパス）令和7年11月27日

榎村洋介 「心の豊かさを育んだ、竜丘小学校の自由教育」下伊那教育会教頭研修会（飯田市立竜丘小学校）令和8年2月20日

小島 淳

〈研究執筆物〉

小島 淳 「資料紹介 菱田春草『落葉ノート』記載の謡曲・漢詩」『飯田市美術博物館研究紀要第』第36号 p.5-25 令和8年3月

〈研究発表〉

小島 淳 「菱田春草と古典文学—『落葉ノート』記載の謡曲・漢詩より—」びはく学芸祭2026ポスター発表（本館ロビー）令和8年3月14日～3月29日

〈普及執筆物〉

小島 淳 「《雨中美人》から《黒き猫》へ」『季刊 永青文庫』127号 p.12-14 令和7年10月

〈普及活動／口頭発表・講座〉

小島 淳 「須山計一 人と作品」鼎公民館華甲大学（飯田市鼎文化センター）令和7年7月6日

小島 淳 「岡倉天心と菱田春草」岡倉天心市民研究会（横浜市開港記念館）令和7年12月20日

小島 淳 「春草と批評—明治40年代—」春草講座2（本館講堂）令和7年10月26日

小池朋実

<研究発表>

小池朋実 「作品を探る－春草とアジャインター壁画模写－」 びはく学芸祭2026ポスター発表（本館ロビー）

<普及執筆物>

小池朋実 「春草と批評－明治30年代－」 春草講座 1（本館講堂） 令和 7 年 9 月14日

小池朋実 「菱田春草常設展示第55期 紅葉－静寂の時－」 解説（プラネタリウム） 令和 7 年 9 月17日～19日、23日

小池朋実 「伊藤悦太郎宛菱田春草書簡と春草会」 春草会（柏心寺） 令和 7 年10月28日

手塚俊尚

<普及活動・調査>

手塚俊尚 「下伊那の図画教育」 退職公務員互助会（下市田区民会館） 令和 7 年 6 月 7 日

人文分野

織田顕行

<普及執筆物>

織田顕行 「遠山谷における真宗教団の痕跡」『山とともに生きる－遠山郷のあゆみとくらし－』（飯田市美術博物館、2025年）

<研究発表>

織田顕行 「歴史から姿を消した複写技法－田中芳男が駆使した『撮写法』とは－」 びはく学芸祭2026 令和 8 年 3 月

<普及活動・講座>

織田顕行 「東伊那の祈り～殿村瑠璃殿の調査報告～」 東伊那公民館 第 1 回東伊那再発見講座 令和 7 年 6 月 7 日

織田顕行 「日夏耿之介の足跡を訪ねて」（美博文化講座見学会） 令和 7 年 6 月15日

織田顕行 「自然災害と防災 三六災害から学ぶ」 飯田風越高等学校出前講座 令和 7 年 7 月11日

織田顕行 「特集 伊那谷の自然と文化を移す多面体～市民と共に育つ飯田市美術博物館」

（「CULTURE NAGANO」インタビュー長野県文化芸術情報発信サイト

<https://www.culture.nagano.jp/special/13422/>） 令和 7 年11月 4 日

織田顕行 市民大学講座「小笠原氏についての『イロハ』」 鼎公民館華甲大学 令和 7 年11月20日

織田顕行 「飯田の来し方から未来を考える」 ムトスぷらざ 飯田の明日を考える会 令和 8 年 1 月16日

近藤大知

<研究執筆物>

近藤大知 「遠山谷の山林資源の開発－昭和前期を中心に－」『伊那』2025年 8 月号

近藤大知 「柳田國男の民間伝承研究と井上福實の方言研究」『伊那民俗研究』第33号 2026年 3 月

<普及執筆物>

近藤大知 「口絵 お蚕様を天敵から守る『蛇神』」『伊那』2025年 4 月号

柳田國男記念伊那民俗学研究所編・発行『柳田國男と南信州－三遠信の民俗研究－』 令和 7 年 7 月 ※第 3 章「南信州の民間伝承研究の始動と展開」、第 4 章「郷土研究と信州」

近藤大知 「傾斜地の暮らしと生業」『山とともに生きる－遠山郷のあゆみとくらし－』（飯田市美術博物館、2025年）

近藤大知 「口絵 近世期の姿を伝える『遠州秋葉山寺』」『伊那』2026年 1 月号

南信州民俗芸能ファンクラブ通信コラム 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月（全11回）

<研究発表>

近藤大知 「柳田國男の民間伝承研究と井上福實の方言研究」 第 8 回伊那民俗研究集会 令和 7 年 9 月15日

近藤大知 「赤い病魔史補遺－遠山谷の医療史－」 遠山常民大学 令和 8 年 1 月26日

近藤大知 「遠山谷における皮箕」 びはく学芸祭2026 令和 8 年 3 月

<講座>

- 近藤大知 「南信州の民俗芸能と工芸（産業）」下伊那農業高校 令和7年5月14日
- 近藤大知 「遠山郷の歴史と文化を知ろう！」（飯田市大学誘致連携推進室）令和7年7月27日
- 近藤大知 「遠山郷の盆踊り－和田を中心に－」（飯田市大学誘致連携推進室）令和7年8月27日
- 近藤大知 特別展展示解説 令和7年9月28日・10月25日
- 近藤大知 「南信州の民俗芸能」松本大学講義「地域文化論」令和7年9月30日・10月7日
- 近藤大知 「“秋葉山”への旅－江戸時代の遠山郷の一端－」ゼロから始める古文書 令和7年10月8日・18日
- 近藤大知 「南信州の民俗芸能－高森町周辺を中心に－」高森中学校地域学習 令和7年10月25日
- 近藤大知 「暮らしの中の藤文化～三遠南信を中心に～」遠山ふじ糸伝承の会10周年記念事業講演会 令和7年11月1日
- 近藤大知 「遠山霜月祭について」和田保育園・上村保育園職員研修 令和7年11月5日
- 近藤大知 「遠山郷の歴史と文化－山林との関わりを中心に－」遠山郷三校研修会 令和7年11月26日
- 近藤大知 「遠山郷の歴史と文化－山林との関わりを中心に－」第4回赤門スクール（南信教育事務所飯田事務所）令和7年12月5日
- シンポジウム 「これからの伝統文化継承と地域コミュニティ」（信州アーツカウンシル他主催）※座談会のパネリスト 令和8年1月25日
- 近藤大知 「秋葉山参詣の資料を読む」遠山郷土館学習講演会 令和8年2月21日
- 近藤大知 「大型屋台獅子の誕生とひろがり」美術博物館文化講座 令和8年3月22日

中山京子

<普及執筆物>

- 中山京子 「下清内路に遺る出作り小屋について」2025年4月号
- 中山京子 「口絵 瑠璃寺の獅子舞と獅子屋台」『伊那』 2026年1月号

<研究発表>

- 中山京子 「図説・屋台獅子－練り獅子の構造変化－」伊那民俗学研究所例会 令和7年3月14日
- 中山京子 「飯田下伊那に遺るたばこ倉」びはく学芸祭2026 令和8年3月

自然分野

四方圭一郎

<研究執筆物>

- 四方圭一郎・矢後勝也 「ウスズミケンモンとマダラウスズミケンモンは同種の季節型」『蝶と蛾』77巻1号 p25-34 令和8年2月
- 四方圭一郎・枝恵太郎・飯森政宏・金子岳夫 「赤石山脈三伏峠周辺（塩見岳，烏帽子岳，小河南岳）の蛾類」『伊那谷自然史論集』27巻 p27-37 令和8年3月
- 四方圭一郎・坂口江実 「長野県伊那谷で確認された外来種のハゴロモ類（半翅目）」『伊那谷自然史論集』27巻 p43 令和8年3月
- 四方圭一郎 「長野県飯田市におけるキマダラカメムシの記録」『伊那谷自然史論集』27巻 p44 令和8年3月
- 四方圭一郎 「赤石山脈仙丈ヶ岳の亜高山帯でベニシジミを確認」『伊那谷自然史論集』27巻 p44 令和8年3月
- 四方圭一郎・村松ゆりあ 「長野県伊那谷南部で外来種タテスジカマキリモドキを確認」『伊那谷自然史論集』27巻 p45 令和8年3月

<研究発表>

- 四方圭一郎・田下昌志 「ハヶ岳の高山蛾」日本蛾類学会例会研究発表会（東京大学理学部）令和7年9月20日
- 四方圭一郎・坂巻祥孝 「赤石山脈で発見された日本未記録のキバガ科」日本鱗翅学会第71回大会（東京大学農学部）令和7年10月26日
- 四方圭一郎・田下昌志 「ハヶ岳と南アルプスの高山蛾の現状」松本むしの会研究発表会（ビレッジ安曇野）令和8年1月24日

- 四方圭一郎・飯塚新真・金子岳夫 「赤石山脈で新たに見出された高山蛾」日本蛾類学会総会・研究発表会（東京大学理学部）令和8年1月31日
- 四方圭一郎・矢後勝也 「ウスズミケンモンとマダラウスズミケンモンは同種だった！」びはく学芸祭2026（ポスター）（本館ロビー）令和8年3月

<普及執筆物>

- 蛾界編集グループ（神保宇嗣・枝恵太郎・金子岳夫・五島正幸・四方圭一郎・田中 拓）
「2024年の昆虫界を振り返って・蛾界」『月刊むし』651号 p35-48 令和7年5月
- 四方圭一郎 「南アルプスの博物学」『伊那谷の自然』231号 p2-5 令和7年7月
- 四方圭一郎 「百十一年前の南アルプス塩見岳への学術登山」『伊那』73巻10号 p3-8 令和7年10月
- 四方圭一郎 「仙丈ヶ岳で見つけた！“珍しい”高山植物と高山蛾」『伊那谷の自然』233号 p5-7 令和8年1月

<普及活動>

- 四方圭一郎 「外来生物の話と周辺の自然観察会」遠山郷土館講座（遠山郷土館・野外）令和7年4月19日
- 四方圭一郎 「春の里山散策と自然観察」とよおか総合型地域スポーツクラブ（豊丘村野外）令和7年4月27日
- 四方圭一郎 「天龍峡の昆虫たんけん」天竜川総合学習館かわらんべ講座（天竜川総合学習館・野外）令和7年5月3日
- 四方圭一郎 「伊那谷の自然解説」下伊那農業高校展示見学（本館講堂・自然展示室）令和7年5月14日
- 四方圭一郎 「水辺の生き物観察会」にれ沢蝶の森（辰野町小野野外）令和7年6月15日
- 四方圭一郎 「初夏の昆虫観察会」もりもり探検隊（子どもの森公園野外）令和7年6月29日
- 四方圭一郎 「飯田市の生き物」上郷小学校3年生授業（上郷小学校）令和7年7月9日
- 四方圭一郎 「南アルプスユネスコエコパークについて」遠山郷エコジオフィールドスタディ（本館講堂、オンライン）令和7年7月13日
- 四方圭一郎 「夏の田んぼの生き物観察会」時又保育園生きもの学習（時又保育園・野外）令和7年7月17日
- 四方圭一郎 「夏の田んぼの生き物観察会」竜丘保育園生きもの学習（竜丘保育園・野外）令和7年7月17日
- 四方圭一郎 「夏の田んぼの生き物講座・観察会」竜丘小学校5年生授業（竜丘小学校・野外）令和7年7月17日
- 四方圭一郎・高木千花 「とうめいボトルでコケリウム」ワクワクびはくで夏休み（美術博物館ロビー）令和7年8月2日
- 四方圭一郎 「セミの抜け殻調査会」長野県環境保全研究所・美博共催（子どもの森公園・野外）令和7年8月3日
- 四方圭一郎 「南アルプス博物学の120年」企画展ミニ講座・展示解説（本館講堂・展示室B）令和7年8月22日
- 四方圭一郎 「遠山谷の自然」遠山郷エコジオフィールドスタディ（ムトスぶらざ+オンライン）令和7年9月2日
- 四方圭一郎 「わくわくフィールドビンゴ・昆虫」たねの会ワークショップ（天竜川総合学習館野外）令和7年9月14日
- 四方圭一郎 「下栗でのフィールドワーク」遠山郷エコジオフィールドスタディ（遠山谷野外）令和7年9月14日
- 四方圭一郎・高木千花 「コケの中にはなにがいる？」たねの会ワークショップ（本館科学工作室）令和7年9月15日
- 四方圭一郎 「秋の生き物のお話と観察会」上郷小学校3年生授業（上郷小学校+野外）令和7年9月18日
- 四方圭一郎 「秋の虫観察会」もりもり探検隊（子どもの森公園野外）令和7年9月23日
- 四方圭一郎 「とばしてみよう 秋のバッタ」天竜川総合学習館かわらんべ講座（天竜川総合学習館・野外）令和7年9月27日
- 四方圭一郎 「秋の田んぼの生き物観察会」時又保育園生きもの学習（時又保育園・野外）令和7年10月9日
- 四方圭一郎 「秋の田んぼの生き物観察会」竜丘保育園生きもの学習（竜丘保育園・野外）令和7年10月9日
- 四方圭一郎 「秋の田んぼの生き物講座・観察会」竜丘小学校5年生授業（竜丘小学校・野外）令和7年10月9日

- 四方圭一郎 「伊那谷の自然環境」 旭ヶ丘中学校総合学習（環境）（旭ヶ丘中学校教室）令和7年10月17日
- 四方圭一郎 「飯田市の自然 – 魅力と生物多様を脅かす危機 –」 いいだ高校生ESD塾（ムトスぷらざ）令和7年10月17日
- 四方圭一郎 「南アルプス ユネスコエコパークと飯田市美術博物館の教育・研究活動」 都留文科大学環境教育概論講義（オンライン）令和7年10月28日
- 四方圭一郎 「2025年度環境チェッカー調査まとめ」 環境チェッカー報告会（本館講堂）令和8年3月22日

川谷文子

<研究執筆物>

- 川谷文子・長谷川善和・木村敏之 「下部中新統富草層群産スクアロデルフィス科の耳骨化石」『化石』119号 p.5-11 令和8年3月
- 長谷川善和・川谷文子・木村敏之 「山口県住友セメント産中期更新世のLynxに似た上腕骨片下」『群馬県立自然史博物館研究報告』30号 p.21-26 令和8年3月
- 長谷川善和・木村敏之・前田菜穂子・川谷文子 「後期更新世には日本列島に巨大ヒグマが分布していた」『群馬県立自然史博物館研究報告』30号 p.1-20 令和8年3月

<研究発表>

- 川谷文子・長谷川善和・福島佑一・甲能直樹 「宮崎県児湯郡都農町より産出したアシカ科頸椎化石」日本古生物学会2025年例会（薩摩川内市・SSプラザせんだい）令和6年12月
- 川谷文子 「中新世日本海に生息した“巨大”パレオパラドキシア類について」びはく学芸祭2026（ポスター）（本館ロビー）令和8年3月

<普及執筆物>

- 川谷文子 「続・イルカの耳」『伊那』2025年10月号 p.17-25 令和7年10月

<普及活動>

- 川谷文子・村松 武・坂口江実 「化石レプリカをつくろう」追手町小学校ワークショップ（追手町小学校）令和7年7月27日
- 川谷文子 「わくわくフィールドビンゴ・岩石」たねの会ワークショップ（天竜川総合学習館野外）令和7年9月14日

村松 武

<研究執筆物>

- 村松 武 「赤石山地南部、水窪川水系の中俣沢天然ダムとその変遷」『伊那谷自然史論集』27号 p.13-21 令和8年3月

<研究発表>

- 村松 武 「赤石山地の隆起－測量成果から描く100年間の上下変動－」びはく学芸祭2026（ポスター）（本館ロビー）令和8年3月

<普及執筆物>

- 村松 武 「浜井場小学校敷地内の基準水準点 基57」『伊那』10月号 p.1-2
- 村松 武 「旧版地図からさぐる赤石山地の隆起」『伊那』10月号 p.39-47

<普及活動>

- 村松 武 「宮田高原から伊勢滝」伊那谷自然友の会ジョツアー（野外）令和7年8月16日
- 村松 武 「地震と防災－山本地区の災害リスクを考えよう－」杵原学校応援団・山本公民館（山本公民館）令和7年8月21日
- 村松 武 「西駒登山事前学習」社会福祉法人恵の実（オンライン）令和7年9月9日
- 村松 武 「地震と防災～地域の災害リスクを知る～」家庭倫理の会南信州シニア委員会（下山区民会館）令和7年9月25日
- 村松 武 「川のカタチと災害」天竜川総合学習館かわらんべ講座（野外）令和7年10月11日
- 村松 武 「きれいな石さがし」天竜川総合学習館かわらんべ講座（野外）令和8年2月21日

坂口江実

<研究執筆物>

坂口江実・米山富和・前 裕治 「長野県におけるイソヒヨドリの繁殖記録」『伊那谷自然史論集』27号
p23-26 令和8年3月

<研究発表>

坂口江実・米山富和・前 裕治 「長野県初！イソヒヨドリの繁殖記録」びはく学芸祭2026（ポスター）（本館ロビー）令和8年3月

<普及執筆物>

米山富和・坂口江実 「仙丈ヶ岳の鳥 ～ホシガラス～」『伊那谷の自然』233号 p4 令和8年1月

<普及活動>

川谷文子・村松 武・坂口江実 「化石レプリカをつくろう」追手町小学校ワークショップ（追手町小学校）
令和7年7月27日

川谷文子・村松 武・坂口江実 「化石レプリカ作り」ワクワクびはくで夏休み（美術博物館科学工作室）
令和7年8月2日

坂口江実 「第1545回 飯田市運動公園探鳥会」信州野鳥の会（飯田市中村・野外）

高木千花

<普及活動>

四方圭一郎・高木千花 「とうめいボトルでコケリウム」ワクワクびはくで夏休み（美術博物館ロビー）
令和7年8月2日

四方圭一郎・高木千花 「コケの中にはなにがいる？」たねの会ワークショップ（本館科学工作室）令和
7年9月15日

プラネタリウム

牧島よし江・横井由佳

<普及活動>

横井由佳・牧島よし江 「かなえっこどきどきスクール ミニプラネタリウムづくり」県公民館ワークショップ（県公民館）令和7年7月26日（土）

牧島よし江 「太陽黒点観測会」（本館プラネタリウム前バルコニー）令和7年8月16日（土）、17日（日）

横井由佳・牧島よし江 「夏休み星の観察教室」天竜川総合学習館かわらんべ講座（かわらんべ）令和7年
8月19日（火）

小池朋実・牧島よし江・横井由佳 プラネタリウム番組「春草」の解説（プラネタリウム）令和7年9月
17～23日

牧島よし江・横井由佳 「名月のお月見」天竜川総合学習館かわらんべ講座（かわらんべ）令和7年10月
5日（日）

横井由佳・牧島よし江 「星見の会」千栄小学校（毛呂窪天文台）令和7年10月21日（火）

横井由佳・牧島よし江 「土星の輪の観察」天竜川総合学習館かわらんべ講座（かわらんべ）令和7年11月
15日（土）

牧島よし江・横井由佳 「星空観察会」川路公民館 令和8年1月10日（土）

横井由佳・牧島よし江 「天体観測会」南信濃まちづくり委員会・南信濃公民館（南信濃B&G海洋センター）
令和8年1月30日（金）

3 資料の購入

美術分野

- ・雑誌『国華』 2冊
- ・雑誌『日本美術』8号 1冊

人文分野

- ・『伝説の下伊那』（岩崎清美著） 1冊
- ・『叢山たつふるさとの歌』（牧内武司著） 1冊
- ・蕉梧堂ホテル 絵葉書（袋付） 7枚

4 資料の寄贈

美術分野

- ・横井弘三《小笠原の教会》 1面
- ・仲村進《陶壁図案》 14葉

人文分野

- ・北島達雄撮影写真パネル 10点 昭和時代
- ・天保通宝 88枚 銅製 江戸時代
- ・仏師井出家資料
 - 井出嘉汕菟集品 阿弥陀三尊来迎図 1幅 絹本著色 南北朝～室町時代
 - 阿弥陀三尊来迎図 1幅 絹本著色 室町時代
 - 阿弥陀如来像 1幅 絹本著色 室町時代
 - 春日社寺曼荼羅 1幅 絹本著色 室町時代
 - 十二天像（伊舎那天、水天、火天、風天） 4幅 絹本著色 室町時代
 - 文殊菩薩・普賢菩薩像 2幅 絹本著色 江戸時代
 - 観音菩薩像 1幅 絹本著色 江戸時代
 - 「中木彫仏像」（井出嘉汕菟集品） 1箱 木造
 - 「仏像及小物集」（井出嘉汕菟集品） 6箱 木造
 - 黒漆板札紺紫糸威銅丸 1領 黒漆、混糸威 江戸時代
 - 「羅漢図画卷」（井出嘉汕菟集品） 1巻 絹本著色 江戸時代
 - 「異国人図巻」（井出嘉汕菟集品） 1巻 絹本著色 江戸時代
- 井出嘉汕作品
 - 井出嘉汕作 木彫頭蓋骨 1頭 木造彩色 明治39年（1906）
 - 井出嘉汕作 木彫女人頭部 1頭 木造彩色、植毛 明治～大正時代
 - 井出嘉汕作 木彫鬼女頭部 1頭 木造彩色、植毛 明治～大正時代
 - 井出嘉汕作 陶製達磨図徳利 1口 陶製 大正11年（1922）
- ・田中芳男関係資料 20件67点
 - 田中芳男「録三字教中之数語」 1幅 紙本墨書 大正4年
 - 田中芳男「録対竹之舊作」 1幅 紙本墨書 大正4年
 - 田中芳男「専心勉懇誠」 1面 紙本墨書 大正4年
 - 田中芳男墓碑拓本 2幅（1箱） 紙本版本 大正
 - 田中芳男写「国基」 1冊 紙本墨書 安政3年
 - 田中礫三郎宛田中芳男書簡 6通 紙本墨書 大正4～5年
 - 田中礫三郎宛田中芳男書簡（葉書） 29通 紙本墨書 大正4～5年
 - 授爵記念肖像写真葉書 1葉 紙本墨書 大正5年
 - 授爵仮宣旨 2通 紙本版本 大正4年
 - 「徴古館農業館案内」 1枚 紙本版本 明治43年
 - 「七六展覧会之記念袱紗」 1條 木綿、印刷 大正2年
 - 授爵記念棕櫚材班文模様染袱紗 1條 木綿、印刷 大正5年
 - 写真 善勝寺（大正4年）・葬儀祭壇（大正5年）・田中芳男・不明 4葉 プリント
 - 「系譜」 1綴 紙本墨書
 - 「古□書」 1綴 紙本墨書 文久2年

田中義廉履歴書拓本	1 枚	紙本墨書
糟谷磯丸書「人へみな宝の山に住なから…」	1 幅	紙本墨書
田中芳男宛書簡（はがき）	5 通	紙本墨書
田中芳男宛書簡（貼交ぜ）	1 式（6 枚）	18、19 紙本墨書
名札（田中礫三郎宛）	1 枚	紙本版本
・堀親賢宛書状	1 卷（3 通）	紙本墨書 江戸時代
・石田家文書	33点	
・柳田家文書	1,713点	
・柳田家資料		
書画類	11件	71点
短冊類		521点
文書類	683件	1,813点
柳田国男自筆資料	6 点	
カルタ類		18点
刀剣類		1 点

自然分野

- ・長谷川善和コレクション 現生、古生物資料等 5690点

5 資料の移管

- ・富岡鉄斎《稲荷明神》 1 幅 文化会館から
- ・富岡鉄斎《慶祥致福》 1 幀 文化会館から

6 資料の採集および作成・修復

美術分野

(1) 修 復

- ・正宗得三郎《朱描鍾馗図》 1 幅 表装替え
- ・菱田春草宛岡倉天心書簡 1 幅 表装替え
- ・横山大観《菱田家みち》 1 幅 表装替え
- ・関島松泉《天龍峽十勝詩歌》 1 幅 表装替え

(2) デジタルデータ化

- ・藤本四八撮影35mmモノクロ写真フィルム 7,295カット
- ・藤本四八撮影モノクロガラス乾板 12カット

人文分野

(1) 田中芳男関係資料の修復・表装

令和 5 年度に寄贈された上記の資料について、以下修復・表装を行った。

- ・「水草之図二十種」 1 幅 紙本墨画 田中芳男原案 明治29年 4 月（1896）
- ・伊藤圭介漢詩 1 幅 紙本墨書 伊藤圭介 明治23年11月（1890）

(2) 「下栗のかけ踊」（飯田市上村）の撮影と編集

2025年 8 月15日に開催された「下栗のかけ踊」を業者委託により撮影・編集し、映像を制作した。

自然分野

(1) 学芸員、専門研究員が、調査時に収集した資料

- ・南アルプス・ハヶ岳高山性昆虫類資料 約50点
- ・ほ乳類・鳥類拾得資料 約30点

7 資料の貸出

美術分野

資 料 名	員数	貸 出 先
佐竹蓬平《山水人物図》 鈴木芙蓉《墨梅図》	3 幅対 1 幅	「佐竹蓬平・鈴木芙蓉を愛する会 展示」 飯田市伊賀良公民館 令和 7 年11月 8 日～11月 9 日
下村観山《住吉明神》 下村観山《稚児文殊》	1 幅 1 幅	「下村観山展」 東京国立近代美術館 令和 8 年 3 月17日～ 5 月10日 和歌山県立近代美術館 令和 8 年 5 月30日～ 7 月20日

人文分野

資 料 名	員数	貸出先（会期）
田中芳男関係資料 ・メダル（第 2 回パリ万国博覧会記念品） ・袱紗（第 3 回パリ万国博覧会記念品）	1 枚 1 枚	特別展「Over the Waves－南蛮・万博・ジャポニスム－」 和泉市久保惣記念美術館 令和 7 年 9 月 7 日～11月 3 日
朝日寿永書状（寄託資料）	1 枚	瑠璃寺御開帳特別展「瑠璃寺の宝物展」 高森町歴史民俗資料館 令和 8 年 3 月15日～4月19日

自然分野

資 料 名	員数	貸出先（会期）
グアンロン復元模型 ディロン復元模型 ヒマラヤグマ頭蓋骨 イクチオサウルス吻部実物 フタバズキリュウ頭骨レプリカ（寄託標本） モササウルス頭骨実物（寄託標本）	各 1 点	岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会 令和 7 年 9 月25日（木）～ 9 月30日（火）
グアンロン復元模型 ディロン復元模型 チンタオサウルス全身骨格レプリカ	各 1 点	長崎市恐竜博物館 令和 8 年 2 月10日（火）～ 6 月 3 日（水）

プラネタリウム

資 料 名	員数	貸 出 先
オリジナル番組「動物園へ行こう！」	1 式	中野市立博物館 令和 7 年 9 月 1 日～令和 8 年 8 月31日

8 写真の貸出

美術分野

資 料 名	員数	貸 出 先
菱田春草《雨中美人（未完成）》 菱田春草《雨中美人（小下絵）》 菱田春草《黒き猫（未完成）》 菱田春草肖像写真	4 点	財団法人 永青文庫 『季刊 永青文庫』127号に掲載
藤本四八撮影《熊谷守一肖像》	1 点	株式会社 求龍堂 『熊谷守一カレンダー2026年度版』に掲載
須山計一《伊那の山村》 須山計一《伊那谷の生家》 須山計一《五月の伊那谷》 須山計一《南アルプスと遠山谷》	4 点	一色公民館 『区民だより いっしき』に掲載
菱田春草肖像写真	1 点	財団法人 永青文庫 令和7年度秋季展「永青文庫 近代日本画の粋ーあの猫が返ってくる！」の展示パネル・英語版リーフレットに掲載
野村文孝《レンゲ草に雀》	1 点	株式会社 文藝春秋 書籍『雀ちょっちょ』に掲載
滝沢具幸《レクイエム》 滝沢具幸《カオス》	2 点	長野県立美術館 動画「収蔵作家インタビュー 滝沢具幸」に使用
下村観山《稚児文殊》 下村観山《住吉明神》	2 点	東京国立近代美術館 「下村観山展」図録・広報に使用
菱田春草《菊慈童》 菱田春草《白き猫》（寄託）	2 点	富澤ケイ愛理子氏 論文掲載のため
鈴木芙蓉《東方朔図》 鈴木芙蓉《鳴門曉景図》 鈴木芙蓉《那智温泉真景図》 鈴木芙蓉《紅白梅図屏風》（寄託）	4 点	南信州新聞社 『南信州』新年号に掲載
須田剋太《石水風雲》 須田剋太《作品1965-01》 須田剋太肖像写真	3 点	南信州新聞社 『南信州』新年号に掲載
菱田春草《帰樵》	1 点	カシヨ株式会社 長野県広報「長野県150年の偉人たち」に使用
菱田春草・横山大観・下村観山写真	1 点	日本経済新聞社「下村観山展」図録に掲載
菱田春草《菊慈童》	1 点	金容激氏 書籍『日本の近現代美術の歴史』に掲載
勝野睦人『裸婦』 勝野睦人『裸婦（未完成）』 勝野睦人『裸婦（デッサン）』 勝野睦人『裸婦（デッサン）』 勝野睦人『自画像』	5 点	船橋令偉氏 書籍『勝野睦人アンソロジー 言葉は捨てられた小壘』に掲載
藤本四八撮影《宮本三郎肖像》	1 点	小松市立宮本三郎美術館 特別展「一九〇五」図録・広報に使用
須山計一《文壇住居風景》 須山計一《仕上げの女たち》 長野県農業会刊行物 須山計一《自画像》 須山計一《北信残秋》 須山計一《五月の伊那谷》	6 点	株式会社 春夏秋冬叢書 季刊誌『そう』91号に掲載

人文分野

資 料 名	員数	貸 出 先
仏涅槃図（光前寺蔵）	1	個人 粉本をもとにした推定復元模写の可能性の調査研究に 使用するため。
柳田國男館（外観、画像）	1	個人 自費出版の著作物へ掲載するため。
前澤淵月宛柳田國男書簡（大正4年6月10日） 前澤淵月宛柳田國男書簡（大正4年8月4日） 『伝説の下伊那』 『郷土民謡集』 村沢武夫宛柳田國男葉書 （昭和8年7月30日消印） 熊谷元一宛柳田國男葉書 （昭和21年6月17日消印） 熊谷元一宛柳田國男葉書 （昭和22年3月5日消印） 熊谷元一宛柳田國男葉書 （昭和22年6月18日消印） 水野都沚生宛柳田國男葉書 『科野雜記』第2号 『福間三九郎の話』 『東筑摩郡家名一覧』 『氏神篇調査に関する柳田國男先生講演 の概要』 『堀一郎・和歌森太郎両先生の氏神調査 上の御話－要項』 「Ethnologyとは何か」 「日本の民俗学」 「神社・神事調査項目」 『柳田先生聴書』 －大月松二の『滞京日記』 北原阿智之助宛柳田國男葉書 小林郊人宛柳田國男書簡 「蕉梧堂ホテル絵葉書」 蕉梧堂ホテル『佳興帖』 『信州新野 盆踊写真帖』 『眞澄遊覧記』 信濃の部 安東貞美宛柳田國男書簡 （大正4年8月19日消印） 安東栄子宛柳田國男葉書 （大正11年8月2日） 『東國古道記』	28件 35点	柳田國男記念伊那民俗学研究所 柳田國男記念伊那民俗学研究所編・発行『柳田國男と 南信州－三遠信の民俗研究－』へ掲載するため。
會津八一書「黄眠草堂」	1	新潟市會津八一記念館 特別展図録に掲載するため。
御三霊 堀親昌の神像（長姫神社蔵） 観耕亭碑 緋紫藍革緘胴丸（長姫神社蔵） 飯田城復元図CG 飯田市美術博物館外観	5	南信州新聞社 「南信州観光ガイド」秋冬号に掲載するため。
塚原琢哉撮影写真	2	山と溪谷社 「山と溪谷」ネット記事へ掲載するため。

前澤淵月資料	3	個人 雑誌『伊那』2026年1月号掲載原稿の挿図に使用するため。
松山義雄宛柳田国男葉書	1	IVSテレビ制作株式会社 BS朝日「関口宏の雑誌の記憶」で使用するため。
塚原琢哉撮影写真	1	NHK長野放送局 NHK総合「小さな旅～長野県飯田市 下栗の里」等 で使用するため。
聖徳太子絵伝	1	個人 藤原重雄『縁起絵・行事絵を読む』（中央公論美術出版）所収『『鞍馬寺縁起絵』の絵画史的位置』の挿図 に使用するため。
田中芳男関係資料	13	飯田市赤十字奉仕団 紙芝居分団 田中芳男の絵本に掲載するため。
飯田城復元図CG	1	南信州歴史コミュニケーションズ 飯田城御城印を制作するため。
柳田国男館外観	1	個人 守谷信二『『炭焼日記』にみる戦時下の柳田国男』（東京町田ペンクラブ会報『ペン』194号）に掲載するため。
飯田城復元図CG	1	南信州歴史コミュニケーションズ
飯田城絵図（原資料は下伊那教育会蔵）	1	株式会社いき出版 『長野県の合戦』（2026年9月18日発刊予定）および同 書紹介の広告物に掲載するため。

自然分野

資 料 名	員数	貸出先（会期）	
カタツムリ生態写真	5	株式会社今人舎	『はじめての飼育・かんさつ（13） カタツムリ』（ポプラ社）に掲載
グアンロン生態復元模型写真 ディロン生態復元模型写真	各1	宮崎県総合博物館	令和7年度特別展「ティラノサウルス 博2025～命名120周年！超肉食恐竜の進化の謎にせまる～」の 解説パネルおよび図録等発行物への 標本画像掲載
スピノサウルス全身骨格復元模型写真	2	実業之日本社	『「もしも？」の図鑑 恐竜大決戦』 内で掲載
スピノサウルス全身骨格復元模型写真	1	株式会社 エディマート	恐竜ラボギガ・ミッションfrom_ DINO-A-LIVE公式パンフレット にて使用

9 収蔵庫管理

(1) 燻 蒸

前年度に実施した生物環境調査の結果をふまえ、令和6年度は収蔵庫燻蒸を行わず、被覆燻蒸を実施した。

（小島）

実施期間：令和7年5月27日（火）～5月31日（土） 5日間

実施場所：被覆燻蒸（16.0m³）
 燻蒸目的：殺虫・殺卵・殺カビ処理
 燻蒸方法：燻蒸剤「アルプ」による48時間密閉燻蒸
 使用薬剤：酸化プロピレン+アルゴン混合ガス（商品名：アルプ）
 委託業者：関東港業株式会社

（2）生物環境調査

館内の生物環境調査は、例年通りの方法に加えてパッシブインジケーターを用いた精度の高い酸性度調査を収蔵庫A・B・C及び前室で実施した。

調査期間：令和7年10月3日（金）～10月18日（土）

作業箇所：全館

作業内容：1)加害生物調査（歩行性昆虫）、2)空中浮遊菌類調査（真菌類）、3)表面付着菌調査（酵母カビ類）、4)浮遊微粒子数調査、5)展示・収蔵環境調査、6)カビの調査・同定

作業方法：1)トラップによる捕獲、2)3)4)サンプリング調査、5)6)専用の測定器による測定

調査結果：収蔵庫Bの酸性傾向進む。

委託業者：信州消毒株式会社

10 令和7年度末における資料収蔵件数

美術分野

美術分野総数

美術分野総数	33,443点
内訳 日本画	1,033点
油彩画	261点
水彩・素描	771点
版画	35点
彫刻	40点
陶芸	172点
木金工	16点
染織	113点
書	337点
写真パネル	499点
写真プリント（登録済）	39点
写真フィルム（登録済）	29,351点
貴重図書	469点
その他	307点

人文分野

人文部門総数	22,816点
内訳 市岡家関連資料	146点
田中芳男関連資料	1,811点
その他歴史資料（古文書・寄贈写真資料含む）	16,759点
民俗資料	157点
日夏耿之介関連資料（登録資料のみ）	3,787点
綿半野原コレクション（印籠・根付）	156点

自然分野

自然部門総数（登録資料のみ）	104,586点
内訳 岩石標本	490点
鉱物標本	4,122点
火山灰標本	890点
微化石標本	7,472点
古生物標本	14,488点
現生骨格標本	1,808点
哺乳類・鳥類骨格・剥製標本	361点
昆虫標本	51,427点
陸生・淡水生貝類標本	10,162点
植物標本	13,366点

Ⅳ. 施設の一般利用

1. 一般利用案内

(1) 常設展示・企画展示観覧料

	個人	団体 (20人以上)		人文・自然の常設展示のみ
一 般	310円	210円	一 般	150円
高 校 生	無料	無料	高 校 生	無料
小中学生	無料	無料	小中学生	無料

※令和6年4月1日から
子育て支援策として高
校生以下の常設展示観
覧料は全額免除。

(2) プラネタリウム観覧料

	個人	団体 (20人以上)
一 般	250円	200円
高 校 生	150円	120円
小中学生	50円	30円

投影時間 平 日…予約投影のみ

(10～12時、13時30分～16時45分)

土日祝日・長期休み……10時30分、13時30分、15時

※予約投影は11時30分～12時15分

※投影番組の内容によって観覧料が変わることがあります。

※1回の投影の定員は90席です。満員になると入場をお断りします。

(3) 学習室 (利用無料)

美術・人文・自然関係の専門図書を室内で閲覧できます。

コピー可 (有料)

開室時間 9時30分～12時、13時～17時

(4) 附属施設 (日夏耿之介記念館、柳田國男館)

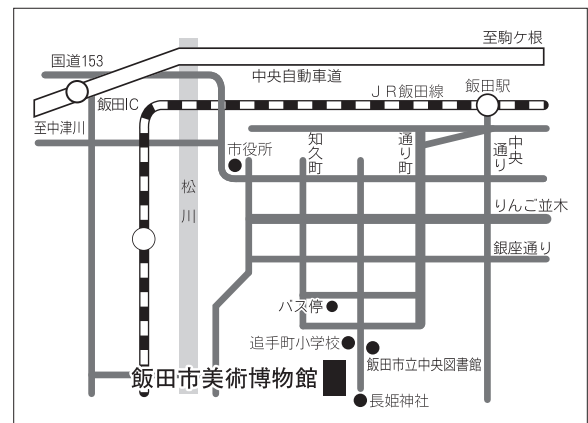
観覧料は無料です。

(5) 交 通

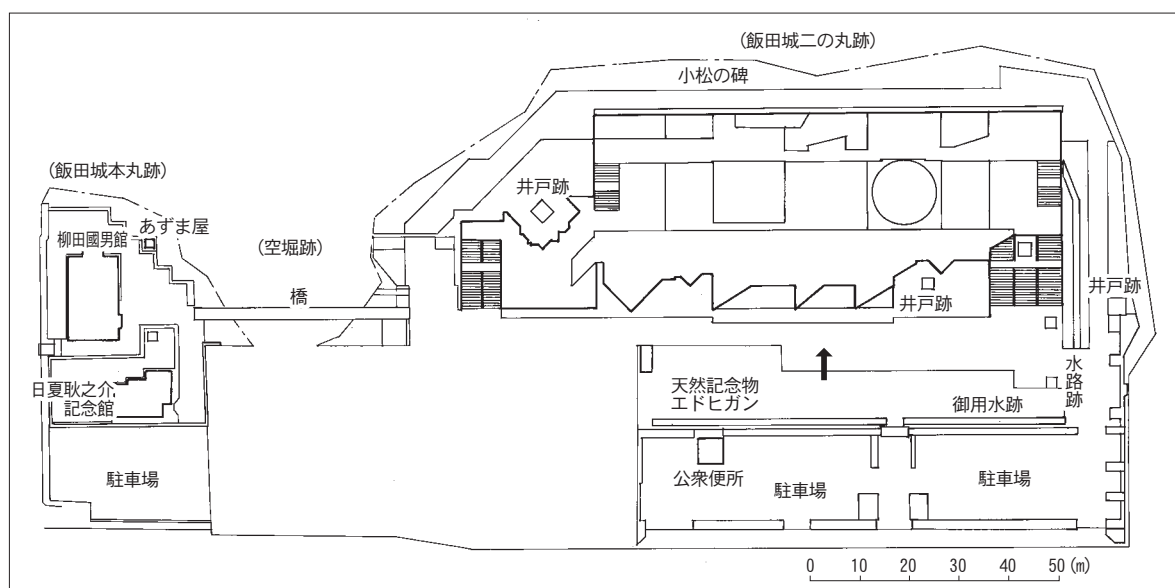
J R 飯田駅から徒歩20分

飯田インターから車で15分

座光寺スマートインターから車で15分



美術博物館 案内図



美術博物館・附属施設 平面図

2. 市民ギャラリー

(1) 使用期間・時間

① 期 間

使用期間は予め当館で設定します。準備・片付けを含めて6日間の使用を原則とします。

※休館日（月曜日、祝日の翌日、年末年始、臨時休館日）、美術博物館の企画などがある場合は利用できません。

② 時 間

午前9時30分～午後5時（準備・片付け時間含む）※時間厳守をお願いします。

初日の作品展示・準備作業は午前9時30分からです。

最終日の展示時間は午後4時までです。片付けは午後5時までをお願いします。

(2) 使用時の留意事項

- ・自然、人文、美術および広く文化芸術に関する創造活動の発表の場として、飯田下伊那地域に住所を有する個人・団体が利用できます。
- ・社会教育機関として教育に基づいた内容であり、展示を主体とした利用であること。
- ・公の秩序・善良な風俗を乱す場合は使用できません。
- ・美博の管理運営上支障を及ぼす場合は使用できません。（例 火災・建築物破損等の危険が大きい場合・公衆衛生上問題がある場合。人や物に危害を加える、または逃亡する恐れのある生物を持ち込む場合）
- ・作品説明会・勉強会など展示に付随する小イベントの開催は可能です。但し、一時に100人を超えるようなイベントは行えません。また、講演会、サイン会、販売会、演奏会などでの使用はできません。
- ・入場料等を徴収する場合は使用できません。
- ・営利を目的とする場合は使用できません。施設内での販売行為（グッズ・出版物の販売）、また政治活動・宗教活動・募金活動も行うことはできません。
- ・ギャラリー外にまで影響を及ぼさない程度の音を出す展示は可能ですが、音漏れや振動が生じるような大音量を伴う場合は使用できません。
- ・使用者は使用権を譲渡・転貸したり、申請書に記入した目的以外に使用しないでください。
- ・本館の条例・規則・本要領に逸脱する行為については、利用の中止を求める場合があります。また、以後の利用申し込みを受け付けない場合があります。
- ・会場内及び敷地内は禁煙です。喫煙は喫煙所（西外階段東屋）をお願いします。

① 使用の開始日

- ・使用期間の開始時には入館後、受付に許可書を提示してください。
- ・当館担当職員立ち会いのもと、使用者において準備を行ってください。
- ・可動壁による室数の変更等はできません。（使用開始日の1週間前までの申請必須）
- ・準備が終わりましたら、必ず受付へ報告してください。
- ・冷暖房を使用する場合は、受付へお申込みください。
- ・入場者数記入表と数取器をお渡ししますので、入場者数を把握し表に記入してください。

② 展示方法

- ・使用の際は通路を確保し、消火器、屋内消火栓、非常口等本館の防災施設の機能を妨げないようにしてください。
- ・釘を使用する場合は、釘径2.2mm以下、長さ40mm以下のものを使用してください。
- ・作品等の掲示に糊やテープ、ひっつき虫などの粘着性のあるものを使わないでください。画鋲を使用してください。
- ・パーテーションを移動する際は引きずらないようにしてください。
- ・南側に暗幕が必要な場合は、事前にご相談ください。

③ 掲示物

- ・看板等の作成・取り付け・撤去等については全て使用者の責任で行い、指定された場所へ掲示や設置をしてください。入口看板の扱いは職員立会いのもと行ってください。
- ・入口看板の寸法は、縦178cm×横60cmです。

※別紙 市民ギャラリーの「入口看板について」をご覧ください。

④ 使用期間中

- ・使用期間中は使用者において常時一人の係員をおき、展示された資料や備品等の管理をお願いします。当館では一切の責任を負いかねます。
- ・ギャラリー室内での飲食、また飲食を伴う接待は一切できません。飲食される場合は隣接の喫茶コーナーを利用してください。
- ・展示会場内へは生花等（生花・鉢植え・ドライフラワー等）の持ち込みはできません。頂いたものを置く場合は、市民ギャラリー入口通路または風除室内に留めてください。

⑤ 使用の最終日

- ・最終日の午後4時から担当職員立ち会いのもと片付けを行い、備品等の点検を受けて施設を現状に回復してください。破損、紛失の場合は、賠償を求めることがあります。
- ・片付けに時間がかかる場合、午後4時よりも前倒しで片付けを行う際は事前にその旨をお知らせください。
- ・片付けの開始と終了時には、受付へ報告をお願いします。また、入場者数記入表とカウントを受付へお渡しください。
- ・ワイヤーに癖がつかないように、片付けは丁寧に行ってください。
- ・持ち込んだ備品やゴミは必ずお持ち帰りください。

⑥ 広報について

- ・一般への広報活動は使用者で行ってください。
会場名は「飯田市美術博物館市民ギャラリー」としてください。
「飯田市美術博物館」のみの表記は使わないようにしてください。経歴などに表記される場合も同様です。
- ・問い合わせ先を飯田市美術博物館としないでください。
- ・開催時間の表記は、準備と片付けを除いた時間にしてください。
- ・広報用のチラシ・ポスター・はがき、または要項・目録・資料等のある場合は、配布前に当館へ見本の提供をお願いします。

(7) その他

- ・貸出箇所は市民ギャラリー室内に限ります。
- ・事前・事後の作品のお預かり、開館時間外の対応はできません。
- ・作品の搬入搬出は使用期間内（開館時間内）で行ってください。
- ・本館からお貸しした白布は、クリーニングをしてからお返しください。

(3) 使用料等

① 使用料 2,500円（1日当たり）

② 冷暖房費 750円（使用に応じて1日当たり750円）

- ・上記の金額は、搬入及び展示作業時間も含まれます。
- ・使用料は、使用期間のうち休館日を除いた日数をお支払いいただきます。
- ・使用料は、納付期限までに納付してください。
- ・冷暖房費は、使用期間最終日に利用分をまとめてお支払いいただきます。
- ・上記の使用料等は改定により、金額が変更になることがあります。

(4) 申請手続き

① 使用期間抽選会及び受付

- ・使用申請（受付）の初日にギャラリーの使用を希望される皆さんにお集まりいただき、展示時期を決める抽選会を行います。1団体または1個人で1件のみの申請とします。
- ※個人と団体で借りられる場合、正式名称は全く別ものとしてください。
- ・申請の受付は2月の第1日曜日を開始日として、その年の4月から翌年3月までの1年間を受付します。ただし、2月の第1日曜日が休館の場合は次の日曜日を開始日とします。
- ・抽選会は午前11時開始です。
- ・抽選会以降の申請は随時受付します。開館日の午前9時30分から午後4時30分まで当館窓口で行います。電話での受付は行いません。

② 申請書

○使用開始日の2か月前までに、以下の3点を提出してください。

- ・美術博物館使用許可申請書（様式第1号）
使用者氏名は雅号ではなく、本名でご記入ください。
- ・市民ギャラリー実施計画書
- ・市民ギャラリー備品借用願い

※申請内容を取り消す場合または変更する場合は、使用開始日の1か月前までにご連絡ください。

※提出後、実施計画の内容を変更する場合（可動壁による室数の変更等）は、1週間前までに必ず連絡をお願いします。当日の変更はできません。

③ 使用許可書

- ・教育委員会の許可が受けられれば、使用許可書を送付します。

④ 使用料納付書

- ・使用開始日の約2か月前に使用料納付書を送付しますので、納付期限までに納付をお願いします。
- ・使用料の減免申請をされる場合には、減免の決定後に納付書を送付しますので減免の申請は早めに行ってください。

(5) 使用料の減免について

① 使用料の減免を受ける場合

「飯田市美術博物館使用料減免申請書」を提出してください。

次の場合は使用料を減免することができます。（飯田市美術博物館条例第10条第2項）

- ・飯田市が共催する活動に使用する場合（100%減免）
- ・飯田市が後援する活動に使用する場合（50%減免）

※減免の申請には「美術博物館使用料減免申請書」と、市または教育委員会の「後援等回答書」を一緒に提出していただきます。

② 共催・後援等の申請方法

共催・後援の申請は美博への減免を申請する前に、市または市教育委員会へ申込みをしてください。

※共催・後援の回答（許可）までは、おおむね1か月かかります。

ア 申し込みに必要な書類

後援等の実施申込書（飯田市ホームページからダウンロードできます）

イ 添付書類

①活動の趣旨及び内容がわかる書類（事業要項・昨年のパンフレットなど）

②出品料、参加料等を集める場合は、活動に係る収支予算書

※①②について実施申込書に内容が記載されている場合は添付不要

ウ 返信用切手（110円）回答書の郵送希望の場合のみ

※その他必要に応じて別の書類の提出をお願いする場合があります。

エ 提出先

①飯田市の後援等 団体等が活動を行ううえで相談する部署または秘書課秘書係

②飯田市教育委員会の後援等 生涯学習・スポーツ課社会教育係

(6) 市民ギャラリー概要

- | | | | | | |
|--|---------|--------------------------------------|-----|--|-----|
| ☐ 壁面 | 高さ420cm | ☐ 展示台（高さ13cm） | 8 個 | ☐ 展示台（高さ25cm） | 5 個 |
| ☐ 作業用脚立（中） | 1 台 | ☐ ワイヤー | 80本 | ☐ 長机 | 20脚 |
| ☐ 受付用椅子 | 6 脚 | ☐ 看板立 | 1 基 | ☐ 白布 | 8 枚 |
| ☐ 衝立（200cm×200cm） | 5 枚 | ☐ 工具（金槌他一式） | | ☐ 釘・ピン・針など展示具（一式） | |
- ☐遮光カーテン … ご希望の場合は事前に相談してください。
- ☐照明

※ 照明の設置、脚立の使用などは、美術博物館の担当職員と一緒に行ってください。

※ 高所作業車には、当館の職員が乗ります。

※ 市民ギャラリー専用貸出品以外の物品の貸し出しはできません。

※ 一覧にない必要物品は各自でご用意ください。

0.6m

13.5m

6.7m

6.8m

入口看板

柱

可動壁、
ここへ納まる。

7.6m

7.5m

可動壁

9.3m

ギャラリー
出入口

1.75m

柱

2m

柱

2m

柱

1.35m

柱

柱

柱

お手洗い

喫茶コーナーへ

本館へ (本館観覧は有料)

衝立設置可

0.6m

13.5m

4.3m

4.7m

4.5m

7.6m

7.5m

9.3m

1.75m

1.35m

2m

2m

入口看板

可動壁、
ここへ納まる。

可動壁

ギャラリー
出入口

お手洗い

喫茶コーナーへ

本館へ（本館観覧は有料）

衝立設置可

飯田市考古博物館年報

I. 沿 革

1. 飯田市考古博物館

- 昭和62年 4 月 夫婦堤跡地利用計画として考古博物館建設構想固まる
- 昭和63年 7 月 博物館研究のための博物館視察
- 平成 2 年 3 月 上郷町立上郷考古博物館条例制定
- 4 月 設計工事の請負業者決定
- 10月 実施設計終了
- 10月 展示研究委員会発足
- 11月 建設工事の請負業者決定
- 12月 起工式を挙る
- 平成 3 年 3 月 本体工事完成、資料を収蔵庫へ搬入開始
- 平成 4 年 7 月 展示工事入札
- 平成 5 年 3 月 展示工事完成
- 4 月 学芸員 1 名採用
- 5 月 開館 一般公開開始
- 7 月 飯田市と上郷町の合併により飯田市に移管
飯田市美術博物館分館として「飯田市上郷考古博物館」と名称変更
- 10月 発掘調査速報展『掘り出された弥生のムラー丹保遺跡ー』開催
- 平成 6 年 5 月 速報展『律令社会の有力集落と郡衙一堂垣外遺跡と恒川遺跡群ー』開催
- 10月 企画展『縄文の意匠ー顔・形・文様ー』開催
- 平成 7 年 4 月 春季展示『“もの”が語る古代の歴史ー旧石器から弥生時代の下伊那一』開催
- 8 月 秋季展示『探訪 伊那谷の古墳』開催
- 平成 8 年 4 月 春季展示『“もの”が語る古代の歴史ー弥生時代から奈良・平安時代の下伊那一』開催
- 9 月 秋季展示『探訪 伊那谷の古墳Ⅱ』開催
- 平成 9 年 5 月 春季展示『収蔵品展Ⅰー飯田市座光寺地区の考古資料を中心にー』開催
- 10月 特別展『伊那谷の馬 科野の馬ー古墳時代における受容と広がりー』開催（於：飯田市美術博物館）
- 平成10年 5 月 春季展示『古代の焼き物生産地を探るー飯田・下伊那を中心にー』開催
- 10月 秋季展示『祭られた縄文の神 縄文の心ー飯田・下伊那を中心にー』開催
- 平成11年 3 月 春季展示『溝口の塚古墳の副葬品と殉葬馬』開催
- 10月 秋季展示『段丘に住む弥生人の土地利用』開催
- 11月 長野県埋蔵文化財センター調査資料速報展 開催
- 平成12年 5 月 春季展示『発掘された飯田の原始・古代ー近年の発掘調査からー』開催
- 10月 秋季展示『信濃の土器に書かれた文字ー律令時代の文字事情ー』開催
- 平成13年 5 月 春期展示『道の下には遺跡があったー国道153号飯田バイパスの発掘調査からー』開催
- 10月 秋季展示『縄文人のピアスー長野県における縄文時代の耳飾りー』開催
- 平成14年 5 月 春季展示『発掘された飯田の古墳ー明らかとなった飯田の古墳文化ー』開催
- 8 月 夏休み特別陳列『上郷飯沼城跡の埋納銭と飯田・下伊那の古銭事情』開催
- 10月 秋季展示『死者への祈りー長野県の縄文時代から弥生時代の墓制ー』開催
- 平成15年 5 月 春季展示『盛り土に埋もれた遺跡ー天竜川治水対策事業の発掘調査からー』開催
- 8 月 夏休み特別陳列『遺跡・遺物からみた飯田・下伊那の古代仏教文化』開催
- 10月 秋季展示『古墳人のアクセサリーー長野県における古墳時代の装身具ー』開催
- 平成16年 5 月 春季展示『発掘された飯田・下伊那の縄文』開催
- 8 月 夏休み特別陳列『飯田・下伊那の窯業の歴史』開催
- 10月 秋季展示『伊那谷の土偶』開催
- 平成17年 5 月 春季展示『発掘された飯田下伊那の奈良・平安時代』開催
- 8 月 夏休み特別陳列『考古学から見た飯田下伊那の渡来系文化』開催

- 10月 秋季展示『下伊那唐草文土器－縄文中期後葉伊那谷南部の地域性－』開催
- 平成18年7月 夏季展示『飯田の遺跡 速報展－最近の調査成果と上村・南信濃地区の遺跡・遺物－』開催
- 平成19年10月 秋季展示『鏡百景－古墳～近世下伊那の鏡－』開催
- 平成20年10月 秋季企画展『風越山麓の考古学－かざこし山が見てきたもの－』開催
- 平成21年9月 秋季企画展『南信州の山城－戦国に生きた人びと－』開催
- 平成22年3月 春季展示『発掘された飯田城と飯田城下町』開催
- 5月 速報展『発掘された古代の飯田2010』開催
- 9月 秋季企画展『古代の役所－律令時代のイナとシナノ－』開催
- 平成23年7月 夏休み特別陳列『みて・ふれて・考えて－ぼくとわたしの考古学 in 夏休み－』開催
- 7月 三遠南信文化交流展『黄金の世紀』開催（於：美術博物館）
- 9月 企画展『ときとまちを結ぶ－三遠南信自動車道の発掘調査から－』開催
- 平成24年4月 特別陳列『飯田市山本竹佐中原遺跡の旧石器』開催（於：美術博物館）
- 5月 特別陳列『飯田市山本竹佐中原遺跡の旧石器』開催
- 7月 夏休み特別陳列『みて・ふれて・考えて－ぼくとわたしの考古学 in 夏休み－』開催
- 12月 企画展『伊那谷のやきもの－飯田市一帯の窯跡とその製品－』開催（於：美術博物館）
- 平成25年7月 夏休み特別陳列『古代と出会う夏休み』開催
- 11月 企画展『お金の博物誌』－富本銭から六文銭まで－開催（於：美術博物館）
- 平成26年7月 夏休み企画『Enjoy 古代！』開催
- 10月 国史跡指定記念企画展『伊那郡衙』－恒川官衙遺跡－開催（於：美術博物館）
- 平成27年7月 夏休み企画『Enjoy 古代！』開催
- 10月 特別陳列『飯田下伊那考古学最前線』－調査・研究速報－開催（於：美術博物館）
- 平成28年7月 夏休み企画『Enjoy 古代！』開催
- 平成29年7月 国史跡指定記念企画展『飯田古墳群』－いいだは古墳の博物館－開催（於：美術博物館）
- 7月 夏休み企画『Enjoy 古代！』開催
- 平成30年7月 夏休み企画『Enjoy 古代！』開催
- 令和元年7月 夏休み企画『Enjoy 古代！』開催
- 11月 長野県立歴史館巡回展『長野県の考古学』－時代を映す“匠”の技 開催（於：美術博物館）
- 令和2年4月 新型コロナウイルス感染拡大全国緊急事態宣言による休館（4月10日～5月20日）
- 7月 夏休み企画『Enjoy 古代！』開催
- 令和3年1月 新型コロナウイルス感染警戒レベル5による休館（1月19日～2月5日）
- 7月 夏休み企画『Enjoy 古代！』開催
- 令和4年4月 館名を飯田市考古博物館へ変更
- 8月 夏休み企画 コロナウイルス感染警戒レベル5により中止
- 令和5年6月 川原遺跡出土『百済土器』速報展開催
- 7月 夏休み企画『夏休みワクワク考古塾』開催
- 10月 短甲初公開記念講演会『よみがえった鉄のよろい－短甲にみる飯田の古墳時代』開催
考古図書コーナー開設
- 令和6年3月 考古博物館ロビー展『異形なる石器』開催
- 7月 考古博物館ロビー展『秘められた縄文時代のつながり～川原遺跡に潜む東北地方の影響』開催
- 令和7年3月 考古博物館ロビー展『発掘された飯田2024 ～リニア関連発掘調査速報展～』開催
- 令和8年3月 考古博物館ロビー展『掘るしん2026 in飯田～リニア関連発掘調査速報展～』開催

2. 秀水美人画美術館

- 平成元年10月 埼玉県鳩ヶ谷市在住（旧上郷町飯沼出身）の画家、浅井（雅号：浅井秀水）氏より美人画美術館を上郷考古博物館建設予定地内へ建設し、将来は絵画とともに寄贈したいとの申し出がある
- 平成3年12月 建物 完成
- 平成4年1月 建物1棟（木造平屋建瓦葺）及び絵画10点を浅井秀水氏より寄贈を受ける
- 3月 上郷町立秀水美人画美術館条例制定

- 11月 浅井秀水氏より絵画60点を寄贈される
開館 一般公開開始
「秀水美人画美術館開館特別展」開催
- 平成5年7月 飯田市と上郷町の合併により飯田市に移管
飯田市美術博物館附属施設として「秀水美人画美術館」と名称変更
浅井秀水氏より絵画1点を寄贈される
- 平成6年6月 飯田市美術博物館より、浅井秀水氏の絵画1点移管される
- 平成7年2月 浅井秀水氏より絵画82点を寄贈される（浅井秀水氏コレクション絵画15点含む）
- 平成8年3月 浅井秀水氏より絵画17点を寄贈される
- 平成9年1月 浅井秀水氏より絵画8点を寄贈される
- 平成10年3月 浅井秀水氏より絵画5点を寄贈される
- 平成10年8月 浅井秀水氏より絵画5点を寄贈される
- 平成11年6月 浅井秀水氏より絵画5点を寄贈される
- 平成12年2月 浅井秀水氏より絵画3点を寄贈される
- 平成12年12月 浅井秀水氏より絵画5点を寄贈される
- 平成13年7月 浅井秀水氏より絵画10点を寄贈される
- 平成14年1月 浅井秀水氏より絵画3点を寄贈される
- 平成15年12月 浅井秀水氏より絵画1点を寄贈される
- 平成16年12月 浅井秀水氏より絵画7点を寄贈される
- 平成26年5月 浅井秀水氏、9日午後9時45分埼玉県川口市内の病院にて逝去。享年94歳
（上記寄贈絵画の内訳 浅井秀水氏の絵画208点 浅井秀水氏コレクション絵画15点 累計223点）
- 令和6年3月 浅井秀水没後10年回顧 第120回 常設展『春・夏・秋・冬』開催
- 令和6年6月 浅井秀水没後10年回顧 第121回 常設展『生花』開催
- 令和6年9月 浅井秀水没後10年回顧 第122回 常設展『郷土と浅井秀水—飯田下伊那に残る作品』開催
毎年、年4回の展示替えを実施（令和7年度末：計128回）

Ⅱ. 令和7年度の運営

1. 主要記事

令和7年3月4日 考古博物館ロビー展『発掘された飯田2024 ～リニア関連発掘調査速報展～』
(5月18日まで)

7月27日 夏休みワクワク考古塾 古代のタカラモノづくり 古代のお金づくり・古代の鏡づくり

8月3日 夏休みワクワク考古塾 古代のタカラモノづくり 玉づくり工房

11月9日 御猿堂古墳発掘調査現地見学会

令和8年3月17日 考古博物館ロビー展『掘るしん2026 in飯田 ～リニア関連発掘調査速報展～』

2. 利用状況

1 展示観覧者数

年 月	開館日数	観覧者数	個 人			団 体			幼児
			一般	高校生	小中学生	一般	高校生	小中学生	
令和7年4月	25	74	53	1	3	0	0	0	3
5月	27	208	70	3	5	42	0	8	4
6月	23	63	38	0	12	0	0	0	0
7月	27	212	80	1	27	0	0	0	4
8月	27	179	87	3	36	0	0	0	2
9月	22	118	53	0	1	23	0	0	1
10月	27	90	53	1	2	24	0	0	0
11月	26	161	63	0	4	46	0	0	2
12月	22	69	40	0	2	20	0	0	0
令和8年1月	24	32	32	0	0	0	0	0	0
2月	23	86	45	1	1	25	0	0	0
3月	24	182	58	0	5	30	0	76	2
計	297	1481	679	10	98	210	0	84	18

2 教育普及事業利用者数

① ワークショップ

ワークショップ名	日 時	大人	小人	幼児	計
古代のお金づくり	7月27日(日) 9:30~12:00	12	12	1	25
古代の鏡づくり	7月27日(日) 13:30~15:00	7	5	-	12
玉づくり工房	8月3日(日) 9:30~12:00	6	5	1	12
合 計		25	22	2	49

※付添の人数は含めていない

② 見学会・講座・講演会等

名 称	日 時	講 師	参加者
御猿堂古墳発掘調査現地見学会	11月9日(日) 10:00~12:00	当館職員	50
「掘るしん2026in飯田」ギャラリートーク	3月20日(金) 10:00~14:00	当館職員	24
合 計			74

Ⅲ. 令和7年度の事業報告

1. 企画事業

考古博物館ロビー展「発掘された飯田2024 ～リニア関連発掘調査速報展～」 令和7年3月4日（火）～5月18日（日）

主催 飯田市考古博物館

会場 飯田市考古博物館ロビー

参加者数 316人（前年度3月分も含む）

趣旨 リニア事業に伴う飯田市内における埋蔵文化財発掘作業の様子について広く周知し、市民の文化財に対する関心を効果的に喚起することを目的として、市教委がママ下遺跡で実施している発掘調査を中心にその成果を公表する機会を、企画展として設けることとした。

内容 ママ下遺跡出土の遺物一式

経過総括 多くの市民がママ下遺跡での成果を見学するために来館された。当初の目的である市民に広く知ってもらうことは達成された。またギャラリートークの開催や積極的に広報することで、多くの方に認知してもらい常設展の観覧者も増加した。

夏休みワクワク考古塾

令和7年7月27日（日）、8月3日（日）

主催 飯田市考古博物館

会場 飯田市考古博物館

参加者数 49人（参加者数 大人25人 高・中・小・幼児24人）

趣旨 ワークショップを開催することで夏休みの思い出作りや、一研究及び一課題の題材として考えてもらえるようにした。

内容 玉づくり工房（まが玉）、古代の鏡づくり、古代のお金づくりを実施した。

経過総括 鏡づくりに関しては例年と同様に盛況であった。昨年度、参加者ゼロであった古代のお金づくりについても今年は多くの方に参加いただいた。

考古博物館ロビー展「掘るしん2026in飯田 ～リニア関連発掘調査速報展～」 令和8年3月17日（火）～5月10日（日）

主催 飯田市考古博物館

会場 飯田市考古博物館ロビー

参加者数 226人（3月末時点）

趣 旨

リニア事業に伴う飯田市内における埋蔵文化財発掘作業の様子について広く周知し、市民の文化財に対する関心を効果的に喚起することを目的として、市教委がママ下遺跡で実施している発掘調査を中心にその成果を公表する機会を、企画展として設けることとした。昨年度実施した速報展と異なる点として、長野県埋蔵文化財センターとの共催で実施し、同センターによる発掘調査成果も多く展示した。

内 容

ママ下遺跡出土の遺物一式、長野県埋蔵文化財センターが発掘した遺物一式、その他展示パネル

経過総括

年度末時点で、多くの市民がリニア駅建設予定地周辺での発掘調査成果を見学するために来館された。当初の目的である市民に広く知ってもらうことは達成された。またギャラリートークの開催や積極的な広報の成果もあってか、多くの方に認知してもらい、昨年度実施した速報展と比べ来館者は増加した。

2. 教育普及活動

1 ワークショップ

① 夏休みワクワク考古塾 古代のお金づくり

日 時 7月27日(日) 9:30~12:00
講 師 本館職員
内 容 溶かした低融点の金属をシリコン製の鋳型に流し込み、富本銭と和同開珎のレプリカをつくる。
会 場 当館 作業室
受講者 延べ25人

② 夏休みワクワク考古塾 古代の鏡づくり

日 時 7月27日(日) 13:30~15:00
講 師 本館職員
内 容 溶かした低融点の金属をシリコン製の鋳型に流し込み、古代の鏡をつくる。
会 場 当館 作業室
受講者 延べ12人

③ 夏休みワクワク考古塾 玉づくり工房

日 時 8月3日(日) 9:30~12:00
講 師 本館職員
内 容 従来からの滑石を加工するまが玉作りと、滑石を直方体にして穿孔したもので管玉を作る。
会 場 当館 作業室
受講者 12人

2 見学会

① 御猿堂古墳発掘調査現地見学会

日 時 11月9日(日) 10:00~12:00
講 師 当館職員
内 容 御猿堂古墳での発掘調査の成果を、現地で説明する。
受講者 50人

3 諸事業への協力

① 学校教育への協力

【来館によるもの】

日 付	学 校 名	学年	人数	学 習 内 容	備考
令和7年 5月9日	竜丘小学校	6	58	考古資料館見学	
5月31日	座光寺小学校	—	16	考古博物館見学・お金づくり	
7月3日	下條小学校	6	39	考古博物館見学	
7月10日	座光寺小学校	6	34	考古博物館見学・古墳めぐり	
7月16日	阿智第一小学校	6	23	考古博物館見学	
10月23日	高陵中学校	2	9	考古博物館見学	
11月4日	下條小学校	5・6	16	考古博物館見学	
令和8年 2月27日	千代小学校	—	9	考古博物館見学・勾玉づくり	

計 延べ7校 204人

【出前によるもの】

日 付	学 校 名	学年	人数	学 習 内 容	備考
令和7年 12月9日	川路小学校	6	25	火おこしについて	

計 延べ1校 25人

② 各種団体への協力

【来館によるもの】

日 付	団 体 名	人数	内 容	備考
令和7年 5月18日	上郷北条あるこう会	27	博物館見学・鏡、古銭づくり	
同日	上郷飯沼南あるこう会	27	博物館見学	
7月10日	飯伊女性学習会	7	博物館見学・恒川官衙遺跡見学	
8月7日	龍江公民館	24	博物館見学・まが玉づくり	
9月20日	上伊那飯島郷土研究会	23	博物館見学	
10月16日	障害者施設オプションプラス	24	博物館見学	
11月13日	上川路老人会	15	御猿堂古墳調査現場見学	
令和8年 2月28日	飯田市職員労働組合青年部	25	博物館見学・鏡づくり	
3月24日	丸山公民館	51	博物館見学・まが玉づくり	
同日	東野公民館 寺子屋	55	博物館見学・まが玉づくり	

計 延べ10回 278人

【出前によるもの】

日 付	団 体 名	人数	内 容	備考
令和7年 6月1日	竜丘自治会・竜丘公民館	200	出張展示 竜丘の逸品	
7月15日	上郷公民館 地域を育む 委員会（久遠の会）	15	「地域を知る会」事前学習会・上郷公民館 「史跡恒川官衙遺跡（伊那郡衙）と榎垣外 遺跡」	講師：伊藤
11月15日	岡谷市生涯学習大学	30		講師：下平
令和8年 2月28日	竜丘公民館	50	竜丘市民大学講座「発掘でみえてきた巨大 古墳 ―御猿堂古墳の調査成果―」	講師：春日

計 延べ4回 295人以上

3. 調査研究・資料収集保管活動

1 職員の調査研究・館外普及活動

羽生俊郎

- ・「信濃国伊那郡（長野県飯田市の恒川官衙遺跡）」『最新の官衙・集落の成果と再検討』第十五回 東国古代遺跡研究大会 令和8年2月
- ・「飯田城跡」『近世城郭の考古学』令和7年6月

春日宇光

- ・「埴輪に描かれた馬ー飯田古墳群における馬匹文化の一例ー」『同志社大学考古学シリーズ14 考古学と文化史2』同志社大学考古学研究室 令和7年4月
- ・「県内初のL字形カマド」『信州の遺跡』25号 長野県埋蔵文化財センター 令和7年7月
- ・「口絵解説 ママ下遺跡の発掘調査で発見された『L字形カマド』」『伊那』2025.7月号 伊那史学会 令和7年7月
- ・「長野県南部における渡来系文物ー馬と渡来人をめぐる問題ー」『信濃考古』No.201 長野県考古学会 令和7年10月

伊藤蔵之介

- ・「リニア駅周辺整備に伴う発掘調査速報～令和六年度 ママ下遺跡発掘調査の概要～」『伊那』2025.7月号 伊那史学会 令和7年7月

加藤大智

- ・「石器」『荻谷原遺跡 再整理資料集』令和7年12月
- ・「飯田下伊那地域における弥生時代石器研究の現在地ーその限界と課題ー」『飯田市美術博物館研究紀要』第36号 令和8年3月
- ・【ポスター発表】Nakao, H., Kato, D., Horie, S., Kaneda, A., Nakagawa, T., Tamura, K., Morita, M., & Tateuchi, K. 2026 “Can population dynamics explain the degree of complexity of Dogū?” ポスター発表、第4回マテリアマインド全体会議（学術変革領域研究 A：マテリアマインド：物心共創人類史学の構築）令和8年1月
- ・【ポスター発表】「長野県下における石鏃の地域性と多様性」『びはく学芸祭』美術博物館 令和8年3月

2 資料修復事業

市内遺跡出土金属製品の保存処理

- ・茶柄山古墳群出土金属製品一式（再処理）
- ・ママ下遺跡SI087出土鉄刀
- ・新井原7号古墳出土鉄刀

4. 令和7年度末における資料収蔵件数

・完形土器	339点	
・石器	1,100点	
・金属器	288点	
・土製品	21点	
・玉・骨類	38点	
・古銭	5,717点	
・石器・土器・金属器・土製品等	1,984箱（整理箱）	※変動なし

Ⅳ. 施設の一般利用

1. 一般利用案内

① 常設展示・企画展示観覧料

	個人	団体（20人以上）
一般	200円	160円
高校生	無料	無料
小・中学生	無料	無料

※秀水美人画美術館と共通

② 附属施設（秀水美人画美術館）

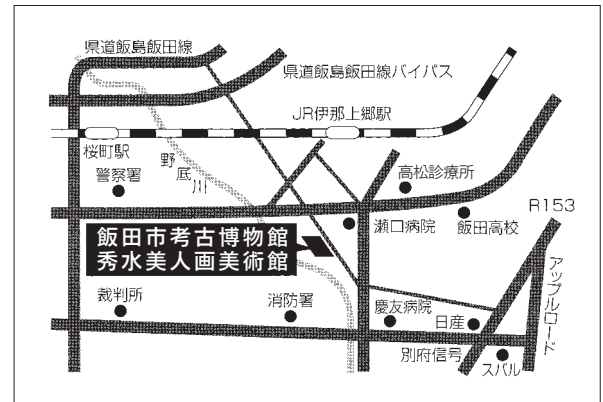
観覧券は飯田市考古博物館と共通

③ 交通

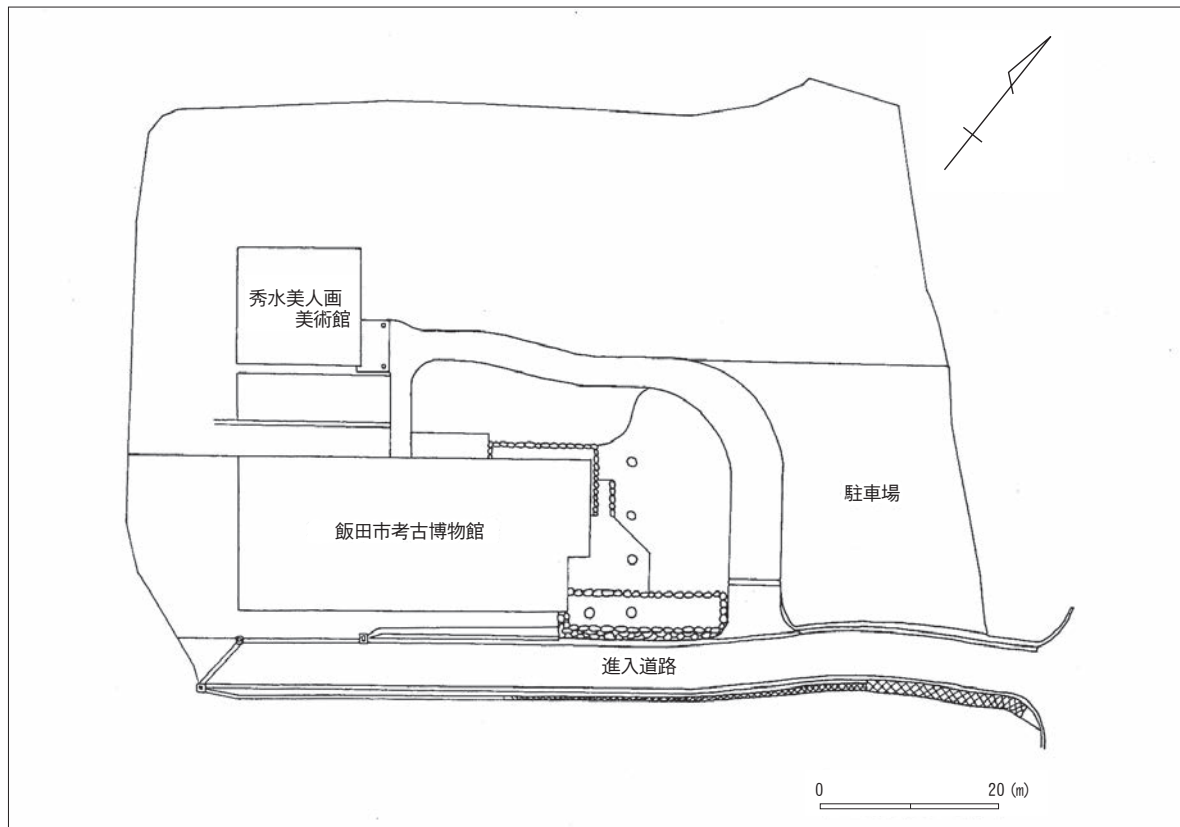
J R 飯田線伊那上郷駅から徒歩10分

中央自動車道飯田インターから車で20分

中央自動車道座光寺スマートインターから車で10分



飯田市考古博物館 案内図



飯田市考古博物館・附属施設 平面図

美術博物館の展覧会

2025.4-2026.3

回台

高山植物と高山昆虫からたどる
南アルプス博物学の120年
6/7(土)~8/31(日)



3954-19-8E

睡
臥
時

山とともに生きる
—遠山郷のあゆみとくらし—
9/13(土)~11/9(日)



THESE

企业

写真家60周年記念展
水谷章人の世界
1/10(土)~2/23(月・祝)



水谷重人<白鷺の閃光>より

	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月	4月
菱田春草 常設展示	第51期 (芸翠女) ～大瀬の娘～ ～4/13(日)	第52期 出発 ～画家を志して～ 4/19(土)～5/25(日)	第53期 初夏 ～うるおいの季節～ 6/7(土)～7/13(日)	第54期 外遊 ～海に臨んで～ 7/19(土)～8/24(日)	第55期 紅葉 ～静寂の時～ 8/30(土)～9/5(日)	第56期 秋戦 ～文脈への道～ 10/11(土)～11/16(日)	第57期 暮秋 ～うつろひ色彩～ 11/23(日)～12/28(日)	複製画で 春草の名画を見よう 1/10(土)～2/23(月・祝)	第58期 萌春 ～さくら咲く～ 3/7(土)～4/12(日)				
特別展													
企画展													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													
コレクション展示													

トピック展示「自然」

ギフチヨウと
伊那谷の春のチヨウ
~5/25(日)

~5/25(日)

飯田市の天宮に坐落ギアチヨウの湖はの主
命は況や者にみられるギアチヨウたちを紹介しな
がら、環境化などの影響を受けている主た
ちについて考えます。

化けるムシたち

9/30(火)~2/1(日)



伊勢谷の白濁が
つれに2週間以上
続くと年に1回

石物植物してきたって幅

—田中芳男と利博天龍源標本から探る伊那谷の自然科学黎明—
6/7(+)—9/28(日)

6/7(+)-9/78(日)

（日）07/6 -（日）7/10

わたしのユザグツ

2/3(火)～



ファイナルフィア万国博覧会
記念特刊(本誌附)

トビックス展示「文化」

新収蔵品紹介 修復を終えた田中芳男
～5/25(日)～
万国博覧会と田中芳男

万国博覽會由山花里

6/7(土)~8/24(日)

下伊那県中樫空のあゆみ

11/23(日)~2/23(月・祝)
大型屋台獅子の誕生とひろがり

ロクロクツはノズ直井3.702E

8/2(土)
美奈子ならではの多彩なワークショップを開催します
(ぐわしくはおらこめて監理いたします)

藤本四八記念小中高校生写真賞

(しんきん賞他)
こどもたちの写真を募集します。ぜひ、ご応募ください
(くわしくはあらためて広報いたします)

[作品募集]	9月~11月	表彰式	1月
[作品展示]	1月~3月		

【作品募集】 9月～11月 表彰式 1月
【作品展示】 1月～3月



バのバを子をつる

飯田市美術博物館 年報 第36号

— 令和 7 年度版 —

発 行 日 令和 8 年 8 月 7 日

編集・発行 飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655-7

TEL. 0265-22-8118

編集担当 近藤大知・原田克己

編 集 株式会社 秀 文 社

〒395-0043 長野県飯田市通り町1丁目2番地